

Y994

J3453

大正十四年四月

(印刷ヲ以テ筆記ニ代フ)

全國主要都
市ニ於ケル

食料品配給及市場狀況

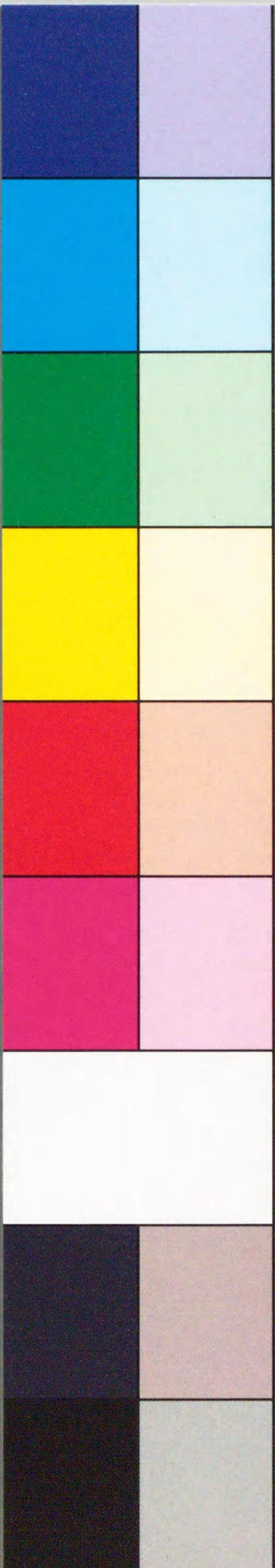
其ノ二中部地方

商工省 商務局

inches
cm
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Y994
J3453

本書ハ執務ノ參考資料トシテ大正十三年五月ヨリ大正十四年三月ニ亘リ全國ノ主要都市ニ於ケル新鮮食料品ノ配給並ニ其ノ市場ノ狀況ニ關シ調査シタルトコロヲ編纂シタルモノニシテ短時日ノ間充分ナル調査ヲナシ難ク又統計資料ノ缺乏セル爲推測ヲ掲ゲタル點少カラズ

全國主要都市ニ於ケル

食料品配給及市場狀況

一、静岡市

(一) 静岡市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村.....一

(二) 静岡市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況.....一

(三) 公設小賣市場ノ概況.....五

(四) 静岡驛ニ於ケル新鮮食料品發着統計.....六

(五) 静岡市ニ於ケル市場.....一〇

(イ) 静岡共同青果乾物市場株式會社.....一〇

(ロ) 静岡青乾市場.....一二

二、沼津市.....一七

(一) 沼津市ニ於ケル市場.....一七

(イ) 沼津魚市場.....一七

(ロ) 我入道魚市場.....三〇



I 種
W



1200701678895

(一) 沼津驛ニ於ケル鮮魚及鹽干魚發着統計.....三三

三、燒津町.....三五

(一) 燒津水産株式會社.....三五

(二) 燒津驛ニ於ケル鮮魚及鹽干魚發着統計.....四五

四、甲府市.....四五

(一) 甲府市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村.....四九

(二) 甲府市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況.....四九

(三) 甲府市ニ於ケル新鮮食料品生産高.....五一

(四) 甲府驛ニ於ケル新鮮食料品發着統計.....五六

(五) 甲府市ニ於ケル市場.....五六

(イ) 甲府魚市場.....五六

(ロ) 甲府食品市場.....六四

五、長野市.....六九

(一) 長野市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村.....六九

(二) 長野市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況.....六九

(三) 長野驛ニ於ケル新鮮食料品發着統計.....七五

(四) 長野市ニ於ケル市場.....七六

(イ) 長野魚商株式會社.....七六

(ロ) 長野魚市場.....八二

(ハ) 長野協盛社.....八五

(ニ) 長野青果市場.....八九

(ホ) 信濃青果市場.....九二

六、新潟市.....九三

(一) 新潟市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村.....九三

(二) 新潟市ニ於ケル新鮮食料品集散及消費ノ狀況.....九三

(三) 新潟市ニ於ケル市場.....九七

(イ) 新潟鮮魚問屋.....九七

(ロ) 新潟委託問屋.....一〇五

(ハ) 青果市場.....一〇八

(ニ) 持寄朝市場.....一一二

七、富山市

- (一) 富山市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村……………一三
 - (二) 富山市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況……………一三
 - (三) 富山市ニ於ケル市場……………二四
 - (イ) 富山魚市場……………二七
 - (ロ) 八百物市場……………二七
 - (四) 公設小賣市場……………二六
- 八、金澤市……………一三九
- (一) 金澤市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村……………一三九
 - (二) 金澤市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況……………一四〇
 - (三) 金澤市ニ於ケル市場……………一四三
 - (イ) 金澤魚市場……………一四三
 - (ロ) 金澤市ニ於ケル青果市場……………一四九
 - (四) 金澤市公設小賣市場……………一五四
- 九、福井市……………一六一

- (一) 福井市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村……………一六一
 - (二) 福井市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況……………一六一
 - (三) 福井市ニ於ケル市場……………一六五
 - (イ) 福井魚市場株式會社……………一六五
 - (ロ) 福井市料品市場株式會社……………一七一
 - (四) 福井市ニ於ケル食料品小賣市場……………一八二
 - (イ) 持寄小賣市場……………一八二
 - (ロ) 生産者ノ小賣市場……………一八三
 - (五) 福井市公設小賣市場……………一八六
- 十、岐阜市……………一九一
- (一) 岐阜市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村……………一九一
 - (二) 岐阜市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況……………一九二
 - (三) 岐阜市ニ於ケル市場……………一九七
 - (イ) 岐阜水産市場……………一九八
 - (ロ) 大一海陸物産株式會社……………二〇五

(六) 岐阜海産市場株式會社	二二
(二) 傘八百喜株式會社	二五
(木) 山常青果市場	二八
(ハ) 丸果海陸物産市場	三〇
(四) 岐阜市ニ於ケル小賣市場	三三

一、靜岡市

一、靜岡市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

村名	人口
千代田村(安部郡)市ノ東部ニ位ス	六、〇二〇人
豊田村(安倍郡)市ノ東部ニ位ス	九、四四二人
大里村(安倍郡)市ノ南部ニ位ス	一〇、六七四人
安東村(安倍郡)市ノ北部ニ位ス	三、五一九人
賤機村(安倍郡)市ノ北部ニ位ス	五、九七一人
計	三五、六二六人
靜岡市	七三、八九三人
以上總計	一〇九、五一九人

(大正九年國勢調査ニ依ル)

二、靜岡市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況

(イ) 蔬菜

生産額 静岡市内ノ生産額 三四、三一四圓
 接續町村ノ生産額 三一八、四八二圓
 計 三五二、七九六圓

入荷額 陸路(附近町村ヨリ) 七五六、七五〇圓
 汽車(遠州、三島、沼津方面ヨリ) 一五、〇〇〇圓

出荷額 ナシ

消費額 八〇六、〇六四圓

(ロ) 果實

生産額 (接續町村ノ生産額) 二九四、一一七圓
 陸路(近在) 六二二、七〇〇圓

入荷額 汽車(青森、山梨、臺灣) 一二四、三〇〇圓

計 七四七、〇〇〇圓

出荷額 汽車(縣内沿線各都市町村) 四四九、九〇〇圓
 電車(清水方面) 六、三〇〇圓

陸路(近在)

消費額 計 三七、八〇〇圓
 (ハ) 鮮魚 四九四、〇〇〇圓
 二五三、〇〇〇圓

生産額 (静岡市接續村ノ生産額) 四二三、二五二圓

汽車(朝鮮、九州、關西及縣内) 一、一八七、一二五圓

電車(清水) 三六四、二五〇圓

陸路(近在) 三九八、六二五圓

計 一、九五〇、〇〇〇圓

出荷額 (汽車ニテ縣内各所) 二九〇、〇〇〇圓

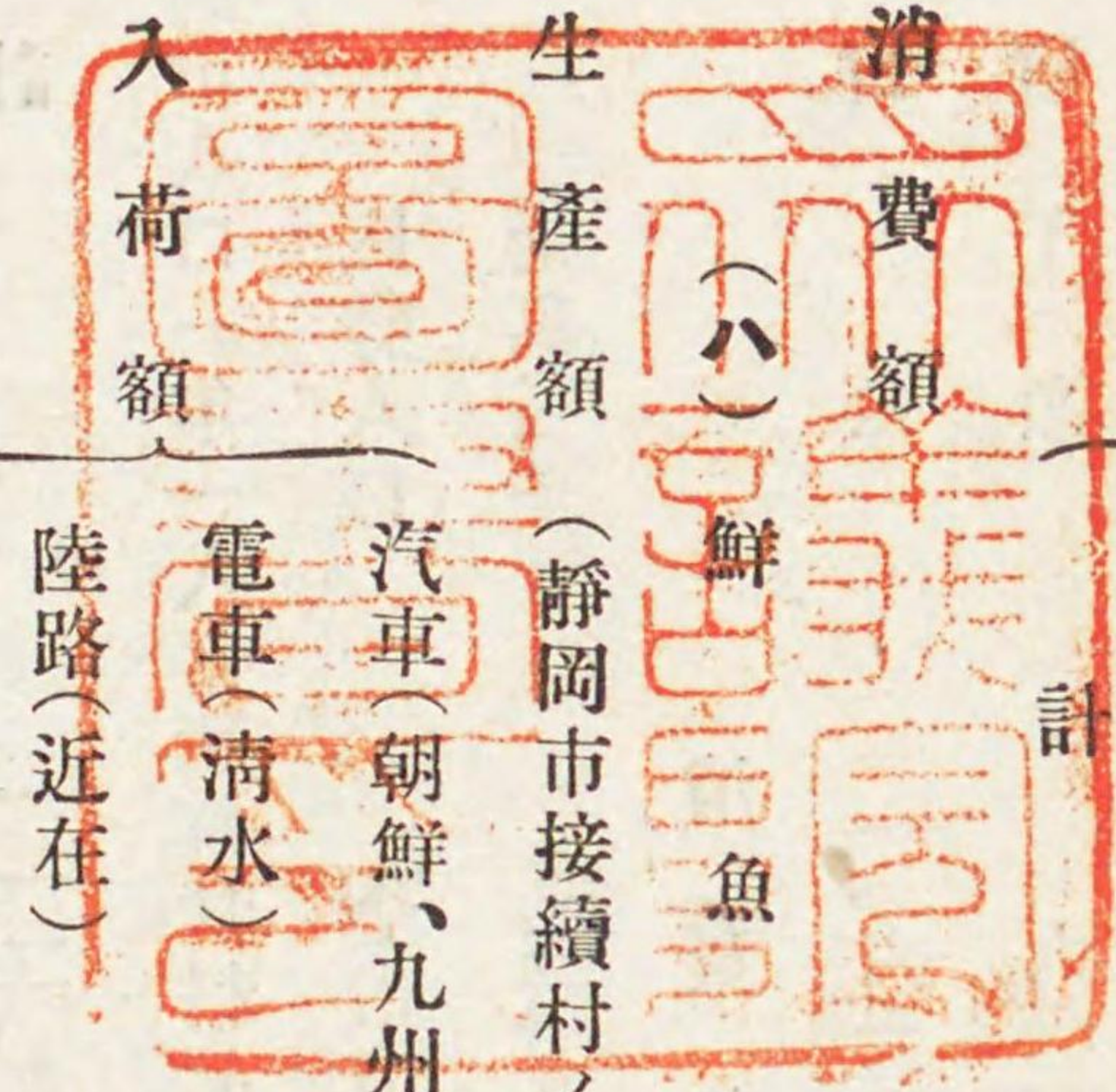
消費額 一、六六〇、〇〇〇圓

(ニ) 鹽干魚

生産額 (静岡市中生産ニ係ル鯉節) 三〇、〇〇〇圓

入荷額 (大部分北海道及一部縣下) 八〇〇、〇〇〇圓

出荷額 (汽車ニテ縣内各處) 二二五、〇〇〇圓



消費額

(木) 其ノ他ノ一年消費高

牛	二九、一四五貫	二〇四、〇一五圓
馬	二、八六八貫	一七、二〇八圓
豚	一一、四七六貫	九七、五四六圓
鶏	九、三八〇貫	九三、八〇〇圓
卵	六〇、〇六〇貫	二二八、二二八圓
計	一一二、九二九貫	六四〇、七九七圓

六〇五、〇〇〇圓

静岡市人口一年一人當新鮮食料品消費額

國勢人口 七萬三千
全市消費額 三、九六四千円

一人當消費額

鮮魚、鹽干魚、蔬菜
果實、獸肉、卵

十二年中

鮮魚	一、六六〇 <small>千円</small>	二二、七三	縣調査ノ數字ニ基ク
鹽干魚	六〇五	八、二八	同
蔬菜	八〇六	一一、〇四	同
消費額		五四、三〇	
一人當消費額			

三、公設小賣市場ノ概況

本市ニ於ケル公設小賣市場ハ歐州戰後ニ於ケル物價騰貴ニ基ク米騒動ノ結果ニ依リ其ノ開設ヲ見タルモノニシテ大正八、九年ノ交一般ノ寄附金ニ依リ設立セラレタリ現在ノトコロニケノ市場アリ一市場二千圓見當ノ創立費ヲ要セシモノニシテ店舗ハ各市場トモ十五、六軒ナリトス此ノニケノ市場ハ大正十一年度ニ於テ市ノ經營ニ移レリ

ニケノ市場中鷹匠町市場ハ俸給生活者ノ住居地ニアリ番町市場ハ専ラ日傭人労働者ノ需要ニ應スヘク其ノ住居地ニアリ

賣上高左ノ如シ

鷹匠町市場	大正九年 二〇一、六九〇 <small>円</small>	番町市場 一九〇、三二七 <small>円</small>	計 三九二、〇一七 <small>円</small>
	大正十年 一八七、四七四		三四四、二七六

大正十一年 一九〇、四八五
 一七四、九二四
 三六五、四〇九

尙兩公設市場ニ於ケル蔬菜果實魚類ノ賣上高ハ左ノ如シ

蔬菜果實 二〇〇、三七〇貫 六五、二七一圓 (大正十二年度)
 魚類 七八、四六八貫 九二、一九〇圓 (同)

公設市場ニ於ケル蔬菜果實ノ仕入方ハ一部分市中間屋ノ手ヲ經ルモ大部分ハ生産トノ直接取引ニ係ル魚類ハ大部分市中間屋ヨリ之ヲ仕入レルモノトス

四、静岡驛ニ於ケル新鮮食料品發着統計 (大正十二年度)

品名	四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		計	
	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着
活鮮魚	二八	二八	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
鹽干魚	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
生野菜	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
其他	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

静岡驛ヨリ發送サレル貨物ノ主ナル仕向地及運賃

品名	發送		到着		運賃
	發送	到着	發送	到着	
果物類及其他	二	二	二	二	二
生甘藷	一	一	一	一	一
生馬鈴薯	一	一	一	一	一
柑橘	一	一	一	一	一
鮮魚	一	一	一	一	一
沙留原	一	一	一	一	一
濱松	一	一	一	一	一
熱田	一	一	一	一	一
小口(百斤)	一	一	一	一	一
貸切(一噸)	一	一	一	一	一
沙留	一	一	一	一	一
名古屋	一	一	一	一	一

横濱	〇・五五	四・七五
梅小路	〇・八五	七・三〇
大阪	〇・九〇五	七・七五
神戸	〇・九五五	八・二〇
下關	一・七四	一五・一〇
長崎	二・一四	一八・七〇
沼津	〇・二五五	二・一〇

備考 蒲鉾、鮮肉類ノ運賃ハ鮮魚ニ同シ
（他ニ關門海峡運賃〇・七〇）

蒲鉾—汐留 廣島 大森

鹽干魚—蒲原 豐橋

生野菜—沼津 汐留 國府津
柑橋—汐留 鎌倉
生野菜運賃

小口(百斤) 貸切(一噸)

汐留	〇・三八五	三・五〇
名古屋	同	同
横濱	〇・三六	三・三〇
梅小路	〇・五三	四・九五
大阪	〇・五六五	五・二〇
神戸	〇・五九五	五・五〇
濱松	〇・二三	二・〇〇

備考 鹽干魚ノ運賃ハ生野菜ノ運賃ニ同シ

静岡驛ニ到着スル貨物ノ主ナル仕出地

鮮魚	汐留	沼津	燒津	蒲郡	熱田
梅小路	大阪	下ノ關	長崎		
鹽干魚—敦賀	舞阪	鹽釜			
生野菜—汐留	濱松	沼津	三島		
果實—神戸	兵庫	大鰐			

五、静岡市ニ於ケル市場

(イ) 静岡共同青果乾物市場株式會社

一、市場ノ所在地並其ノ名稱

静岡市八幡町ニ所在シ静岡驛ニハ三、四町ノ距離ニアリ
株式會社静岡共同青果乾物市場ト云フ

二、取扱品目

蔬菜、果實、乾物

三、市場ノ規模

木造平家一五〇坪ナリ市場トシテノ特別設備ナシ

四、組織

大正八年株式會社トシテ設立サレタリ

五、問屋、仲買、荷主其ノ他

問屋行爲ヲナスハ會社ニシテ會社カ販賣ノ委託ヲ受ク會社ノ買付ニ依ルモノナシ
仲買人ハ其數五十五名ナリ其ノ買受量ハ平均三千圓ニ相當ス

本市場ニ對スル荷主ハ約七十名ナリ會社ハ荷主ニ對シテ出荷獎勵金ノ意味ニテ歩戻又爲ス
次ノ如シ

(イ) 三百圓乃至五百圓迄ノ出荷ニ付 一分戻

(ロ) 五百圓乃至千圓迄ノ出荷ニ付 一分五厘戻

(ハ) 千圓以上ノ出荷ニ付 二分戻

一日ノ平均買出人ハ約四十名ナリ

右ノ仲買ハ小賣ヲ兼業ス

六、賣買方法、手数料並歩戻

賣買方法ハ糶賣ニ依ル

會社手数料ハ一割ナリ

仲買ニ對スル歩戻ハ次ノ如シ

即チ其ノ一年ノ買受高ニ依リ年末ニ之ヲ行フモノニシテ

(イ) 二千圓以下ノ買受高ニ付 二分五厘戻

(ロ) 二千圓以上ノ買受高ニ付 三分戻

七、取扱高

一七〇、〇〇〇圓（大正十二年度）

右ノ數字ノ内近郊荷ハ八割旅荷ハ二割ノ割合ナリ

八、其ノ他

本縣ニハ市場取締規程ノ類ナキヲ以テ本市場ハ市場トシテノ監督ヲ受ケ居ラス

(口) 静岡青乾市場

一、市場ノ所在地

本市場ハ静岡市日之出町七番地ニ在シ静岡驛ヨリ四、五町ノ距離ニアリ

二、取扱品目

蔬菜、果實、乾物其ノ他

三、市場ノ組織

本市場ハ株式會社静岡青乾市場之ヲ經營シ會社ノ資本金ハ貳萬五千圓之ヲ記名式五百株ニ分チ一株ノ金額ヲ五拾圓トス本會社ノ存立期限ハ無期限トス而シテ其ノ目的ハ乾物、青物海産物及果物、鶏卵、漬物其ノ他雜品ノ委託販賣ノ業ヲ營ムニアリ

四、市場ノ規模

市場ノ敷地二百坪建物四十九坪他ニ市場トシテノ特別設備ナシ

五、問屋並仲買人其ノ他

問屋業務ヲ行フ本會社(市場)ニシテ市場ニ搬入サルル荷ハ委託販賣ニ依ルモノニシテ會社ノ買付ニ依ルモノナシ

本市場ニ於ケル仲買人ハ其ノ數六十名アリ仲買人タラムトスル者ハ貳名以上ノ保証人連署アルコトヲ要シ會社取締役會ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

仲買人承認ノ通知ヲ得タル時ハ身元保証金トシテ當會社株券五株ヲ提供スルコトヲ要ス會社株貳五株ノ所有ナクシテ仲買人タルコトヲ申込ムモノハ便宜ノ爲メ三株以上ヲ擔保ト爲シ置キ歩戻口錢ヲ積立テ置キ不足ノ株式ヲ買入ルル迄交附セサルモノトス

右ノ仲買人ノ他ニ會社ハ仲買人、買子飛入買人ヲ認ムルコトアリ
仲買人及買人ハ同業者中五名以上ヲ以テ組合ヲ組織シ各組合ニ於テ組長以下ヲ選舉シ會社ニ届出ツルコトヲ要ス

仲買人廢業ト死亡若ハ資格ヲ失ヒタルトキハ本人又ハ相續人若ハ親戚ヨリ一週間内ニ届出テ、會社ハ其ノ届出ヲ受ケタリ時ヨリ三日内ニ其ノ旨ヲ市場ニ揭示シ會社ノ貸借ヲ精算シタル上擔保金ヲ還付ス

一日ノ平均買出人約百名見當ナリ

六、賣買方法並手数料

全部糶賣ノ方法ニ依ル

會社手数料ハ一割ニシテ仲買歩戻ハ二分ナリ歩戻口錢ハ飛入買人ニ對シテハ交附セス
賣買ノ順序ハ委託物品ニ對シテハ賣立人其ノ責ニ任シ到着順ニ依リ競賣ス此ノ場合ノ順序
ハ陳列順ヲ以テ到着順ト見做ス仲買人ハ買入ニ先チ入金ヲ爲スコトヲ要スル場合ハ名札
ヲ表示シテ賣買ニ參加スルコトヲ要ス（翌日精算ヲ爲シ得サル仲買人ハ買受代金ノ八分以
上ノ入金ヲ要ス）

七、賣買代金決済方法

(イ) 會社對荷主

委託物販賣代金ハ荷主毎ニ仕切書ヲ調製シ手数料及荷物ニ對スル諸掛リヲ控除シタルモノ
ヲ即時仕拂ス

(ロ) 會社對仲買

仲買人ノ買受代金ハ通帳ニ締高ヲ記載シ報告ス仲買人ハ買受代金ヲ其ノ翌日ニ於テ完納ス
ルコトヲ要シ但シ之ニ據リ難キ事情ノ存スル場合ハ金額ノ八分以上拂込ムモノトスコレト
テモ殘額ハ會社精算日（五日、二十日）ヨリ五日内ニ拂込ムコトヲ要ス期日ニ至ルモ仕拂完
了セサルトキハ賣買ヲ停止サル取引停止中ノ仲買人ノ爲メニハ他ノ仲買人ハ買次ヲ爲スコ
トヲ得ス仲買人ニシテ破産若ハ家資分散ノ虞アルト思料シ若ハ仕拂延滞又ハ不都合ノ所爲
アルトキハ仲買營業ヲ停止若ハ除名ノ處分ヲナシ決算ノ皆濟ヲナサシム此ノ場合ニ於テ擔
保金ヲ以テ賣掛滯納金ヲ償ハサル時ハ之ヲ追徴シ若シ本人ニ於テ支拂出來難キ場合ハ保証
人ニ對シ之カ辨償ヲ請求ス

八、取扱高

本市場ニ於ケル取扱高ハ大正十二年度三七〇、〇〇〇圓ニシテ近郊荷ト旅荷トノ割合ハ半
々ナリ

九、開閉時限並休業日

本市場ノ營業開始時間ハ午前六時ト定メ買人五名以上出張スルニアラサレハ開始セス休業
日ハ毎年一月七月ノ決算期ニシテ其外臨時休業ヲ爲スモ日時ハ其ノ都度揭示ス

十、其ノ他

本市場ハ明治三十年三月開始セラレ

本縣ニハ食料品卸賣市場取締規程ノ類ナキヲ以テ本市場ハ市場トシテノ監督ヲ受ケ居ラス

二、沼津市

一、沼津市ニ於ケル市場

(イ) 沼津魚市場

一、市場ノ位置及名稱

本市場ハ沼津市宮町ニ在リ沼津魚市場ト稱シ沼津魚仲間組合ノ維持ニ係ル
市場ハ狩野川左岸ニ臨ミ河岸ニコンクリート工事ヲ施シ船舶ノ碇繋スル直ク傍ニ於テ賣買
ヲ爲ス狀況ナルヲ以テ水陸連絡ノ便甚タヨシ

二、取扱品目

鮮魚介、鹽干魚

三、面積

全面積三五〇坪賣場幅三間乃至五間長四十間

四、建物

河岸ニコンクリートノ工事ヲ施シ賣場兼船着場アリトタン葺バラック式ノ建物ヲ有スルノ

ミ他ニ設備ナシ市場ニ隣接シテ日東製氷會社販賣店アリ冷蔵庫ヲ有ス氷ハ一貫匁夏六錢冬五錢程度ナリ

五、出 荷 者

出荷ハ駿東郡一體、伊豆、紀州方面ヨリヲ最タルモノトス

伊豆方面ノ出荷ニ付テハ出荷者トシテ漁業者七分ノ一八〇〇名餘魚商人三分ノ七八〇名餘ニシテ三月ヨリ十一月ノ間鯉ノ出荷アリ

駿河灣ハ四月ヨリ漁季節ニ入ルナレト三月ヨリ十一月ノ間ハ鯉ノ出荷アリ

關西方面トシテハ長崎、下關ヨリ鯖、鰯、カジキ、グチ、ヒダイ等十一月ヨリ三月ニ至ル間ニ於テ當市場へ出荷セラル

北陸方面トシテハ能登、越中、加賀ヨリ鯖、鰯、イカ十一月ヨリ三月ニ至ル間ニ於テ當市場ニ出荷セラル

三陸方面(釜石、鹽釜、江ノ濱、宮古)ヨリ竹輪、イルカ十一月ヨリ三月ニ至ル間ニ於テ當市場ニ出荷ヲ爲ス

右各地方ニ於ケル荷主カ漁業又ハ魚買入ノ爲資金借入ヲ申込ミタルトキハ會社重役會ノ決議ヲ經相當ノ利子ヲ附シテ之ヲ爲ス

六、問 屋

現在問屋業ヲ營ムハ沼津魚株式會社ナリ當會社ハ大正十年ニ組織セラレタルモノニシテ資本金百萬圓拂込資本金二十五萬圓ナリ會社ノ組織セラル、以前ニハ所謂問屋ナルモノ存在シタルモ會社組織セラル、ニ及ヒ從前ノ問屋ハ十萬圓餘ノ權利金ヲ受領シ問屋株ニ一括セラレ取引權ヲ會社ニ讓リ現在ハ問屋各自獨立シテ市場ニ於テ取引スルコトナシ會社ノ創立費ハ三千圓餘ニシテ土地ハ全部借地ナリ

サレハ沼津市へ入荷ノ魚類ハ凡テ魚會社へ販賣ヲ委託セサルヘカラス而シテ仲買人、小賣人ト雖モ各所ヨリ送荷ハ勿論買入荷ト雖モ凡テ魚會社へ販賣ヲ委託セサルヘカラス尤モ養干、田作、鹽鮭、鹽鱒、鯉節、チリメン干、干イカ、海藻類ニシテ自宅ニ於テ賣買スルモノハ此ノ限ニアラス而シテ本會社組織前ノ市場問屋ハ前述シタル如ク問屋株ニ一括セラレ問屋株ハ魚會社一店ト定メラレタリ問屋(魚會社)ハ委託荷物ヲ悉皆賣拂フヘキモノニシテ又魚會社ノ役員及社員ハ各地ヨリ魚買入ハ勿論問屋(魚會社)ノ魚ヲ直接買入スルコトヲ得サルナリ故ニ從前ノ得意關係ヲ以テ從前ノ問屋ニ魚物ノ販賣ヲ委託シ來リタル場合アリトセムカ從前ノ問屋ハ之ヲ魚會社ニ引渡ササルヘカラス從前ノ問屋ニシテ現在ノ問屋株ニ一括セラレタル者四十三軒アリ市場ノ附近ニ住宅、店舗ヲ有セリ

七、仲買人

二〇

仲買人ハ問屋ヨリ魚類ヲ買受ケ小賣商ニ販賣ス尤モ小賣ヲ兼業スル者アリ
仲買人タラムトスル者ハ仲買株ヲ有セサルヘカラス現在仲買株ハ百株アリ本年（大正十三年）ノ決議トシテ當分ノ内仲買人ノ人數ヲ増サ、ル内定ヲナセリ仲買人ハ又沼津市ニ籍ヲ置キ在住ニケ年以上ニシテ身元保證人一名以上ヲ立ツルモノトス尤モ保證人ヲ立テサルトキハ會社株十株ヲ提供スヘキモノトス此ノ身元保證人ハ其ノ仲買人ノ組合ノ負擔金ハ勿論問屋ニ對スル債務ニ付連帶ノ責任ヲ負フ

仲買人ハ荷主ヨリ魚會社ヘ送付シ來リタル荷物ヲ荷主ト約束ヲ定メ途中ニテ買取ルコトヲ得ス又仲買人ハ入用アリテ他所ヨリ魚ヲ買入レタルトキハ直チニ魚會社ヘ報告シ其ノ代價ノ百分ノ二ヲ沼津魚仲間組合ニ納付セサルヘカラス仲買人ハ他所ヘ出荷シ及鯉節製造所ヲ設クルコトヲ得

仲買人ハ仲買株一株トシテ五圓宛ヲ以テ組合ノ經費ヲ負擔ス尙前年度ノ買高一萬分ノ一ヲ組合經費負擔ノ爲メ徴收セラル

仲買人ノ買受量ハ年一三、〇〇〇圓程度ヨリ三、〇〇〇圓程度ナリ市場ノ附近ニ住宅、店舗ヲ有セリ

八、買出人

沼津魚仲間組合ノ小賣人タラムトスル者ハ小賣株券ヲ所有セサルヘカラス小賣株加入金ヲ一圓ト定ム更ニ市ニ本籍ヲ置キ滿ニケ年以上在住スル者ナラサルヘカラス此ノ小賣株所有者ニシテ沼津市外ヘ移轉スルトキハ所有ノ株ハ組合員ヘ讓渡スルカ或ハ組合ヘ返戻セサルヘカラス返戻ニ對シ組合ハ行司會ヲ開キ其ノ當時ノ時價ヲ以テ買上クルヘク若シ之ニ應セササルトキハ競賣ニ附シ其ノ代金ヲ交附ス現在小賣株ハ三百株アリ小賣人ハ仲買人ト異ナリ他所ヘ出荷シ又ハ鯉節製造所ヲ設クルコトヲ得ス

小賣人ハ自己家族中ノ一名ヲ以テ賣子トナス自己家族ノ外賣子トナスコトヲ得サルナリ而シテ會社ハ賣子ノ携帶スヘキ鑑札ヲ仲買人ニ授ケ置キ仲買人ハ鑑札ヲ受ケタル賣子ノ買魚ニ付テハ責任ヲ負フヘキモノニシテ鑑札ヲ携帶セサル賣子ハ會社ニ對シ直賣スルコトヲ得サルナリ而シテ右ニ述ヘタル三百名ノ小賣人ノ外ニ仲買人ヨリ魚物ヲ購入スル棒手百名餘アリ

小賣人ノ買受高ハ年五百圓乃至三千圓位棒手ハ毎日購入スルトハ定マラサルモ年七、八百圓程度ノ買受ヲナス

市場出入ノ買出人ハ毎日凡ソ仲買、小賣合セテ三百乃至四百名アリ

二二

九、附屬商竝附屬運送業者

附屬商ナシ

附屬商ニアラサルモ市場ニ隣接シテ日東製氷株式會社販賣店アリ本店ハ魚商間丈ヘモ年七、八十萬貫ノ氷ヲ販賣シ其ノ他伊豆方面ヘモ供給ス
附屬運送業者ナシ

附屬運送業者ニアラサルモ東京灣汽船會社ハ一日二、三度ノ定期航海ヲ以テ空容器ヲ運搬スルアリ又仲買ノ有志カ自動車ヲ以テ仲買ノ送荷ヲ停車場迄運搬ス停車場迄普通ノ車ニテハ四斗樽一ケ八錢見當ナリ

十、運 賃

伊豆ヨリ四斗樽、長箱(三、四貫入)ビール箱(カジキマクロ用)ハ一圓五十錢見當
容器ハ市場ヘノ送付用トシテハ四斗樽、長箱又ハ漁船ノカネヲ使用シ仲買人他所ヘノ送荷用ノ容器トシテ特製箱ヲ使用ス

十一、賣 買 高

賣上高竝入荷高左ノ如シ
賣上高ハ年二六〇萬圓—二七〇萬圓見當トシ一貫二圓トシテ一三〇萬貫乃至一三五萬貫ナ

リ

入荷高ハ二六〇萬圓トシテ伊豆駿河方面ヨリ七分ノ一八二萬圓、關西北陸三陸ヲ三分トシテ七八萬圓、中五〇萬圓位ハ關西ナリ
右ノ賣上高ノ中三分ノ七八萬圓ハ土地竝郡部ノ消費ニシテ送荷ハ七分ノ一八二萬圓ニシテ送荷範圍ハ京濱地方ハ小田原迄關西各所岡山邊迄ニ至ル大部分委託ニ依ル買付物ナリ

十二、手 數 料

會社委託品取扱手數料左ノ如シ

鮮魚、生節、介虫 賣上高十圓ニ付 金一圓也(一割)
蒲鉾、鹽魚、干魚

チリメン干、田作、煮干 賣上高十圓ニ付 金五十錢(五分)

干 鳥 賊、鹽鮭、鹽鱈

仕上ケ鯉節 入目貳步 手數料貳步

歩戻(問屋ヨリ仲買人、小賣人ニ對スル)

問屋手數料カ賣上高十圓ニツキ一圓ノ品ハ歩戻 五十錢(五分)

問屋手數料カ賣上高十圓ニツキ五十錢ノ品ハ歩戻 貳拾五錢(二分五厘)

仕上鯨節ハ入目貳歩ヲ戻シ 歩戻ナシ

仲買人、小賣人ニシテ各所ヨリノ送荷ハ勿論買入荷ト雖モ魚會社へ販賣ヲ委託セラレヘカ
ラサルカ此ノ場合値段打合ハスシテ自己へ引取ルトキハ手數料トシテ魚會社へ價格ノ百分
ノ二ヲ納付セサルヘカラス

十三、市場開閉時刻並休業日

休業日ノ定メナシ開閉時刻ノ定メナシ船舶到着毎ニ賣買ス

十四、賣買方法

委託ニ依ル販賣ニシテ買付ナシ

賣買方法ハ殆ント全部糶賣ニシテ入札賣ハ稀ナリ

糶賣ノ方法ニ依ラサル場合ハ左ノ如シ

- 一、即時値立出來サル場合
- 二、宮内省ノ御用品ハ年行司ノ承認ヲ得テ糶賣ニ出サス先取權ヲ存セシムルコトヲ得此
ノ場合ニ於テハ魚會社販賣部長ニ於テ相當ノ値段ヲ定ムルコト
- 三、鯨、^{イルカ}權鹿等ノ大魚ハ時ニ因リ入札法ヲ用ユルコトヲ得
- 四、時ニ因リ一定ノ魚一時ニ多數入荷ノ時ハ魚會社ノ役員ト仲買總代人ト合議ノ上荷主

ニ交渉シ承諾ノ上ハ一定ノ値段ヲ定メ組合員中へ割付賣買スルコトヲ得

販賣係ハ鹽干魚ニ對シテハ指値ヲ重ンシ賣却スルハ勿論若シ相場カ出會ハサルトキハ一應
荷主へ照會ノ上總テ指命ニ從ヒ取扱フヘキモノニシテ腐敗シ易キ品ハ鮮魚タルト鹽干魚タ
ルトヲ問ハス重役協議ノ上取計フコトアルヘシ又魚荷主ノ意嚮カ當市場ノ相場ト折合ハサ
ルトトキハ他へ轉送ノ止ムヲ得サルコトアルトキハ當會社ハ親切ニ荷主ノ便宜ヲ計リ相當ノ
手數料及實費ヲ申受クルモノトス

代金決済方法

問屋荷主間 即時現金

問屋仲買人間 仲買人魚代金ハ其ノ都度荒金ヲ支拂ヒ置キ一日ヨリ十三日迄ノ掛ヲ十四
日拂、十四日ヨリ三十日迄ヲ三十日拂ヒトス仲買人ニ於テ決済期日ヨリ延滞五日間ヲ過
キ支拂ハサルトキハ會社ニ於テ賣止メスルコトアルヘシ

問屋小賣人間 同前

仲買人小賣人間 順繰拂アルモ一定セス

當組合仲買人ノ取引先ニシテ賣掛金或ハ仕切金延滞シ債務ヲ果サ、ル者アルトキハ組合へ
申出テ組合ハ其ノ申出ニ依リ一應書面ヲ以テ債務者へ照會シ其ノ債務ヲ果サシム此ノ照會

ニ對シテ支拂ニ應セサル者ハ組合事故簿ヘ記録シ其ノ者ト取引ヲ禁スル旨市場内ヘ揭示ス
此ノ揭示サレタル債務者ニシテ他ノ仲買人ヘ取引ヲ申込ミタル時ハ其ノ仲買人ハ前債權者
ヘ示談ヲ遂ケ其ノ承諾ヲ得テ組合ノ認可ヲ得ルニ非サレハ取引スルコトヲ得ス仲買人及小
賣人ハ問屋(魚會社)ヨリ其ノ賣懸金不拂ナル旨申出サレタルトキハ組合中ノ取引ヲ禁セラ
ル又仲買人小賣人ニシテ魚會社カ貸金アル荷主ヨリ買入レタル魚ニ就テハ魚會社ヘ販賣ヲ
委託スルト否トニ拘ラス其ノ荷主ニ代リ納入スルカ或ハ交渉解決スル義務アルモノトス
賣買單位

一定セサレトモ(a)四斗樽入全部ヲ單位トスル場合(b)一尾ヲ單位トスル場合(c)適當任意ノ量
ヲ單位トスル場合アリ

組合ノ仲買人、小賣人ハ沼津市我入道魚會社及同魚商人ト取引スルコトヲ禁セラル又西豆
(井田ヨリ下田ニ至ル沿岸一帯)及長崎、下關ニ限り電信電話ヲ以テ直接買入ヲ爲スコトヲ
禁セラル(但シ立切魚ハ此ノ限ニ在ラス)掛引上買入ノ必要アル場合ハ魚會社ヘ申込ミ同會
社ノ手ヲ經テ取引スルハ差支ヘナシ又買人カ市場内ニ於テ買置魚ヲ賣却セムトスルトキハ
凡テ魚會社ヘ委託スヘキモノトス

十五、金融制度

別ニ金融機關ナルモノナシ取引銀行トシテ沼津銀行、駿河銀行アリ

十六、沼津魚仲間組合

沼津魚仲間組合ハ問屋株、仲買株、小賣株ノ三株ニ分チ水産物一切ノ賣買ヲ行ヒ舊來ノ弊
習ヲ矯正シ相互安全ニ營業ヲ爲スヲ目的トシ宮町一體ノ地先河岸ヲ以テ魚市場ト定メ此ノ
組合員ニ非サル者ハ市場内ニ於テ賣買スルコトヲ得サルモノトス組合ノ經費ハ問屋タル沼
津魚株式會社、仲買人、小賣人ノ負擔スルトコロニシテ組合員ハ沼津市在住ノ問屋、仲買人
小賣人ニ限ルモノトス組合ハ其ノ規約ニ於テ組合ノ機關及役員ノ權限、總會及役員ノ選舉
組合ノ經費及其ノ負擔ニ關スル事項、賣買方法、手數料、各部(問屋、仲買、小賣)ノ資格
權利義務、衛生、罰則等ニ汎リテ規定セリ

十七、市場組織ノ由來

古來魚仲間組合トシテ問屋、仲買、小賣ト分チ問屋株三十六、仲買株八十三トシテ經營シ
來リタルトコロ明治三十六年ニ至リ問屋株四十三、仲買株九十一、小賣株百三十ト定メ更
ニ後小賣株ヲ百八十二増加ス

大正十年魚商仲間協議ノ結果問屋株ニ一括シテ魚會社ヲ設立ス大正十一年仲買株ヲ百株ニ
増加シタリ

十八、沼津魚市場入荷表（大正十二年度）

海ヨリ入ル分					陸ヨリ入ル分				
品名	貫數	單價	金額		品名	貫數	單價	金額	
鮪	二六、三九	四、五〇	一、二七、四八		鮪	一三、六二〇	四、五〇	六、一五、四	
メジ	一四、五六六	二、七〇	三九三、八二		メジ	一、五五〇	三、〇〇	四、六七〇	
トンボ	五、二九六	二、八〇	一、四八、二		トンボ	六、八二〇	二、八〇	一、八、二八一	
鯉	一三三、三七二	二、五〇	三、三三、四三		鯉	四九九	三、〇〇	一、四九七	
梶木	一五、二三四	四、五〇	六八、五五		梶木	五、一三三	四、五〇	二、三、一〇九	
鱒	二四、六四四	二、五〇	六二、六一〇		鱒	九、七六七	三、〇〇	二、九、三〇二	
甘鯛	五、六六七	七、〇〇	三九、六七四		甘鯛	八、三三二	二、八〇	二、三、四七五	
海老	五、三七七	六、〇〇	三三、九〇七		海老	三、九四三	一一、〇〇	四三、三八一	
タコ	九六	三、〇〇	二、七八〇		タコ	四、八七〇	二、〇〇	九、七四一	
鰈	一五、四二六	二、五〇	三八、五〇四		鰈	一、八六五	三、〇〇	五、五九三	

アジ	七四、八三二	一、八〇	一、三四、六九八	アジ	四、七八〇	二、〇〇	九、五六二
ムロ	一〇八、五〇〇	一、三〇	四一、〇五一	ムロ	五五六	一、五〇	八三四
竹輪				竹輪	一五〇、〇〇〇	四	五、五九九
サバ	一三〇、一四〇	一、二〇	一、五、一七七	サバ	三七、一〇〇	一、二〇	四四、五〇九
イカ	七六、〇二〇	一、四〇	一〇六、四三七	イカ	二、四二〇	一、二〇	二、九〇八
イカ	五、二八七、〇〇〇	三五	一五四、八一五	イカ	二七、九六〇	〇三	八三九
イサキ	一七、一一〇	二、〇〇	三四、二二六	イサキ	九六	二、〇〇	一九二
サワラ	一〇、四三〇	三、二〇	三三、三七四	サワラ	三七八	五、〇〇	一、八九三
イルカ	八九二	一、五〇	一、四三六	イルカ	三三、八八〇	一、三〇	三、〇、五二
イワシ	一四九、二〇〇	四〇	七、六八一	イワシ	一五、一八〇	二、八〇	四二、四九五
宗田	三四、五二〇	一、四〇	四八、三三四	宗田	一、七八五	一、六〇	二、八五七
生貝	二、九〇四	三、五〇	一〇、一〇五	生貝	六三	四、〇〇	二、四九二
ムキ	二四、四六〇	一、五〇	三六、六八七	ムキ	二、三二	二、二〇	六八七
鮫	三六、三四〇	四〇	一四、五三七	鮫	一、三二	六〇	七三

雜魚	三〇、五九	三、〇〇	九一、五九	雜魚	一六、四三九	三〇	四九、三二六
計	九五七、〇五四		二、一七三、七五二	計	一五〇、五〇一		四一四、九七六

合計 百十萬七千四百五十六貫
 金二百五十九萬八千七百二十八圓(一貫二圓五十錢)

(ロ) 我入道魚市場

一、市場ノ名稱及位置

我入道魚市場ト稱シ我入道水産株式會社ノ經營ニ係ル沼津市我入道江川前一番地ニ在リ

二、市場ノ組織

我入道水産株式會社ハ大正十年組織セラレ資本金貳拾萬圓拂込資本金七萬圓ニシテ株主トシテハ我入道ノ漁業者ノ全部網羅シ尙其ノ他ノモノモアリ

三、市場ノ面積、規模、設備

會社所有地トシテハ六千坪餘有ルモ市場トシテハ賣場ハ川岸(狩野川)六十坪事務所敷地四十坪アリ又仲買者共同荷造場ハ三十九坪アリ尙漁船ノ魚類陸揚ニ便ナラシムル爲メ川岸ヲ修築シ其ノ他相當ノ衛生設備ヲ施セリ

三、取扱品目

鮮魚介、鹽干魚(イワシ、スルメ)

四、出荷者

我入道ニ於ケル漁業者全部二四〇人
 其ノ他駿東郡伊豆、紀州方面ヨリ出荷アリ

五、問屋

我入道水産株式會社カ魚類ノ販賣ノ委託ヲ受クルナリ
 手数料ハ八分、仲買、小賣人ニ對スル歩戻ハ三分トス
 會社ハ我入道漁業組合ト申合セヲ爲シ漁業組合員ノ漁獲物ハ會社ニ販賣ヲ委託シ賣買スルノ外直接他ノ會社問屋其ノ他へ販賣シ且小賣等ヲ爲スコトヲ得ス

六、仲買人、小賣人

仲買人二十六名資格ハ我入道民ニシテ三年間小賣商トシテ從業シタルコトヲ條件トス
 小賣人ハ九十名ニシテ我入道民ナリ、其ノ他靜浦、片濱村方面ヨリ三〇〇名乃至七、八〇〇名ノ小賣商來ル

七、買出人

一日二百名平均ノ買出人アリ

買出人ノ買受量ハ仲買人ハ三〇〇〇圓乃至一五、〇〇〇圓見當

小賣人ハ三六〇〇圓乃至七二〇〇圓見當ナリ

八、運賃

下田ヨリ四斗樽一ヶ九十錢(返還費ヲ含ム) 長箱十貫入四十錢

九、賣上高

年八〇萬圓乃至一〇〇萬圓(八〇萬貫乃至一〇〇萬貫)

出荷ハ東京方面及關西ハ京都邊迄及フ關西ノ方ヘノ出荷寧ロ多シ

十、賣買方法

糶賣ナリ

賣買トシテ特ニ鱒ニ就テハ其ノ生賣ハ沖合ニ於テ爲スコトヲ認メラル但シ沼津市ニ搬入スル商人ニハ賣却スルコトヲ得ス

問屋(會社)對荷主間ハ賣買即時現金ヲ以テ支拂フ會社對仲買人、小賣人(我入道民)ハ月二

回(二十日、五日)ノ清算、仲買人對一般小賣人間ハ順繰トス

十一、休業日

休業日ノ定メナシ、市場開閉時刻トテ別ニナケレトモ船舶ノ到着次第糶賣ヲ爲ス然レトモ

事實上午前五時ヨリ午後六時頃迄ノ賣買時間トナルナリ

十二、金融制度

別ニ金融機關ナルモノナシ會社ノ取引銀行ハ沼津銀行、伊豆銀行ナリ

十三、其ノ他

會社ノ創立費ハ一千圓餘ナリ

尙會社ハ年ニ拂込金ノ二又ハ三割ノ利益ヲ舉ケ其ノ利益金ノ一割ヲ我入道民ノ救濟資金ニ充ツルナリ

二、沼津驛ニ於ケル鮮魚及鹽干魚發着統計

種類	四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		計			
	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着		
活鮮魚	三六二	一五	二〇三	三	一五五	三	二九	五	二五	六	四〇	一	五三	三	九七	五	五七	五	五五	三	三九六	小口、貸切双方ナ
鹽干魚	一六	一	一七	一	一七	一	一七	一	一七	一	一七	一	一七	一	一七	一	一七	一	一七	一	二〇六	右ニ同シ

鮮魚ノ主ナル仕出地(沼津驛發送)

汐留、大森、東神奈川、平塚、大磯、二ノ宮、國府津、山北、駿河、御殿場、静岡、濱松
豊橋、熱田、岡谷、梅小路、横須賀、東横濱

運賃

	小口(百斤)	貸切(一噸)
汐留	四八・〇	四・一〇
梅小路	九三・〇	八・〇〇
熱田	六八・五	五・八五
横須賀	四一・〇	三・四五
東横濱	四二・〇	三・五五

三、焼津町

一、焼津水産株式會社

一、市場ノ位置及名稱

焼津町ニ於ケル鮮魚、鹽干魚ノ取引(水産物ノ委託販賣及之ニ附隨スル事業)ハ焼津水産株式會社ノ取扱フトコロニ係ル

當會社ノ本店ノ所在地ハ焼津町城之腰參拾四番地ニシテ賣場ハ二ヶ所即チ同町鰯ヶ島參拾五番地及北新田六番地ノ一ニアリ兩場所トモ船舶ノ繋リ場ニ續ク海濱ナリ

二、會社ノ組織

本株式會社ハ資本金ヲ五〇〇、〇〇〇圓トシ之ヲ一萬株ニ分チ一株金額ヲ五拾圓トス、現在拂込資本金一七五、〇〇〇圓株主數一、五九六名ナリ

三、設 備

別ニ市場建築ヲ有セス前記賣場ハ海岸砂濱ニシテ漁船碇繋場ヲ各々一ヶ有スルノミナリ

四、出 荷 者

焼津町漁業者、近濱地四區タル濱當目、石津、會下ノ島、田尻北ヨリ遠地トシテハ千葉、

神奈川、伊豆方面ヨリ最モ出荷多シ例ヘハ十二年度ニ於テハ石津二十四萬圓餘(鯉、鮪)小川ノ二萬二千圓(鯖)和田村及田尻北ノ十三萬圓(鯉、鯖)本益津ノ五十九萬圓(鯉、鯖)等ノ出荷アリタルカ如シ

五、問屋

問屋業ヲ營ムハ水産會社ナリ

水産會社ノ營業科目ハ

- 一、水産物其ノ他ノ委託販賣
 - 二、水産業ニ關連スル他ノ法人ニ依ル金錢取立
- 其ノ他ノ事業トシテ

- 一、根抵當ヲ差入レタル魚商仲買人ニ對シ又ハ水産物ノ買受代金ニ付或程度ノ保證債務ヲ負擔セル保證人連署ノ借用證書ヲ差入レタル魚商仲買人ニ對シ水産物賣掛代金ノ當座貸
- 二、燒津町漁業者ニ對シ餌料其ノ他ノ資金貸付

六、仲買人

仲買人ニハ小座ヲ有スル仲買人ト本人ニ限ル仲買人トアリ小座ヲ有スル仲買人ハ會社ノ選

定任免ニ係リ現在四十七名アリ其ノ他ノ仲買人百名近クアリ

小座ヲ有スル仲買人ハ連帶保證ノ責任ヲ負ヒ保證限度ヲ毎年其ノ年末戻リ歩ノ内千分ノ五ノ總金額トスコレハ本年三月改正セラレタル制度ナルカ改正前ハ仲買人ノ連帶保證ハ年二萬五千圓ヲ限度トセリ

仲買人ノ取引額ハ五、六萬圓ヨリ二十萬圓程度ニ至ル仲買人ハ又小賣業ヲ兼業スルアリ其ノ賣上高ハ千五百圓乃至二千圓ニ上ル

七、小賣人

小賣人ハ仲買人ノ小賣業ヲ兼ヌル者ノ他ニ仲買人ニ從屬スル小座アリ現在小産ハ二百名近クアリ

小座トナルヲ得ル者ハ燒津町及小川村字堰ノ區域内ニ於テ水産業ヲ本業トナシ滿二十一歳以上ニシテ三ヶ年以上水産業ニ從事シ其ノ經驗アルモノトス(但シ水産學校卒業生ハ此ノ限ニ在ラス)

小座ハ仲買人ニ對シ取引上保證人ヲ立テ最低限度參百圓ノ根抵當ヲ提供セサルヘカラス仲買人ニシテ新タニ小座ヲ有セムトスルトキハ其ノ者ノ氏名住所ヲ水産會ヘ申出テ承認ヲ得ルヲ要ス小座ヲ解除シタルトキハ其ノ氏名ヲ水産會ヘ届出ツヘキモノトス

八、附屬商並附屬運送業者

小座ノ買受高モ千五百圓乃至二千圓見當トス彼等ハ夏場ハ専ラ鯉節削リヲナス
兩者共ニナシ

乍併燒津水産會ハ先キニ輸送ヲ迅速ナラシムルノ計劃ヲ立テ之ニ基キ燒津運送株式會社
ヲ成立セシメタリ株主ハ殆ント全部カ漁業者ニシテ本會社ハ鐵道トモ充分ニ連絡ヲ有ス現
在運搬用自働車二臺ヲ有シ運轉手給料トシテ水産會ヨリ二千圓ヲ補助ス
荷造容器ニ付テハ同業者ノ燒津購買販賣組合ニテ荷造ヲ爲シ若ハ容器ノ製造ヲナス之レ
ニ對シ水産會ヨリ一千圓ノ補助ヲナス

燒津町ニハ日東製氷會社ノ冷藏庫及他ニ一軒ノ個人冷藏庫アリ日東製氷會社カ魚商人又ハ
漁業者ニ氷ヲ販賣シタルトキハ會社ヨリ水産會社ヘ通知ヲ月二回ニ出シ代金ヲ取立ツ大正
十二年度ニ於テハ漁業者ハ百五十萬貫魚商仲買人ハ六十萬貫ノ消費ヲナセリ前記冷藏庫ニ
ハ主トシテ鮪ヲ入ル、ナリ

九、運賃

燒津驛迄石油箱(鹽干魚用)一ヶ五錢、四斗樽一ヶ十二錢ナリ
尙燒津水産會ト各地運送店ト契約セル市場搬入ノ賃金表ハ左ノ如シ

驛地名	契約店	大樽	ビール箱	鮪箱	生節	五十斤物	摘	要	空樽返送賃	戻り金
大阪木津	高	三五	二九	二一	二一	二一	ビール函以上ノ大函三十貫 勿以上ノ寸巻物ハ(魚)元運賃 ニ對シ三割掛ケトス		四七	二〇
大阪天滿 靱サコバ	高	二八	二三	一八	一八	一八			四七	二〇
京都 西納家	中岡	二五		一八	一六	一六	西納家ヲ除キ外一個平均五 錢宛		五〇	五
上野	全	二一	一六	一三	一〇	一〇			三八	一〇
松阪	合	二一	一一	一一	一一	一一	平均		三八	〇
津	中	二〇	一八	一三	一二	一二	トロール函大拾七錢		三五	一〇
四日市	中	一四	一四	一四	一四	一四	平均		三五	一〇
龜山	西 魚合	一一〇 一一〇		一〇八					三五	一〇
名古屋	長	二〇		一五	一一	一一	其他ハ臨機ニヨル		三五	一〇
熱田	五	二五	二三	一五	一一	一一	鮫類ハ一個平均 貳拾錢宛トス		三三	二〇
岡崎	濱	三五		三〇	合セ二三 石油二〇	二〇	サメ一個平均 參拾參錢宛		三一	二五
豐橋	●	二七		二三	一八	一八	サメ一個貳拾四錢宛		三三	二五

鮮魚、丸鹽魚及ヒ製造物其ノ他ニ對シテハ五分ナリ

(ハ) 右表ヲ通シ戻リ歩金ハ總テ年末ニ行フ

(ニ) 右表ニ於ケル各總口錢ヨリ漁業組合寄附金、水産會寄附金、仲買人歩戻ヲ差引ク
トキハ會社ノ收得スル純口錢高ハ左ノ如シ

總口錢四分ナルトキハ 純口錢一分八厘五毛

總口錢八分ナルトキハ 純口錢三分六厘五毛

總口錢七分ナルトキハ 純口錢二分六厘五毛

總口錢五分ナルトキハ 純口錢二分一厘五毛

(ホ) 當市場ニ於テハ物品ノ賣買價格ヲ表ハスニ多ク何貫何百文ヲ以テシ之レカ換算法
トシテ「外二分」高ヲ引去ルモノトス此ノ「外二分」ヲ稱シテ錢安ノ二分ト云フ口錢
ハ此ノ換算金ニ準據シテ收得スルモノナリ

十一、賣上高

大正十二年ノ分ニ依レハ

總賣上高 四、八九七、八八七・八四三

内 譯

區内漁獲高 三、二一八、七七八・三一五

移入物賣上高 一、六七九、一〇九・五二八

十二、市場開閉時刻及休業日

會社ノ營業時間ハ毎日午前六時ヨリ午後六時迄ナレトモ賣買ハ船舶到着毎ニ兩船繫場ニ於
テ之ヲ行フ

休業日ハ毎年一月一日、二日、三日、七月十六日、八月十三日ナリ

十三、賣買方法

糶賣ヲ原則トス

賣買代金決済方法

(イ) 會社荷主間、五月ヨリ九月ニ至ル間ニ於テハ清算ハ二又ハ三度ニ之ヲ爲シ九月ヨ
リ翌四月ニ至ル間ハ隔月毎ニ之ヲ爲ス

會社ヨリ漁業者ニ對スル仕込金ハ船舶用燃料代、漁具代等ニ對スルモノニシテ船
舶建造ニ對シテハ別ニ船主連ノ組織スル購買利用組合又ハ東海遠洋漁業株式會社
ヨリ之ヲ爲ス

(ロ) 會社對仲買人間(月三回ノ勘定トス)

商品賣買期間	代金ノ内金拂込期日	代金完済期日
毎月一日ヨリ十日迄	毎月十三日	毎月十八日
毎月十日ヨリ廿日迄	毎月廿三日	毎月廿八日
毎月廿日ヨリ末日迄	翌月三日	翌月八日

(ハ) 仲買人對小座

小座ノ買懸代金決済方法ハ右ノ會社對仲買人間ノ方法ニ準スルモノニシテ總テ正
 錢勘定トス小座ニ對スル歩戻ハ一分三厘ト定メ一ヶ月毎ニ計算シ其ノ翌月拂渡ス
 規定ノ通り内金及皆濟ヲ實行セサル仲買人及小座ニ對シテハ取引ヲ停止ス而シテ内金ヲ拂
 込マサル者ハ十四日中、皆濟セサル者ハ十九日中ニ水産會へ通知ス
 市場ニ於ケル取引ハ仲買人モ小座モ同一ノ取扱ニシテ値立割當物モ亦同シナリ
 十四、市場ノ金融制度

市場ニ於ケル金融機關ナルモノ別ニナシ

會社ノ取引銀行ハ明治銀行支店、燒津水産銀行ナリ

十五、出荷ノ獎勵其ノ他

水産會ハ出荷ノ獎勵トシテ水産會員ノ組織スル出荷組合ニ二千圓ノ補助金ヲ交付ス其ノ他

荷造容器ノ改良及運送ニ關シ獎勵スルトコロアルハ前述セルトコロナリ而シテ賣場ニ於ケ
 ル船舶ノ二ノ繋キ場ニ付テハ漁業組合ト契約ヲナシ兩トマリ場ヲ經由シテ全部會社へノ委
 託販賣トナシ其ノ代リ漁業者ノ漁獲高ノ百分ノ一ヲ獎勵金トシテ水産會ヨリ交付スルコト
 、セリ

十六、鯉節ノ取引

燒津市ハ鯉節ノ集散市場及加工製造所トシテ有數ナリ取扱高ハ年二十貫入ノ樽約二萬五千
 乃至四萬樽ニ達シ土地及附近郡部ノ消費ヲ約一萬樽トス鯉節ハ燒津町ニ於ケル魚商人ノ買
 付販賣殆ント全部ヲ占メ委託アルトシテモ極ク少數ニシテ此レ先方ヨリ半製品仕上ノ委託
 ヲ受クル分ニ外ナラス鯉節ノ相場ハ十貫匁三陸物百圓、臺灣物百三十圓、地物百五十圓ニ
 シテ平均相場ハ百二十五圓見當ナリ

二、燒津驛ニ於ケル鮮魚及鹽干魚發着統計 (大正十二年度)

活鮮魚	發送	到着
四月	八三	二〇〇
五月	七五	二八九
六月	三五	一三六
七月	二二	一〇五
八月	二二	六
九月	九	一〇九
十月	二四	一六九
十一月	五四	三五
十二月	五四	六二
一月	八〇	五五
二月	七〇	四八
三月	六五	三三
計	六〇七	四一

鹽干魚		鯉節		生節	
發送	到着	發送	到着	發送	到着
一	五	七	七	二	二
一	三	二	一	二	二
四	三	二	九	二	二
三	五	二	九	一	一
一	五	一	四	七	五
一	九	三	三	二	二
一	六	八	二	一	一
一	二	一	九	七	三
一	六	一	二	一	一
一	二	一	五	一	一
一	六	一	四	一	一
一	八	一	五	一	一
一	六	一	七	一	一
一	〇	一	三	一	一

運賃表

鮮魚(生節同シ)

神戶	下關	長崎	汐留	東橫濱	名古屋	熱田	梅小路	梅田
九三〇	一七四〇	二一八〇	六二五五	五八五五	五七〇〇	五五五五	八一五〇	八八〇〇
八〇〇	一五〇一〇	一九〇〇〇	貸切(一噸)	五〇〇〇	四八五五	四七五五	七〇〇〇	七五五五

鹽干魚

神戶	下關	長崎	汐留	橫濱	名古屋	大阪	梅小路
九三〇	一七四〇	二一八〇	四〇〇〇	三七五五	三六五五	五五〇〇	五一〇〇
八〇〇	一五〇一〇	一九〇〇〇	貸切(一噸)	三三四五	三三三五	五五〇〇	四七〇〇

鯉節

汐留	東橫濱	名古屋
四九〇五	四六〇五	四五〇〇
四二五	四〇〇〇	三九〇〇

熱田	梅小路	梅田	神戶	下關	長崎
四四〇	六四〇	六九〇	七三〇	一三・六〇	一七二・〇
三八〇	五五〇	五九五	六三〇	一一・八〇	一四・七〇

四、甲府市

一、甲府市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村

甲府市 (大正十年市統計ニ依ル) 現在人口 面積 (方哩)
 六三、二一六人 〇、五三四
(他ニ外國人二八人) (東西一里南北一里三町四十七間)

(大正九年國勢調査ニ依ル)

甲府市ト消費經濟上一體ヲナスヘキ隣接町村トシテ特ニ舉クヘキモノナシ

二、甲府市ニ於ケル新鮮食料品其ノ他ノ集散及消費ノ狀況

(數字ハ參考材料ニ基ク以外ハ市當局並當業者ノ大正十二年中ノ狀況ニ關スル推測ニ依ル)

(A) 魚類 年取扱額
 約二、八五〇、〇〇〇圓
 一、五〇〇、〇〇〇圓(市消費ノ分)
 一、三五〇、〇〇〇圓(送荷其ノ他)

(イ) 鮮魚

年入荷額

約五〇〇、〇〇〇圓

四〇〇、〇〇〇圓(一市場扱ノ分)

一〇〇、〇〇〇圓(甲府驛經由他町村行其ノ他ノ分)

年消費額

五〇〇、〇〇〇圓

四〇〇、〇〇〇圓(市消費ノ分)

一〇〇、〇〇〇圓(送荷其ノ他)

(ロ) 鹽干魚

年入荷額

五〇、〇〇〇圓(一市場扱ノ分)

約二、三五〇、〇〇〇圓

一、九〇〇、〇〇〇圓(個人問屋扱ノ分)

一〇〇、〇〇〇圓(甲府驛經由他町村行其ノ他)

年消費額

二、三五〇、〇〇〇圓

二、一〇〇、〇〇〇圓(市消費ノ分)

二、二五〇、〇〇〇圓(縣内各處ノ送付、馬車、自動車、鐵道其ノ他ニ依ル)

(B) 蔬菜及果實

年取扱額

約九五〇、〇〇〇圓

一〇〇、〇〇〇圓(一市場扱ノ分)

八〇〇、〇〇〇圓(問屋、仲買、生産者棒手賣等)

五〇、〇〇〇圓(前記以外ノ分ニシテ甲府驛經由ノ分其ノ他)

年消費額

八〇〇、〇〇〇圓

四三〇、〇〇〇圓(蔬菜)

三七〇、〇〇〇圓(果實)

九五〇、〇〇〇圓

一五〇、〇〇〇圓(甲府驛經由移出入他所、郡部方面行)

(C) 鮮肉

大正十二年中ニ於ケル牛馬豚ノ屠殺額ハ約三三三、〇〇〇圓ニシテ他方移出ハ約五一、〇〇〇圓アルヲ以テ市ノ消費ハ約二二一、〇〇〇圓程度ナラム

三、甲府市ニ於ケル新鮮食料品生産高

青 果

大正十二年度

蔬菜 六三、三三〇貫——一〇、三七四圓

果實 八三、八八五貫——六三、三五〇圓

梨 五六五貫——三一五圓

苹果 一〇〇貫——三三七〇圓

柿 一二、二八〇貫——八、一四五圓

葡萄 七〇、七五〇貫——四九、五二五圓

柘榴 一九〇貫——五七圓

大正十年度

蔬菜

作付反別	收穫高	價格
馬鈴薯	五六反	二一、八四〇貫
葱	一七	一〇、二〇〇
生薑	二	六〇〇
菜	一二四	二九、七六〇
		四、四六四

果實

數量	價格
甲州種葡萄	八、八〇〇貫
西洋種葡萄	五六、三〇〇
柿 (生柿)	一四、〇一〇
梨	五〇〇
桃	一八、七〇〇
柘榴	一八六
	三、三六六
	五六

大正九年度

蔬菜

作付反別	收穫高	價格
馬鈴薯	五四反	二一、〇六〇貫
葱	四	二、四八〇
生薑	二	九〇
菜	一	三二

大正九年度

果實

品名	數量	價格
甲州種葡萄	八、九〇〇貫	一一、五七〇圓
西洋種葡萄	五七、一〇〇貫	二五、六九五
柿 (生柿)	四、七二五	一、六五四
梨	四八〇	二六八
桃	一八、七〇〇	三、三六六
柘榴	五六〇	一五七

卵

品名	數量	價格
大正十二年度		
鷄產卵	一九六、三五〇個	九、八一七圓
鶩產卵	三、七五〇	一八七
大正十年度		
鷄產卵	一一〇、二二〇個	七、七一五圓
鶩產卵	一、一九〇	九五

獸

品名	頭數	生體斤量	肉斤量
鷄產卵	九七、七二九個		七、四七一圓
肉 (大正十一年度屠殺ノ分)			
牛	四〇六	二四二、八六六斤	一二四、五四七斤
豚	二、〇一八	三二七、二六五	一八九、五二六
馬	三一八	一六二、三四五	七〇、三二三

甲府市人口一年一人當新鮮食料品消費額 (大正十二年度消費額基準)

國勢人口	五六、〇〇〇	全市消費額	二、五一一、〇〇〇圓	一人當消費額	四四、八四圓
大正十年人口	六三、〇〇〇	全市消費額	二、五一一、〇〇〇圓	一人當消費額	三九、八六

品名	消費額	一人當消費額	備考
鮮魚	四〇〇、〇〇〇圓	六、三五五	國勢人口基準 大正十年人口基準
鹽干魚	一、一〇〇、〇〇〇	一七、四六四	以下同シ
蔬菜	四三〇、〇〇〇	六、八三三	

鮮肉	果實
二二一、〇〇〇	三七〇、〇〇〇
三三七七	六六一
三三五	五八七

五六

四、甲府市ニ於ケル新鮮食料品發着統計 (大正十二年度)

到着

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	仕出
活鮮魚	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	沼津、飯田町
鹽干魚	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	飯田町、沼津、豊橋、小樽、函館
生野菜	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	沼津、飯田町
柑橘	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	和歌山、名古屋、濱松、豊橋
其他ノ生果	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	弘前、飯田町、神戸
生甘藷	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	國分寺、銚子
漬物及野菜	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	静岡、石神井、龜崎
馬	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	七尾港、大崎
牛	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	矢根、新宿

發送

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	仕向
活鮮魚	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	大月
鹽干魚	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	岡谷、大月
生野菜	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
柑橘	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
其他ノ生果	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	飯田町、岡谷、東横濱、八王子
生甘藷	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	上諏訪
漬物及干野菜	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	四方津
牛	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	新宿其他
馬	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
鮮肉	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	

貨物運賃表

小口(百斤) 貸切(一噸)

沼津	鮮魚	〇・九〇	七・六〇
沼津	蔬菜、鹽干魚	〇・四三五	四・〇〇
飯田町	鮮魚	〇・六〇五	五・〇〇五
飯田町	蔬菜、鹽干魚	〇・三〇	二・八〇

五七

國	館〔蔬菜、鹽干魚〕	一・三六	一三・七〇
和歌山	〔蔬菜、鹽干魚〕	〇・六六五	六・〇五
名古屋	〔蔬菜、鹽干魚〕	〇・四八	四・四〇
神戶	〔蔬菜、鹽干魚〕	〇・六八五	六・三五
東横濱	〔蔬菜、鹽干魚〕	〇・三一五	二・八五

五、甲府市ニ於ケル市場

(イ) 甲府魚市場

一、名稱並位置

甲府魚市場ト稱シ甲府市魚町一丁目ニ所在ス

二、取扱品目

鮮魚、鹽干魚

三、組織

本市場ハ甲府魚市場組合ニ依リテ維持サル此ノ組合ハ本市場ニ關係アル問屋、仲買人、直接小賣人及間接小賣人ニ依リテ組織サル間接小賣人ヲ除ク其ノ他ノ組合員ハ自己ノ賣上高

ニ應シテ出資ヲナスモノニシテ明治四十五年頃出資ニ萬圓ヲナセルモ其ノ金額不必要ナリシタメ辰シヲナシ現在ノ出資金ハ一萬六千圓ナリ

四、沿革

明治初年ノ頃ヨリ市内魚町ニ魚商連合シ新生組合ナルモノヲ設ケ路傍（現在ノ市場ノ前面ヲ通スル道路上）ニテ市場賣買ヲナシ來リシ處明治三十年山梨縣令第四號ヲ以テ食品市場取締規則ヲ發布シタルニ付之ニ依リ甲府魚市場ト改稱シ營業シ來リシモ路傍ノ開設ハ衛生上有害ナリト認め明治三十六年中其ノ移轉ヲ命シタルモ適當ノ場所ヲ得ル能ハサルニヨリ同町十七番地ニ敷地ヲ求メ（土地ノ買收ハ前記出資金ノ一部ヲ用ヒテ之ヲナス）組合組織ヲ固メ大正二年ニ常屋市場ノ開場式ヲ行ヒタリ市場ノ建築ハ明治四十五年ニ着手セリ

五、問屋、仲買人並小賣人

問屋ハ大正六年迄三軒ナリシカ同年ヨリ一軒ヲ加ヘ四軒トナレリ
仲買人ハ二十三名ニシテ仲買人ノ甲府魚市場組合加入ニ對シテハ別ニ加入金ヲ徴セス然レトモ仲買人ノ組合加入ニ付テハ頗ル開放的ナラス仲買人ノ買高ハ一月ニ一人當リ百二十圓乃至一萬三千圓ニ亘ル範圍ナリ
直接小賣人ハ問屋ト直接ニ取引ヲナスモノニシテ此ノ點仲買人ト同様ナリ直接小賣人タル

ニハ問屋ニ三百圓程度ノ保證金ヲ支拂ヒテ魚市場組合ニ加入スルモノトス仲買人ニシテ市
 内ノ自己ノ店舗ニ於テ小賣ヲ兼業スル者アルモ其ノ數尠ナシ
 間接小賣人ハ仲買人ニ從屬スル賣子ナレトモ別ニ市場賣買ニハ參加セス間接小賣人ノ組合
 加入ニハ組合ノ承認ヲ要スルノミ
 小賣人ハ直接、間接ヲ併セ其ノ數約百五十名アリ
 買出人ハ一日約二百名ナリ市場内ニテハ別ニ小賣場ノ設ケナシ

六、出 荷 者

出荷者ハ主ナルモノ、ミニテモ七百名アリ

七、賣 買 方 法、手 數 料

賣買方法ハ糶賣ナレトモ符牒ヲ用ヒテ^{フトラ}糶ヲナシ頗ル公開的ナラス又問屋ハ自己ノ買付
 品ノ賣買ニ付糶ノ順序ノ遺線モナシ得取引單位ハ貫立(重量單位)賣場ハ四ヶ所アリ
 賣買手數料ハ鮮魚ニ付問屋手數料一割二分仲買人歩戻六分五厘トシ鹽干魚ニ付問屋手數料
 八分仲買人歩戻四分トス(歩戻ハ直接小賣人ニ對シテモナス)
 組合問屋ハ不得止シテ他地へ出荷スル場合ハ事務所ニ届出テ承認ヲ得テ價格百分ノ五ヲ差
 出サ、ルヘカラス但シ海藻類ニ付テハ百分ノ三トス

組合仲買人及直接小賣人ハ直接ニ荷受ヲナシ又ハ當組合員以外ノ者ヨリ直接買收シ販賣ス
 ルコトヲ得ス又止ムヲ得ス組合員以外ノ者ヨリ買入ル、場合ハ其ノ價格ノ百分ノ五ヲ組合
 事務所ニ差出サ、ルヘカラス但海藻類ニ付テハ價格ノ百分ノ三トス
 組合仲買人及ヒ直接小賣人カ至急ヲ要スル場合他地へノ註文品竝問屋ニ對スル註文品ハ註
 文ト同時ニ註文者、被註文者、品名、數量ノ概數ヲ記入シテ事務所ニ届出テ同品引渡ノ際
 ハ事務所ノ承認ヲ經テ引渡ヲナシ註文者ハ其ノ價格ノ百分ノ五ヲ當該問屋ニ支拂ヒ賣買兩
 者ヨリ價格一圓ニ付四厘宛ヲ事務所ニ納ム
 組合員ニシテ問屋以外ノ者荷受シタル場合ニ註文以外ノモノハ全部問屋ニ委託スルモノト
 ス問屋ハ該品ヲ普通委託品ト同一ニ取扱フ市場ヨリ買入レタル物品ヲ他人ノ賣子ニ販賣シ
 タルモノハ當日買入レタルモノニ限り問屋ノ手ヲ經由シテ所屬賣親ニ付ケ分ケヲ爲スヘシ
 組合仲買人、直接小賣人ニシテ他府縣下ヨリ買又ハ託送ヲ受ケタル魚類ヲ市場内ニテ販賣
 セムトスルトキハ組合問屋ニ委託スルコトヲ要ス該委託品ハ他府縣ノ出荷品ト同様ニ取扱
 フ此ノ場合委託者自身及同人賣子ハ該品ニ對シ値立ヲナシ又ハ借入ル、コトヲ得サルモノ
 トス而シテ萬一値段折合ハサル場合ハ開市後二時間ヲ經過シタル後同物品ヲ問屋ヨリ引取
 販賣スルコトヲ得但シ指値ヲナシタル委託品ヲ自己カ引取りタル場合ハ市場内ニテ賣買ヲ

爲スコトヲ得サルモノトス

仲買人對間接小賣人ノ取引ハ相對トス

八、賣上高

大正十二年度ニ於ケル賣上高ハ約四五〇、〇〇〇圓ニシテ右ノ中委託品ハ三十二萬圓見當買付品ハ十三萬圓見當ナリ鹽干魚ノ買付ハ其ノ數量尠ナシ

九、代金決済

問屋對荷主ノ代金決済ハ即日仕切書ヲ發送スルモ清算ハ月二回トシ送金ニハ銀行爲替、郵便爲替ヲ以テス

問屋對仲買人、直接小賣人ノ代金決済ハ月末ニハ請求スルモ滯ニ對シテハ全部年一回清算ス

仲買人對間接小賣人ニ付テモ月末ニハ請求シ内金ヲ徵收スルハ前ノ場合ト同様ニシテ年一回清算ヲナスコト亦同シ

問屋、仲買人等何レモ代金徵收ニ苦心ス

十、開閉市並取引時間

午前七時ヨリ二時間位トス

休業日ハ毎月二十三日ヲ公休日トスルコト東京ノ魚河岸市場ニ同シ

十一、規模

總面積 三六六坪

建物敷地 一九七坪 (事務所ヲ含ム)

市場内地面ハ全部石ヲ以テ疊ム市場建物ハ堅

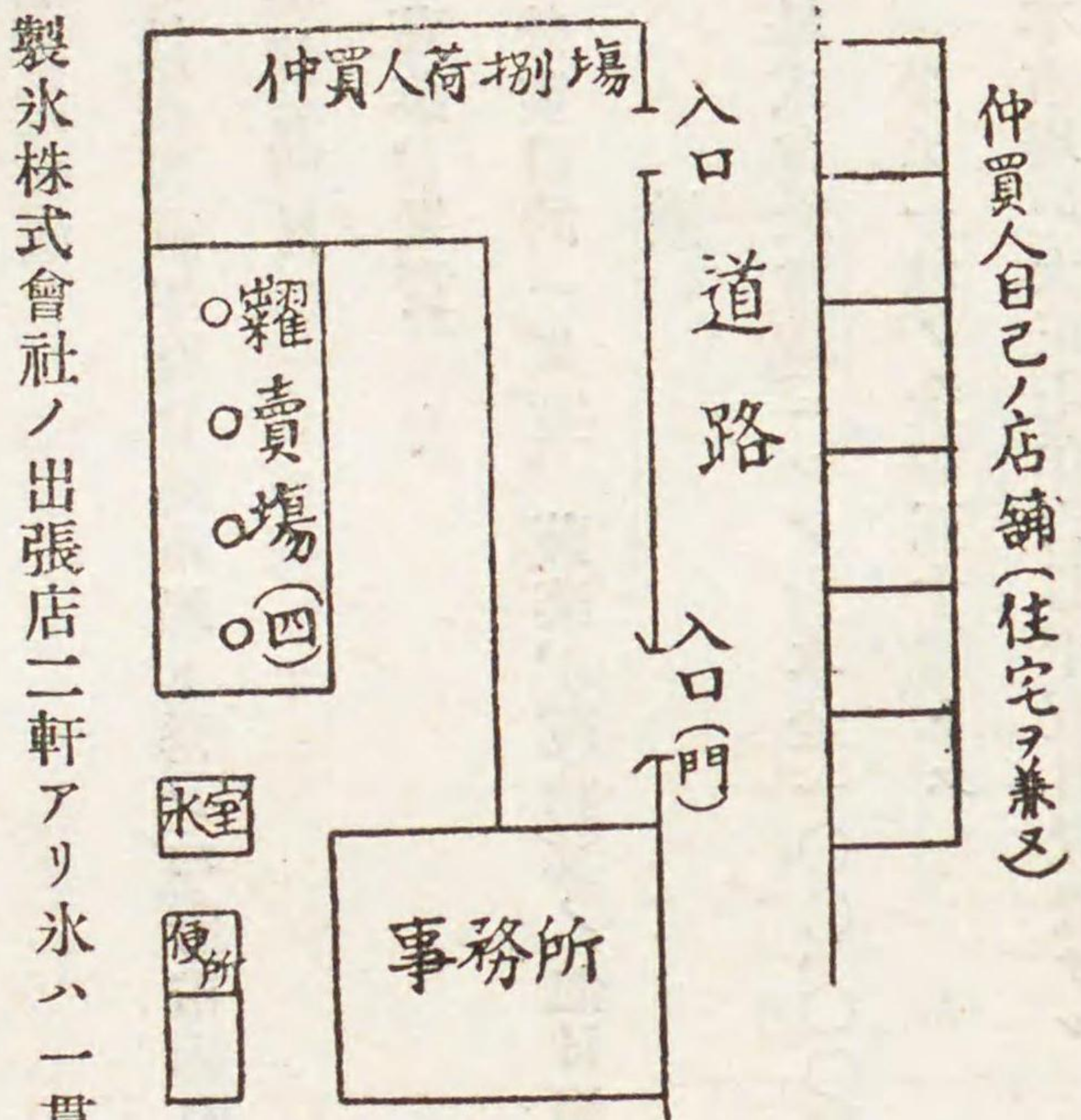
牢ナル木造ニシテ事務所ハ二階屋ナリ

市場前面ハ以前ノ路傍市場ノ名殘ヲト、メ石

ノ鋪道トス

氷室ハ二坪ニ過キス問屋之ヲ使用ス

市場ト相對シテ日東製氷株式會社、甲府電力



製氷株式會社ノ出張店二軒アリ氷ハ一貫十五錢乃至十七錢トス

本市場ハ甲府驛ヨリ約七丁ノ距離ニアリ魚箱一個十五錢見當ノ運搬費ヲ要ス馬力、手車、自

動車ニ付全テ同シ

十二、組合經費負擔

組合ノ經費負擔トシテ問屋ハ問屋賣場面積料一坪六十錢ヲ毎月及ヒ賣買高一圓ニ付四厘ヲ

納ム仲買人モ亦同シ(仲買人荷捌場ニ付)
 直接小賣人ハ仲買人荷捌場面積料半坪三十錢ヲ毎月及ヒ買高一圓ニ付四厘ヲ納ム
 經費納入ニ關スル違約金制裁ハ五圓以上二百圓以下トス

(口) 甲府食品市場

一、名稱並位置

株式會社甲府食品市場ト稱シ甲府市錦町六番地ニ所在ス

二、取扱品目

蔬菜、果實

營業目的ハ果實、蔬菜、乾物其ノ他日用品ノ販賣並ニ委託販賣及附帶事業ヲナスニアリ

三、組織

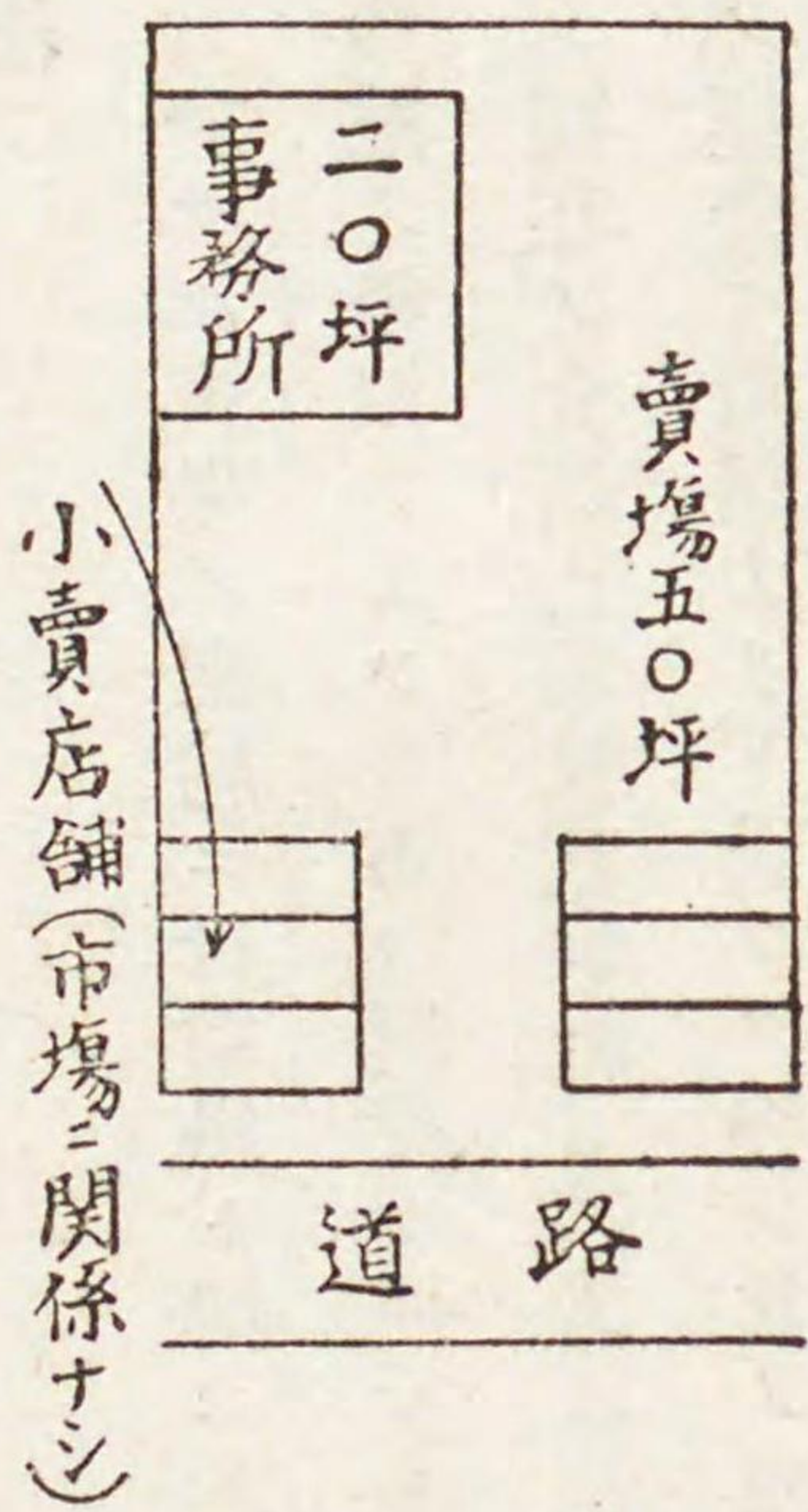
株式會社組織ニシテ資本金一〇〇、〇〇〇圓拂込資本金二五、〇〇〇圓ニシテ總株式ヲ二千株
 ニ分チ一株ノ金額五十圓トス

本市場ハ大正七年六月十五日設置サル

四、規模

賣場五〇坪、事務所二〇坪

(總坪數八〇坪)
 市場ノ見取圖左ノ如シ



五、問屋、仲買人其ノ他

問屋業務ヲ行フハ會社ナリ

仲買人ハ五十名ニシテ小賣業ヲ兼ヌ

一日ノ買出人ハ約四十名ナリ荷主ハ三十名見當

六、賣買方法並手数料

賣買方法ハ全部糶上賣ニシテ置場順ノ糶ヲ行フ手数料ハ他地方荷ニ對シテハ一割近在荷ニ
 對シテハ八分ニシテ歩戻ナシ

七、賣上高

大正十二年度六〇、〇〇〇圓見當ニシテ其ノ中約四二、〇〇〇圓ハ蔬菜、約一八、〇〇〇圓ハ果實ニ當ル

會社ハ買付ヲナスモノニシテ右ノ數字中四八、〇〇〇圓見當カ委託品ニシテ二二、〇〇〇圓見當カ買付品ニ當ル

八、開閉市並休業日

開市ハ午前九時ヨリ十時乃至十二時ニ至ル

休業日ハ一月一日、二日、十二月三十一日ナリ大正十二年度ニ於ケル開場度数ハ三百六十回ナリ

九、其ノ他

甲府市ニ於ケル青果ノ配給ニ付市場ト稱スルハ本市場一ヶ所アルノミナリ本市場ノ敷地ハ最初縣病院ノ敷地ナリシヲ市カ買受ケ而シテ公設小賣市場ヲ開設スル意嚮アリシカ計劃意ニ任セス現在ノ食品市場株式會社ニ讓渡セリ

本市場ノ經營モ順調ナリト云フヲ得ス其ノ原因ノ一トシテハ現在市中ニ個人問屋ニシテ蔬菜ヲ扱フモノ十軒果實ヲ扱フモノ五軒アリ此等ノ者トノ競争激シク本市場ハ縣令（明治三十年山梨縣令第四號）ニ依リ市場ノ取締ヲ受クルニ不拘個人問屋ハ市場トシテノ監督ヲ受

ケス且此等ノ者ハ甲府市ニ通スル郡部ヨリ街道ニテ出荷者ヲ待チ受ケ荷ヲ買取ル有様ニテ本市場ニ對スル出荷モ思フニ任セサルアリ荷ノ買取ニ付テモ同業者ノ無用ナル競争、荷主ノ不利等見逃スヘカラス

他方近在ノ生産者ニシテ市内ニ於テ棒手賣ヲナス者尠ナカラス其ノ賣上モ一日五百圓ニハ上ル見込ナリ

五、長野市

一、長野市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

舊長野市ニハカ、ル隣接町村アリタルモ昨年之等ヲ合併シタリ即チ吉田町、芹田村、古牧村、三輪村ノ一町三ヶ村之ナリ

長野市現在人口 六三、四六六人(大正十二年十一月現在)

内 譯

舊長野	四一、一一六人
芹田	八、七八七
古牧	四、二九二
三輪	六、四七四
吉田	二、七九七

二、長野市ニ於ケル新鮮食料品集散及消費ノ狀況

(數字ハ縣當局當業者ノ推測其ノ他ニ依ル)

(A) 魚類

年取扱額 約二、二七〇、〇〇〇圓

内 譯

一、四〇〇、〇〇〇圓(市消費ノ分)

八七〇、〇〇〇圓(送荷其ノ他ノ分)

(イ) 鮮魚

年取扱額 八七〇、〇〇〇圓(主ナル取引先ハ新潟縣各地方、東京、茨城)

内 譯

七三〇、〇〇〇圓(魚市場三ノ扱)

一三〇、〇〇〇圓(市内個人問屋其ノ他ノ扱)

年消費額及送荷額

八七〇、〇〇〇圓

{ 五五〇、〇〇〇圓(市消費ノ分)
三二〇、〇〇〇圓(鐵道、自動車其他ニヨル送荷額)

(ロ) 鹽干魚

年入荷額 約一、四〇〇、〇〇〇圓(主ナル取引先ハ新潟縣各地方、東京、茨城)

内 譯

五七〇、〇〇〇圓(個人問屋其ノ他ノ扱)

八三〇、〇〇〇圓(魚市場三ノ扱)

年消費額及送荷額

{ 八五〇、〇〇〇圓(市消費ノ分)

一、四〇〇、〇〇〇圓 { 五五〇、〇〇〇圓(鐵道、自動車、馬車等ニヨル送荷額)

(B) 蔬菜及果實

大正十二年度長野驛經由青果移出入高(長野商業會議所調査)

移 入

一、三四九噸

一一八、七一二圓

八四三噸

一七一、九六六圓

移 出

二五三噸

二二、二六五圓

一七二噸

三五、〇八八圓

柑 橘

生 野 菜

長野市青果大正十二年消費額(當業者ノ推測ニ依ル)

約一、一五〇、〇〇〇圓
〔六〇〇、〇〇〇圓(蔬菜)
五五〇、〇〇〇圓(果實)〕

長野市ノ生産ニシテ市ノ消費ニ充テラル、モノ七〇、〇〇〇圓餘(蔬菜五〇、〇〇〇圓、果實二〇、〇〇〇圓ノ見當)ニシテ其ノ中三〇、〇〇〇圓餘ハ青果市場(ニ)ノ扱ヒトナル
大正十一年度長野市青果生産高(大正十一年長野統計書参照)

蔬菜

蔬菜	作付反別	收穫高	價格
豌豆	〇・五 _反	八 _石	一二〇 _円
蠶豆	〇・一	二	二〇
苺	〇・二	九〇	九〇
胡瓜	一・一	四、四〇〇	八八〇
蘿蔔(生)	一二・〇	七八、〇〇〇	九、三六〇
胡蘿蔔	〇・四	一、六〇〇	六四〇
牛蒡	〇・三	一、三五〇	五四〇
葱	二・五	一〇、〇〇〇	一、三〇〇

果實

果實	樹數	收穫高	價格
甘藷	〇・六	二、四〇〇	四三二
馬鈴薯	一〇・五	四二、〇〇〇	六、三〇〇
南瓜	一・〇	四、〇〇〇	六〇〇
茄子	〇・五	一、八〇〇	二七〇
漬菜	八・〇	四八、〇〇〇	七、二〇〇
甘藍	〇・六	三、六〇〇	七二〇
計	三八・三	一九七、二五〇	二八、四九二
梅	五八〇 _本	七五 _石	一、五〇〇 _円
桃	三二〇	一、六〇〇 _實	九六〇
櫻桃	五〇〇	七五〇	一、三五〇
日本梨	三八〇	一、五二〇	一、二一六
幸果	一二七、六〇〇	一二七、六〇〇	九四、〇八〇
生杏	五八五	六〇〇	三六〇

乾杏	一	二〇〇	八〇〇	七四
生柿	七六〇	五、三二〇	一、八六二	
葡萄	二七〇	二、一六〇	二、一六〇	
計	一二〇、九九五	一〇四、二八八		

(桃、櫻桃、日本梨、苹果、生杏、生柿、葡萄) 一二九、七五〇
梅 七五

(C) 長野市畜産價額(大正十一年度縣統計參照)

牛出產	一、二三六圓
羊豚出產	七九三
牛乳	三五、二八〇
家禽卵	二九、八五四
蜂蜜及蠟	五、一六〇
計	七二、三三三

長野市人口一年一人當新鮮食料品消費額(大正十二年度消費額基準)

大正十二年人口	全市消費額	一人當消費額	鮮魚、鹽干魚、蔬菜、果實
六三、四〇〇	二、五五〇、〇〇〇 ^円	四〇、二二二	
品名	消費額	一人當消費額	
鮮魚	五五〇、〇〇〇 ^円	八・六八	
鹽干魚	八五〇、〇〇〇	一三・四一	
蔬菜	六〇〇、〇〇〇	九・四六	
果實	五五〇、〇〇〇	八・六八	

三、長野驛ニ於ケル新鮮食料品發着統計 (大正十二年度)

到着	品名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
	活鮮魚	一〇六	九	一二	二七	一六	三三	四	七	三	一九	二四	一九	一九五
	鹽干魚	一四	五	一五	二四	一七	九	一四	一八	一七	一九	二八	四三	二〇九
	生野菜	三	五	三	四	三	七	二	五	五	二五	四七	三三	三三九
	柑橘	一四	三	二	八	八	四	一	一	一	一	一	一	八三

四、長野市ニ於ケル市場

魚類ノ部

青	森	蔬菜、鹽干魚	〇・八三五	七・七五
	鮮魚		一・七九	一五・四〇
鹽	釜	鹽干魚	〇・六八五	一二・五〇
	鮮魚		一・四六	
秋葉	原	蔬菜、鹽干魚	〇・四二	三・八五
梅	田	蔬菜、鹽干魚	〇・六二五	五・八〇
	鮮魚		一・三三	一一・三〇

(イ) 長野魚商株式會社

一、名稱並位置

長野魚商株式會社ト稱シ長野市東町貳拾五番地ニ所在ス

二、沿革

以前ハ合名會社組織ナリシカ大正貳年株式會社組織トナル通計シテ二十五、六年間ノ市場

經營ヲナシ來レリ

三、取扱品目

實際ハ鮮魚、鹽干魚ナリ

會社ノ事業目的ハ海産物、乾物、青物及ヒ之ニ附帶スル物品ノ委託販賣ヲ爲スニアリ

四、組織

會社ノ資本總額ハ五〇、〇〇〇圓ニシテ現在ノ拂込資本ハ三三、〇〇〇圓ナリ株式ハ總數一

千株ニシテ一株五十圓トス株主ハ八十二名ニシテ其ノ中八十名リ仲買人ナリ

會社ノ存立期ハ大正貳年以後滿貳拾ケ年トス配當ハ株主配當一割特別配當六分トス(大正

十二年度)

五、問屋、仲買人其ノ他

問屋業ヲ營ムハ會社ナリ

問屋ヨリ買入ヲナス仲買人ハ現在百六十名餘アリ長野市ニ於ケル魚類ノ仲買人ハ長野魚商組合ヲ大正六年以來組織ス此ノ組合ニ加入セサル者ハ長野市ニ於ケル魚類ノ市場ニテ買入ヲ爲スコトヲ得サルモノニシテ此ノ組合ハ仲買人ノ營業上ノ信用ヲ高メ且同業者ノ連絡ヲトランスルニアリ加入金ハ三十圓トス故ニ魚商組合員ハ何レノ市場ニ赴キテモ買入ヲナ

スコトヲ得レトモ各市場ニ就テハ各々其ノ貸金關係其ノ他ノ理由ニ基キ自ラ仲買人ヲ自己ノ市場ニ從屬セシムルニ至ルスル譯ヨリシテ長野魚商株式會社市場ニ附屬セル仲買人ハ前掲ノ如ク約百六十名見當トス

仲買人ハ市中ニ於ケル各自ノ店舗ニ於テ小賣業ヲ營ムモノニシテ棒手賣ニ該當スル賣子ハ各仲買人平均二名ヲ有ス此ノ賣子ハ市場ニ於ケル賣買ニハ參加セス
買出人ハ一日約百二十名トス

六、賣買方法、手數料

會社ハ買付ヲナス全テ荷主ヨリノ委託ニヨル販賣ヲナスモノニシテ賣買方法ハ糶上賣ナリ賣買稱呼ニ金錢表示ハ採用シ居ラス

手數料ハ會品手數料トシテ鮮魚二割鹽干魚一割トシ仲買人歩戻トシテ鮮魚五分鹽干魚三分トス

七、賣上高

大正十二年度賣上高ハ六〇〇、〇〇〇圓見當ニシテ此ノ中各半々ノ割合ヲ鮮魚、鹽干魚占メ長野市ノ消費ニ充テラル、分ト他地方へ送荷サル、分モ各半々ナリ

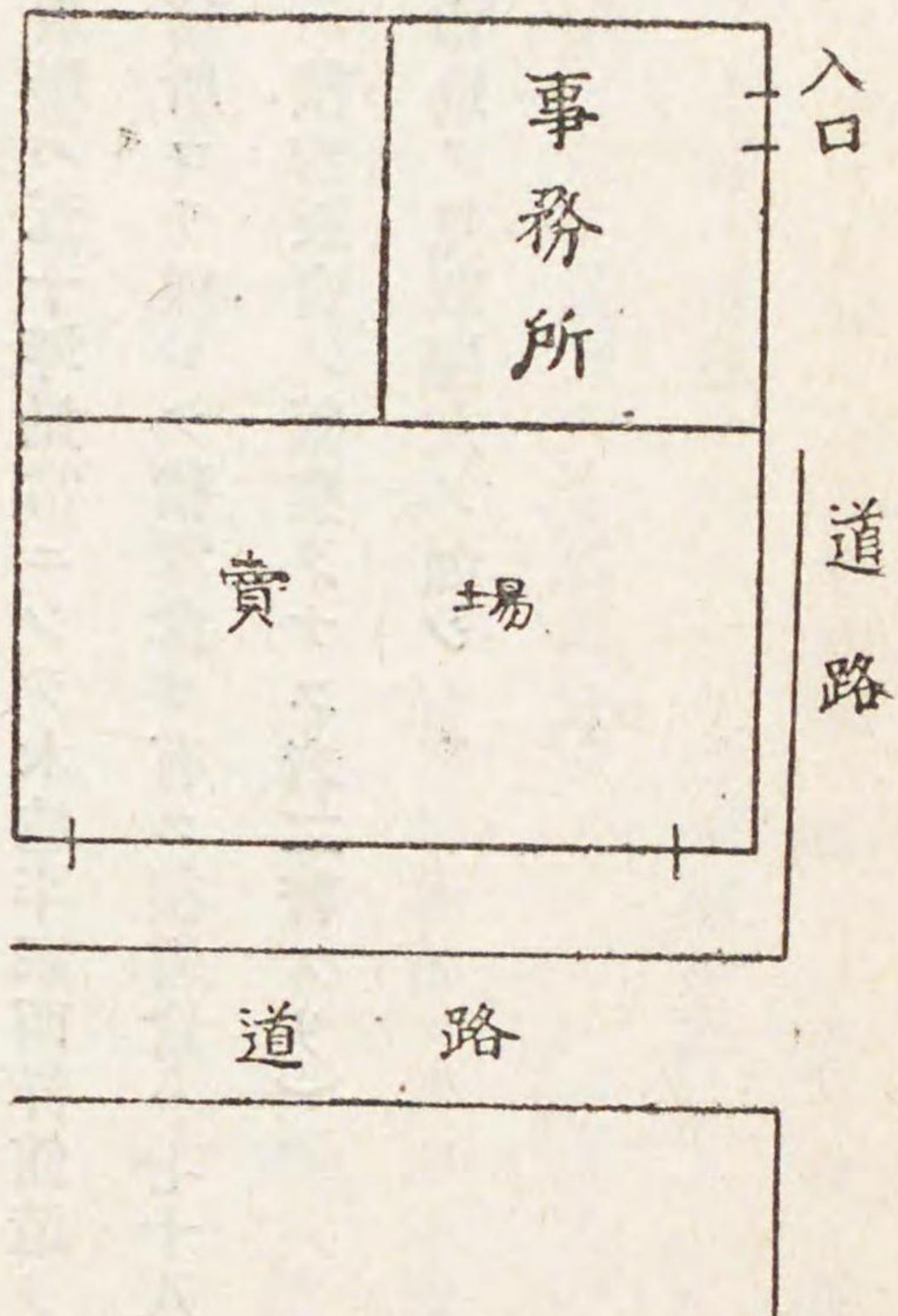
八、代金決済

會社對荷主ノ代金決済ハ賣買當日ニ仕切ヲナスヲ原則トスレトモ多クハ個々ノ荷主ニ付テ區々タルモノニシテ請求次第、月纏メ半年纏メノ如ク荷主ノ種類ニ依リテ同シカラス送金ハ銀行爲替ナリ

會社對仲買人ノ代金決済ハ毎月十日勘定トス然レトモ當日ニ於テ當日迄ノ買ニ對シ文字通リ清算セラル、ニアラス貸金モ相當ノ割合トナルナリ長野魚商組合ニアリテハ仲買人ノ不拂ニ對シ相當ノ制裁ヲナス目論見アルモ元來魚商組合カ任意的ナル申合セ組合ニシテ代金支拂ノ點ニ付仲買人ノ支拂ヲ確保スルコトヲ得ス

九、設備

賣場ハ五十坪見當ニシテ木造平家西洋館造リノ事務所之ニ接續ス其ノ内部ハ疊敷ナリ又事務所ヨリ離レテ積雪倉ヲ有ス積雪倉ハ七十八坪餘ノ地下窖ニシテ深サ八間ナリ（長野市ニハ積雪販賣ノ營業ヲナス者二軒アリ）
市場ノ見取圖左ノ如シ



賣場ハコンクリート道路ニ
近キヲ以テ開市時ニハ混雜
ス車ハ賣場ノ軒先又ハ道路
ニ置ク

十、開市及休業日

取引時間ハ午前八時頃ヨリ二時間位ナリ

休業日トシテハ別ニ定メナケレトモ一月一日、十二月三十一日ハ休業ヲナスヲ例トス

(口) 長野魚市場

一、名稱並位置

株式會社長野魚市場ト稱シ長野市東町ニ所在ス

二、取扱品目

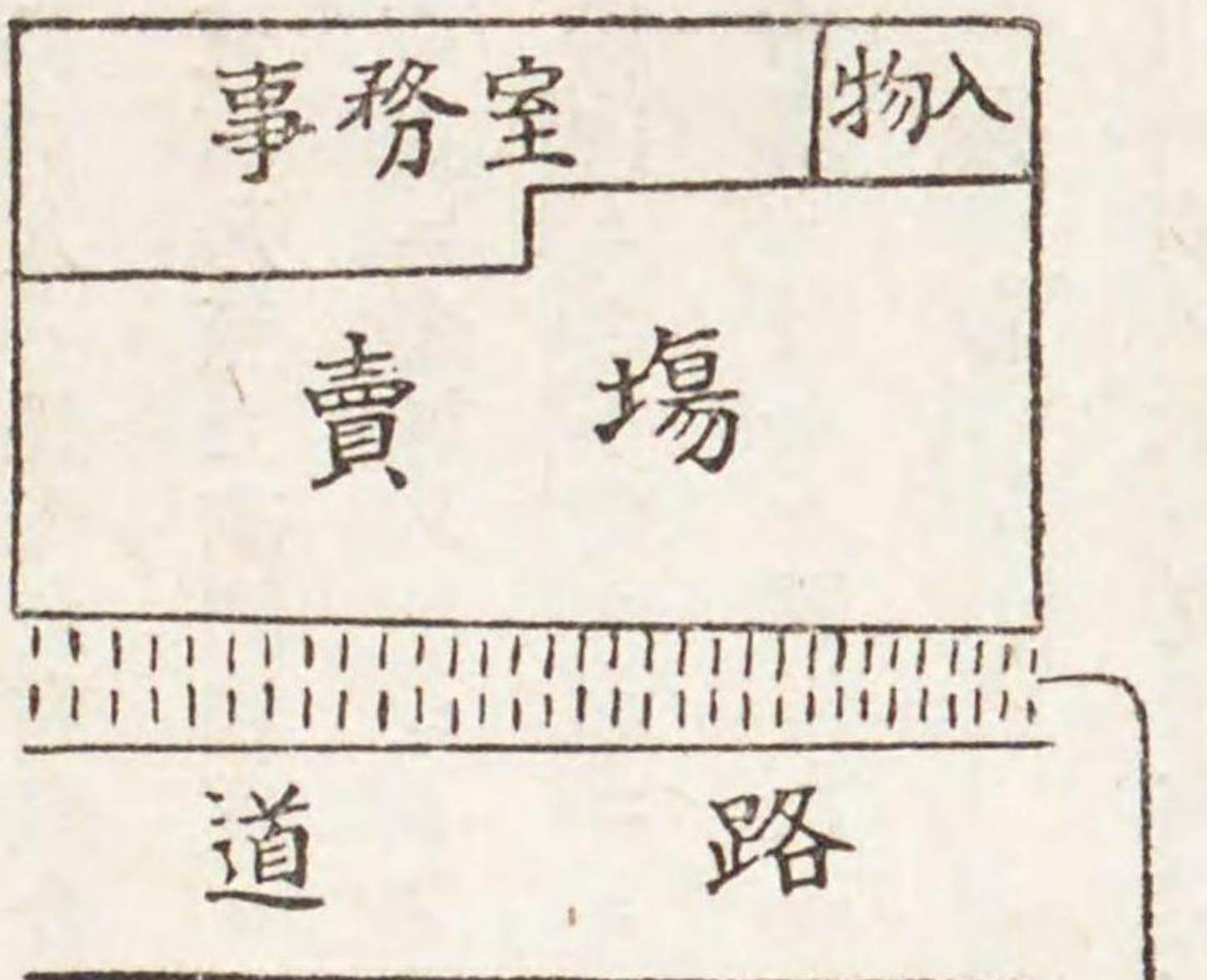
鮮魚、鹽干魚

三、組織

大正二年十二月十八日設立ノ株式會社ニシテ資本金五〇、〇〇〇圓、拂込資本三七、五〇〇圓ナリ總數一千株一株五十圓ニシテ現在株主八十三名アリ大正十二年度株主配當ハ一割二分ナリ

四、規模

市場ノ總面積三十八坪ニシテ賣場ハ二十四坪餘アリ別ニ設備ナシ
市場ノ見取圖左ノ如シ



車置場

賣場ハコンクリート
木造平家屋ナリ

五、問屋、仲買人其ノ他

問屋業ヲ營ムハ會社ナリ

仲買人ハ長野魚商組合員ニシテ本市場ニ從屬セルモノ百三十名餘アリ仲買人ノ買高ハ年ニ五萬乃至六萬圓程度ヨリ二千圓程度ノ範圍ニ亘ル賣子ハ一人宛三人平均ナリ賣子ハ市場ノ賣買ニ參加スルコトヲ得ス仲買人モ其ノ大部分ハ市中ノ自己ノ店舗ニ於テ小賣ヲ兼業ス市場ニ於ケル買出人ハ一日七、八十名乃至百名ナリ

六、出 荷 者

出荷者ノ數ハ九千四、五百名ニシテ出荷地方ノ主ナルハ東京、茨城、新潟方面ナリ

七、賣 買 方 法 並 手 數 料

會社ハ買付ヲスルコトナク全部荷主ヨリノ委託ニ基ク販賣ヲナスモノニシテ賣買方法ハ糶上賣ナリ

賣買手數料ハ會社手數料鮮魚ニ付二割鹽干魚ニ付一割ニシテ仲買人歩戻ハ鮮魚ニ付一割四分鹽干魚ニ付三分トス

八、賣 上 高

本年度(大正十三年度)上半期ハ一九六、八四四圓餘ニシテ其ノ中鮮魚九五、〇〇〇圓見當鹽

干魚一〇一、七五一圓見當トス

大正十二年度ノ賣上高ハ三五〇、〇〇〇圓ニシテ鮮魚鹽干魚ノ割合ハ半々ナリ、此ノ三十五萬圓ノ中七分ノ二四五、〇〇〇圓見當ハ市内消費トナリ三分ノ一〇五、〇〇〇圓ハ在方送荷トナル

九、代 金 決 濟

會社對荷主ノ代金決濟ハ賣買即日仕切決濟ヲナスヲ原則トスレトモ嚴格ニ行ハル、ニアラス請求次第、月纏メ、半年一回ノ如キ荷主ニ依リテ一定セス送金ハ銀行爲替ヲ用フ會社對仲買人ノ代金決濟ハ毎月十日勘定ナリ決濟ノ實情ニ付テハ「長野魚商株式會社」當該事項ニ付述ヘタルトコロニ同シ

十、開 閉 市 及 休 業 日

取引時間ハ午前八時頃ヨリ二時間位ナリ
休業日トシテハ別ニ定メナケレトモ一月一日、十二月三十一日ニ休業スルヲ例トス

(八) 長 野 協 盛 社

一、名 稱 並 所 在 地

當會社ハ株式會社長野協盛社ト稱シ長野市千歲町ニ所在ス

二、取扱品目

鮮魚、鹽干魚

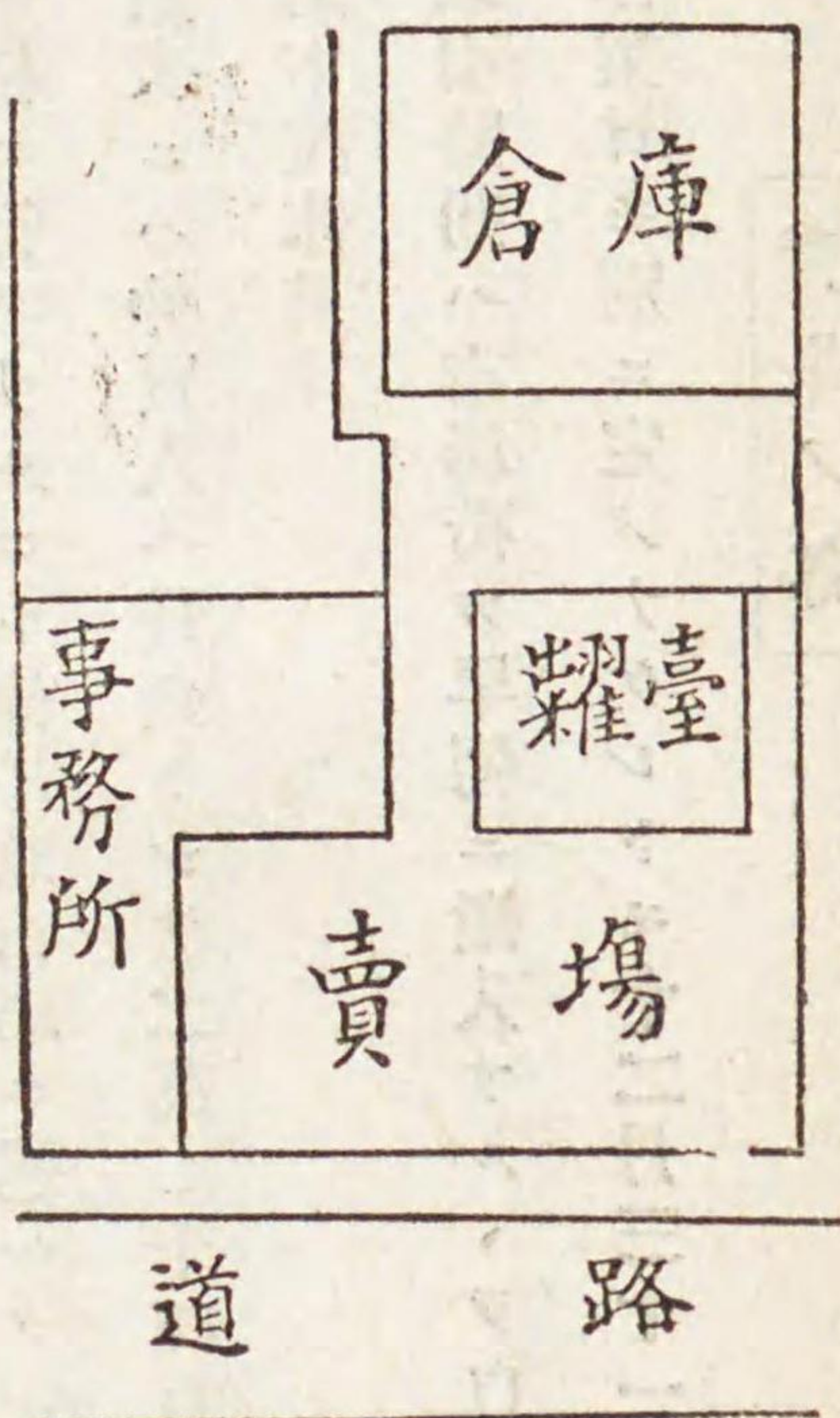
當會社ノ營業目的ハ海産、陸産物ノ委託販賣ヲナシ貨主ノ便宜ニ應シ商品抵當貸ヲナスニアリ

三、組織

明治十九年創立セル信濃協盛社株式會社ヲ本會社ノ前身トス明治三十三年長野協盛社株式會社トナル資本金六萬圓拂込資本金一萬六千八百七十五圓ニシテ總株數一千二百株一株五十圓トス現在株主ハ九十二名アリ舊株三百株新株九百株トス株主ハ殆ント仲買人ナリ
大正十三年度上半期(三月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル)ノ株主配當ハ舊一株ニ付十六圓六十七錢新一株ニ付六圓二十五錢トシ年六割六分六強ノ割合トナル下半年期純益金ハ五千八百九十七圓三十六錢ナリ收入トシテノ營業手數料ハ一萬七百一十一圓二十八錢トス

四、規模

賣場二十四坪倉庫十八坪木造二階家屋ニシテ二階ハ住宅ニ充テラル
見取圖左ノ如シ



五、問屋、仲買人其ノ他

問屋業ヲ營ムハ會社ナリ
仲買人ハ百五十名餘ニシテ長野魚商組合員ナリ賣子ヲ二人平均有ス賣子ハ市場賣買ニ參加スルコトヲ得ス仲買人ハ市中ノ自己ノ店舗ニ於テ小賣業ヲ營ミ其ノ數全體ニ比シテ大部分ヲ占ム
荷主ハ千人以上トス北陸、石川、富山方面ヲ最トシ次イテ東京、北海道方面トス東京方面ヨリハ鮮魚ノ入荷ニ限リ北海道方面ヨリハ殆ント鹽干魚ヲ主トシ殊ニ小樽ヨリハ蒲鉾ヲ入荷ス蒲鉾ハ以前ハ静岡ヨリ入荷サレタリ
市場ニ於ケル買出入ハ一日約百三十名トス

六、賣買方法、賣上高並手数料

會社ハ買付ヲナス全部荷主ヨリノ委託ニ基ク販賣ヲナスモノニシテ賣買方法ハ糶上賣ト
ス
手数料ハ會社手数料鮮魚ニ付二割仲買人歩戻一割五分トシ鹽干魚ニ付一割仲買人歩戻三分
トス

賣上高ハ大正十二年約五〇〇、〇〇〇圓トシ鮮魚鹽干魚ノ割合ハ半々ナリ

七、代金決済

會社對荷主ノ代金決済ハ他ノ魚市場ニ於ケルト同様一定シ居ラス請求次第、月纏メ、半年
一回ノ如キ區々トス送金ハ銀行爲替トス會社對仲買人ノ代金決済ハ毎月十日勘定ナレトモ
嚴格ニ行ハサルコト他ノ魚市場ニ述ヘタルトコロニ同シ大正十三年上半期ニ於ケル貸借對
照表ニハ仲買人へ貸金トシテ二萬二千四百圓餘仕切金未濟トシテ二千百餘圓ヲ算ス

八、開閉市並休業日

取引時間ハ市場荷カ早朝ニ搬入サル、ヲ以テ午前八時頃ヨリ二時間位ナリ
休業日モ別ニ定メナケレトモ十二月三十一日、一月一日休業スルヲ例トス

青果ノ部

(三) 長野青果市場

一、名稱及位置

當會社ハ株式會社長野青果市場ト稱シ長野市千歲町乙四番地ニ所在ス

二、取扱品目

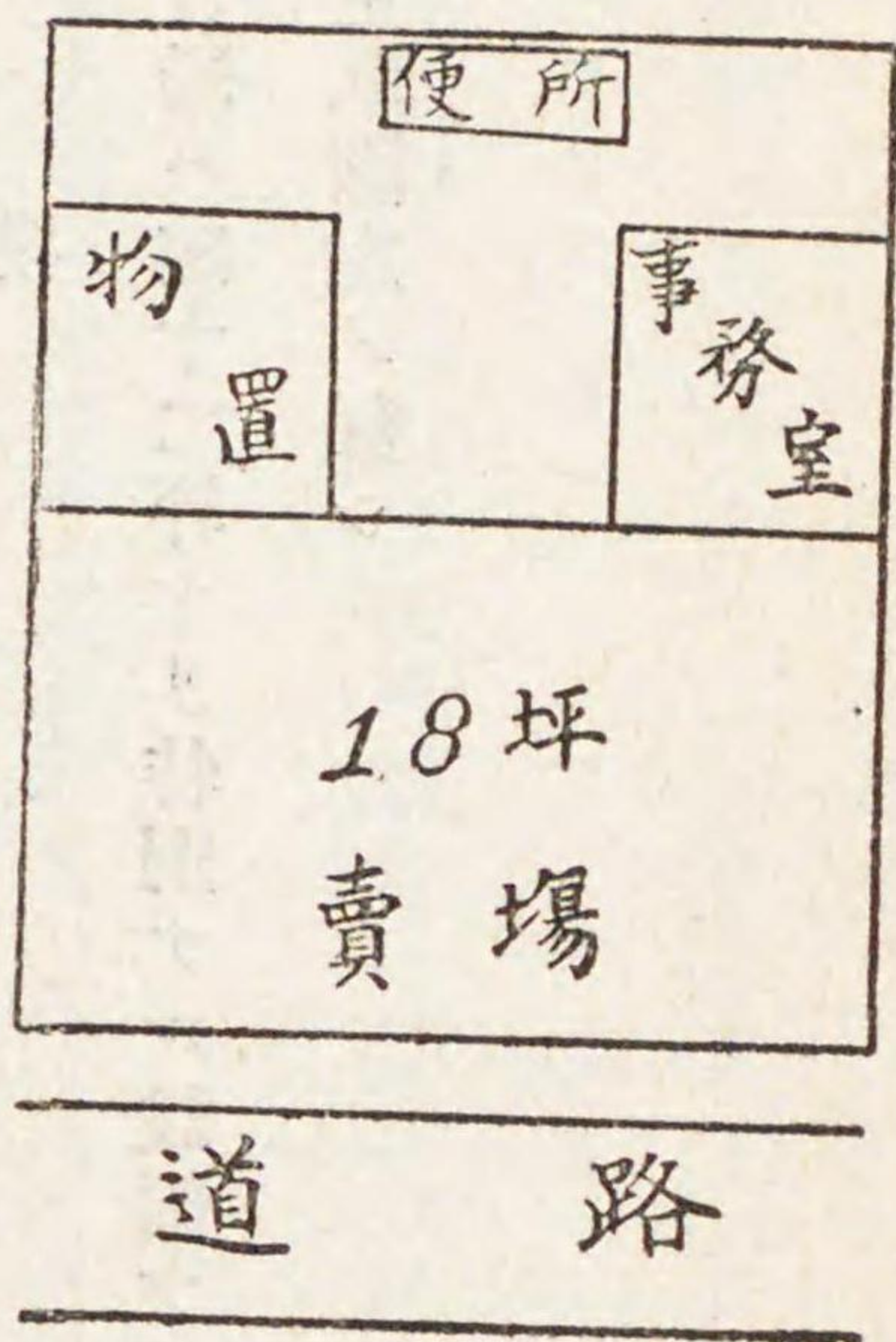
會社ノ營業目的ハ果實、蔬菜並海陸物產賣買及委託販賣ヲナスノ外貨主ノ便宜ニ應シ商品
抵當貸ヲモナスニアリ然レ共實際ハ蔬菜及果實ノ取引ニアリ

三、組織

株式會社組織ニシテ資本金三萬圓拂込資本一萬五千圓ナリ總株數六百株一株五十圓ノ記名
式トス

四、規模

賣場ハ四十二坪ナリ特別ナル設備ナシ木造二階家屋ニシア二階ハ住宅ニ充テラル
見取圖左ノ如シ



五、問屋、仲買人其ノ他

問屋業務ハ會社之ヲ營ム

仲買人ハ百三十名計リアリ青果ニ付テハ魚類ノ場合ノ如キ仲買人組合ナシ仲買人ノ買受高ハ三千圓見當ヲ普通トシ七、八千圓ノ買受ヲナス者數人アリ、仲買人ハ市中ニアル自己ノ店舖ニ於テ小賣ヲ營ム

買出人ハ一日約百二十名ナリ

六、出荷者

荷主ハ約六百名アリ出荷地ハ縣内トシテハ上高井、下高井、上水内、下水内各郡ニシテ縣外トシテハ静岡縣、愛知縣、埼玉縣ヲ最タルモノトス柑橘類ハ和歌山縣、静岡縣、千葉縣

群馬縣ヨリ主トシテ來ル

七、賣買方法、賣上高並手數料

會社ハ買付ヲナス全部荷主ヨリノ委託ニ基ク販賣ヲナスモノニシテ賣買方法ハ糶上賣ニシテ賣上高ハ約三七〇、〇〇〇圓(大正十二年度)トス
手數料ハ蔬菜、果實通シテ會社手數料一割仲買歩戻三分トス然レトモ手數料ハ荷ノ種類ニ依リ例外アリ此ノ例外物ニ付キテハ歩戻ヲナス此ノ例外物ハ前記取引高中三、四萬圓見當ヲ占ム

八、代金決済

會社對荷主ノ代金決済ハ賣買當日仕切決済ヲ原則トスルモ規則通り行ハル、ニアラス當日決済ヲナスアリ、請求次第、月纏メノ如キ荷主ニ依リテ一定セス
會社對仲買人ノ代金決済ハ月三回ノ決済トス不拂者ニ對シテハ賣止ヲナシ又ハ現金賣トナス

九、開閉市及休業日

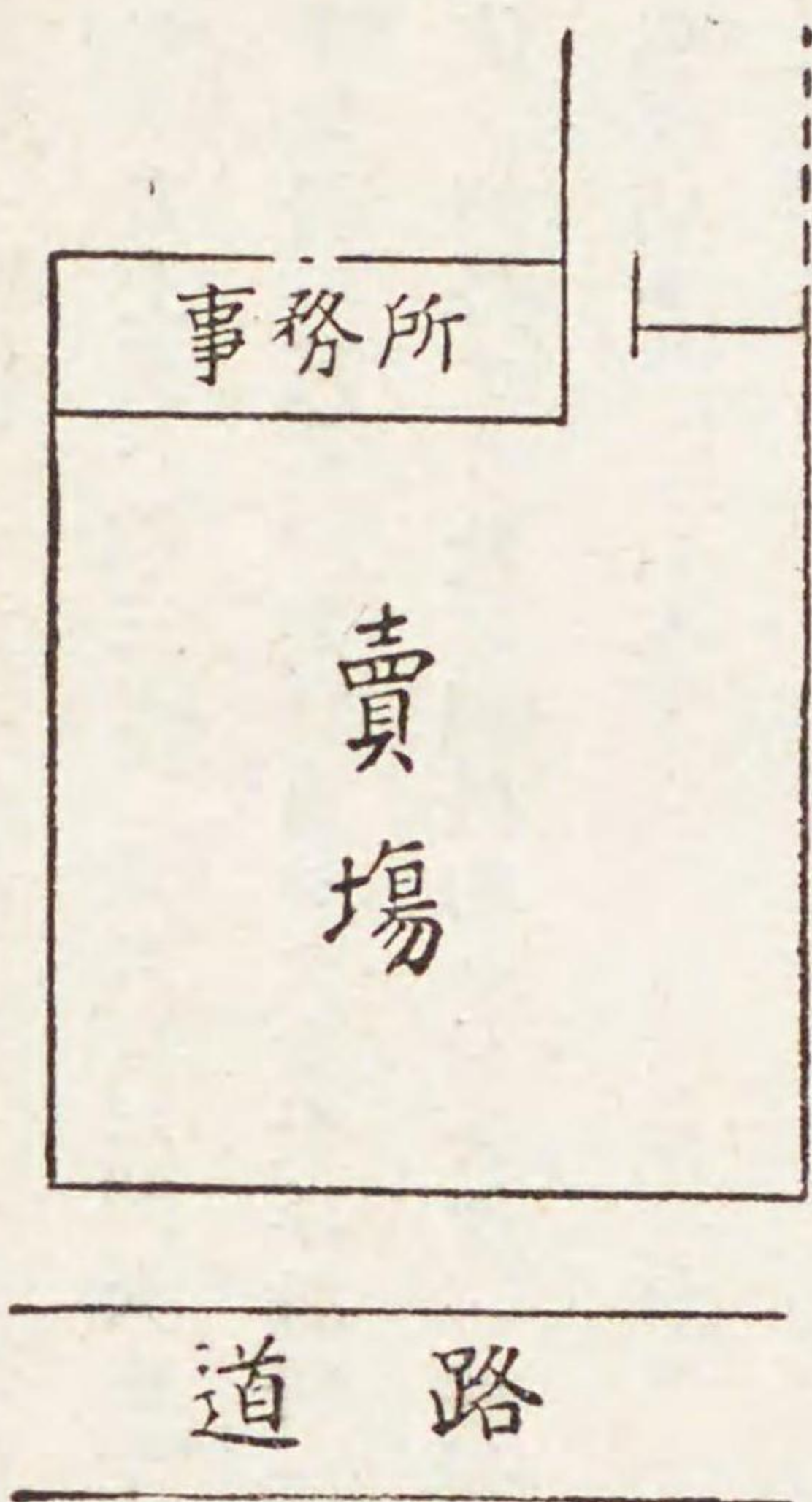
取引時間ハ午前九時ニ始マリ一時間半乃至出荷多量ナルトキハ午前一杯ナルコト稀ニアリ
休業日ハ別ハ定メナケレトモ十二月三十一日、一月一日、二日ハ休業スルヲ例トス

(ホ) 信濃青果市場

本市場ハ前記長野青果市場ト道路ヲ挟ミ相對シ組織ハ株式會社ニシテ資本金一萬五千圓拂込資本金七千五百圓其ノ創立ハ昨大正十二年ニシテ取引高モ五〇、〇〇〇圓程度ニ過キス商賣モ長野青果市場ニ追隨シ其ノ後塵ヲ拜スル有様ニシテ開市モ長野青果市場ノ閉市ニ相次イテ爲ス有様ナリ

規模モ小ニシテ何等設備アルナク木造二階家屋ナリ

見取圖左ノ如シ



賣場ハ泥ノタ、キ

六、新潟市

一、新潟市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

新潟市ト消費經濟上一體ヲ爲ス隣接町村ハ大體新潟市都市計畫豫定區域ニ屬スル左ノ八ヶ村ニシテ其ノ人口總計一〇、五三九人其ノ面積六、八七六、九三ヘクタールナリ

新潟市	東新潟	西新潟	隣接町村
人口	一六、六三一	七五、四九九	四、九一〇
面積	五三四、五五 ^{ha}	六一三、二二	一、二〇六、六〇
一ヘクタール	三、一一	一一三、一二	四、一〇
大形村			五九四
松ヶ崎濱村之一部			一六八、五九
石山村			一、九七六、八六
鳥屋野村			一、〇六七、一一
曾野木村之一部			二〇〇、〇〇
			三八八
			九三

(イ) 蔬菜及果實

黑崎村之一部
坂井輪村之一部
内野村之一部

總計

備考 面積、利用面積、一ヘクタールハ參千貳拾五坪トス(大正十二年調査)

一一〇、五三九 六、八七六、九三

九四
四六〇 一四〇、〇〇〇
二、二五〇 一七二〇、〇〇〇
一二五 二六〇、〇〇〇
〇、四八

取扱高

果實 一、〇八八、九一五圓

消費高 三〇〇、〇〇〇圓
移出高 七八八、九一五圓

蔬菜 一、二四六、五三八圓

消費高 一、一六四、二四〇圓
移出高 八二、二九八圓

入荷高

果實 一、〇八八、九一五圓

鐵道便 四九九、四九〇圓(廣島、明石、青森、黑石、由比、博多、尾道、神戸)
水運 三、五二五圓(大阪)
其他 五八五、九〇〇圓(龜田、早濑、月澤、兩川、大浦原、小倉、大江、山、濁川、新飯田、曾野木、石山等、郡部)

蔬菜 一、一五四、〇五〇圓

鐵道便 二七〇、六五〇圓(大阪府下、北海道、小樽、函館、名古屋、東京、埼玉)
其他 八八三、四〇〇圓(坂井輪、濁川、大江山、横越、大形、角田、赤塚、京、瀨、内野、兩川、南濱、岡方、田上)

仕向地

出荷

果實 七八八、九一五圓

鐵道便 五二八、七八四圓(盛岡、朝鮮、東京、京都及縣下)
水運 二六〇、一三一圓(小樽、函館、室蘭、釧路、真岡、大泊)
其他

蔬菜

新潟市生産高

八二、二九八圓(鐵道便) 八二、二九八圓(福島、埼玉及縣下)
蔬菜 九二、四八八圓(甘藷、大根、蓮根、茄子其他)

(ロ) 漁類

入荷高

鮮魚 七、〇九六、一七五圓

鐵道便 二、二三九、六五〇圓(朝鮮、七尾、伏木、青森ヨリ)
水運 一、五〇八、〇七五圓(函館、佐渡、小樽、浦鹽ヨリ)
地廻物 三、三四八、四五〇圓(發動機船等ニヨル)
鐵道便 五六九、七五〇圓(青森、東京、横濱ヨリ)

鹽干魚 三、六九八、五六一圓

水運 二、〇二四、七八九圓(小樽、函館、樺太、佐渡、露領沿海州ヨリ)
其他 一、一〇四、〇七二圓(縣下ヨリ)

出荷高

鮮魚 五、一二八、一六七圓

鐵道便 五、一一八、三九〇圓(京都、仙臺、長野、東京其他ヘ)
水運 九、七七七圓(佐渡ヘ)

鹽干魚 二、七五八、一八八圓 鐵道 二、七二七、九七二圓(縣下及長野、京都其他へ)
水運 三〇、二一六圓(佐渡へ)

差引消費高 鮮魚 一、八六八、〇〇八圓
鹽干魚 九四〇、三七三圓

(ハ) 肉及卵

新潟市ニ於ケル獸肉取扱高ハ牛四百五十頭、豚一千百頭、鶏七千羽ニシテ其ノ價格一八八、五〇〇圓ナリ其ノ中豚一千五百圓ヲ鐵道ニ依リ縣下ニ移出スルヲ以テ市ノ消費ハ一八七、〇〇〇圓ニ達ス

鶏卵ノ取扱數量ハ一三七、二〇〇圓ニシテ新潟市ノ消費高一三三、七〇〇圓其他三、五〇〇圓ハ縣下ニ再ヒ移出ス新潟市ノ卵ノ生産ハ四八、二〇〇圓ニシテ八九、〇〇〇圓ハ縣内ヨリ供給ヲ受ク其ノ鐵道ニヨリ入荷スルモ五一、〇〇〇圓ニシテ其他荷車小舟其他ノ方法ニヨリ供給サル、モノ三八、〇〇〇圓ヲ主トシ西、中、北ノ三蒲原郡ヲ供給地トス十一月ヨリ翌年三月迄ノ間ニ於テ支那卵ノ供給モ亦多少有リ

新潟市ノ消費

魚類、青果、卵肉ノ消費額ハ年額四百五十四萬五千圓ニシテ一人當ノ消費額ハ四十九圓四十錢

ニ當ル其ノ内譯

	消費額	一人當消費額
總額	四、五四五 <small>千円</small>	四九、四〇 <small>(國勢調査ニ依ル人口九萬二千人トシテ算出ス)</small>
鮮魚	一、八六八	二〇、三〇
鹽干魚	九四〇	一〇、二一
蔬菜	一、一六四	一二、六五
果實	三〇〇	三、二六
肉	一八八	二、〇四
卵	一三三	一、四四

備考 (右諸數字ハ大正十二年ノ新潟縣調査材料ヲ基礎トシテ算出セリ)

三、新潟市ニ於ケル市場

(A) 魚類

新潟市ニ於テ消費スル鮮魚ハ鮮魚問屋及委託問屋ノ取扱ヲ主トシ其他市内問屋仲買人ニ依リテ取扱ハレ魚市場ナルモノ無キヲ以テ主ナル問屋ノ狀況ヲ記ス

(イ) 新潟鮮魚問屋

一、名稱及位置

株式會社新潟鮮魚問屋

位置 新潟市本町通十一番地

二、取扱品目

鮮魚類及魚介製造品

三、組 織

株式會社（明治三十七年創立）

資本金 五萬圓（全額拂込済）

總株數 壹千株（一株五十圓）

總株主數 百三十四名（十三年一月三日現在）

取締役社長 片桐 寅吉

取締役 七名（社長ヲ含ム） 監査役 三名

株主配當金

大正十二年上半期 一株ニ付貳圓

大正十二年下半期 一株ニ付參圓

四、面積及建物

店舗事務室 百五十七坪貳合五勺

内 糶場 七十五坪

其他 倉庫十八坪

貸家 十坪五合

五、出 荷 者

本問屋ニ出荷スル荷主ハ近海漁業者ノ外朝鮮、七尾、伏木、青森、北海道、浦鹽ニ亘ル其ノ中毎日市場ニ來ル者ハ主トシテ近海漁業者ニシテ百二十名内外ナリ

六、問屋及賣買方法

會社ハ荷主ヨリ委託ヲ受ケ又ハ買付シタル魚類及其ノ製品ノ販賣ヲ爲ス

賣買方法

魚類ノ販賣ハ競賣法ニ據リ買人ハ口頭ヲ以テ糶リ最高價格ノ者ヲ買取人トス若シ同値ノ者數人アル時ハ抽籤ヲ以テ買取人ヲ定メ又ハ買取人合意ノ上分配ス糶賣ニ依リ販賣シ得サル魚類ノ販賣ハ次ノ方法ニ依ル

一、甲乙不同ナキ魚類ハ販賣係ト鮮魚商ト協議ノ上時ノ景況ニ依リ平均價格ヲ定メ其ノ買

取人ニハ申込ノ順序ニ依リ物品ヲ引渡ス

二、糶賣ニ依ルヲ得サル魚類ニシテ鮮魚ニ於テ不得止必要ニ依リ價格決定前ニ物品ヲ引取

リタルトキハ荷主ト販賣係トノ承諾ヲ得セシム

三、買人多數ニシテ物品寡少ナル場合ハ買受希望者一同抽籤ヲ爲シテ分配セシム

四、競賣スヘキ魚類ニシテ時間外ニ鮮魚商ニ於テ不得止必要ニ依リ少數ノ物品ヲ買入レン

トスルトキハ荷主ト販賣係トノ承諾ヲ得ルヲ要シ此ノ場合ニハ買入ル、品ト同價格ト認ムル品ヲ定メテ殘シ置キ其價格ニ據ラシム

五、「子ヅリ」「キス」等ノ類ニシテ買人ニ於テ最大物ノ價格ヲ糶リ以下順次價格ヲ附セシ

メ壹人ニ買取ル慣例アル魚類ハ之ニ從ヒ荷主壹人分ノ總額ヲ賣渡スコトアリ

問屋ノ賣買ニ參加シ得ル者ハ新潟鮮魚商組合員ノミニシテ其ノ他ノ者ニ對シテハ一切賣渡シヲ爲サス

魚類ノ賣買ハ持込次第隨時販賣スルモ日没後ニ搬入シタルモノハ翌朝第一着ニ販賣ス但シ販賣時間中ト雖モ買人少數ニテ後レ賣ルヲ荷主ノ利益ト認ムルトキハ相當ノ時期ヲ俟テ販賣ヲナスコトアリ

荷主ヨリ送荷ノ際指値アルトキ其ノ時價カ指値ニ達セサルトキハ通常價格ノ照會ヲ爲スモ荷主ノ便宜ト認ムルトキハ時價ヲ以テ賣却シタル後事實ヲ報告ス

賣買價格ノ稱呼ハ慣例ニ依リ銀目及ヒ舊錢ノ稱呼ヲ以テシ其ノ換算ハ

一、目物 壹貫目 金十圓ニ當ル

一、錢物 百貫文 金十圓ニ當ル

賣買ノ際目物及ヒ錢物ト稱スルハ左ノ區別ニ依ル

目物 一、鹹水産ノ魚類(地曳網、雜魚網、四手網、建網、刺網ヲ除ク)

二、地曳網ノ高網鯛、小鯛、金頭ノ類(市内漁業者ノ獲タルモノヲ除ク)

三、刺網ノ鰈「ネヅリ」及鮑、蒸鮑、蒲鉾トス

錢物 一、淡水産ノ魚類悉皆

二、鹹水産ノ内、地曳網、雜魚網、四手網、建網、刺網ノ魚(鰈及ネヅリヲ除ク)

三、赤髯貝類(鮑ヲ除ク)

四、鹽干魚

七、手 數 料

荷主ニシテ會社ニ魚類ノ販賣ヲ委託セルトキノ普通扱手数料ハ最高一割九分(目物)最低一割二分(錢物)ナリ會社ノ口錢及鮮魚商ノ歩合金ト區別シテ見ルニ

一、本會社ノ口錢トシテ荷主ノ賣掛金高ヨリ徴收スル歩合

(イ)目物 新潟市ノ荷主ヨリ八分 (但シ餌戻リ魚ハ無手数料トス)

同市外荷主ヨリ九分

(ロ)錢物 新潟市ノ荷主ヨリ七分

新潟市外ノ荷主ヨリ八分

右ノ口錢ノ中ニハ鮮魚商へ戻ス二分ヲ包含ス

二、鮮魚商ノ歩合トシテ荷主ノ賣掛金高ヨリ控除シテ鮮魚商へ戻ス歩合

(イ)目物 壹 割

(ロ)錢物 五 分

右ノ外鮮魚商ハ魚代金ヲ約束期間内ニ支拂フトキ本會社口錢中ヨリ貳分(賣掛高ノ内歩合ヲ引去リタルモノニ對スル二分)ヲ利戻リ金トシテ交附サル尙

本會社ハ左ノ物品ニ付テハ特別ノ手數料ヲ以テ取扱フ即

一、鮮魚ヲ取引上ノ場合ニ依リテ特別取扱ナルトキハ正味金ノ内ヨリ手數料五分ヲ徵收ス

但シ一口ノ仕切金多額ナルトキハ幾分ノ割戻シヲ爲スコトアルヘシ

二、鹽干魚ヲ取引上ノ場合ニ依リテ特別取扱ナルトキハ正味金ノ内ヨリ手數料三分五厘ヲ徵收ス

但金高三百圓未滿ハ手數料五分ヲ徵收ス

三、罐詰海草及魚粕、肥料等ノ手數料ハ賣上金三百圓以上ハ三分五厘同金三百圓未滿ハ五分ヲ徵收ス

四、野菜類及鳥類ハ手數料八分ヲ徵收ス

五、市外ノ荷主ヨリ送付ノ生魚類ヲ同業者へ賣却ヲ委託シタルトキハ正味金ノ内ヨリ手數料三分ヲ徵收ス

八、買出人及其ノ組合

本會社ニ來リ買出ヲ爲ス者ハ鮮魚商組合員ニシテ二百二十五名アリ右買出人ハ即チ本會社專屬ノ仲買人ニシテ市内小賣人ノ求メニ應シ會社ヨリ鮮魚ヲ買付シ同値ニテ小賣人ニ讓リ其ノ上仲買人ノ受ケタル歩戻ノ半金ヲ與フル慣習アリ

鮮魚商組合ニ同盟會ナルモノアリ即チ舊來ヨリ同地ニ於テ魚商ヲ營ミタル二百名ニ依リテ組織セラレタルモノニシテ鮮魚商組合ノ正會員トシテ取扱ハレ同盟權ヲ有ス鮮魚商組合員中正會員以外ノ二十五名ハ準同盟會員トシテ待遇サレ年額八圓ノ會費ヲ同盟會ニ納付ス右準會員正會員ニ缺ヲ生シタル(二百名ヲ定員トス)トキハ同盟權ノ賣買ニ依リ正會員トナルコトヲ得同盟權ノ賣買價格ハ普通七、八十圓ニシテ大正十二年中ハ七拾圓大正十三年ハ八拾圓ニ騰貴セリ

會社ハ右ノ買出人ニ魚類ヲ賣渡ス爲準組合員ニ對シテハ必ス魚類ノ賣買高ニ應スル相當ノ金高ヲ身元保證金トシテ納付セシムルモ正組合員ニ對シテハ辨償人ヲ附シタル約定證ヲ徵

九、代金決済

スルカ又ハ現金或ハ不動産、有價證券ヲ擔保トナサシムルコトアリ其ノ額ハ買出人ト會社トノ間ニ於テ適當ニ定メラレ一定セルモノ無シ

本會社ハ荷主ヨリノ委託品ヲ販賣スルトキハ即日仕切書ヲ作製シ仕切金ヲ拂渡シ荷主ノ都合ニヨリ本會社ニ預ケ置クトキハ荷主ヨリノ通知ヲ待テ之ヲ支拂フ
荷主ノ賣掛金高ヨリ控除スヘキモノ左ノ如シ

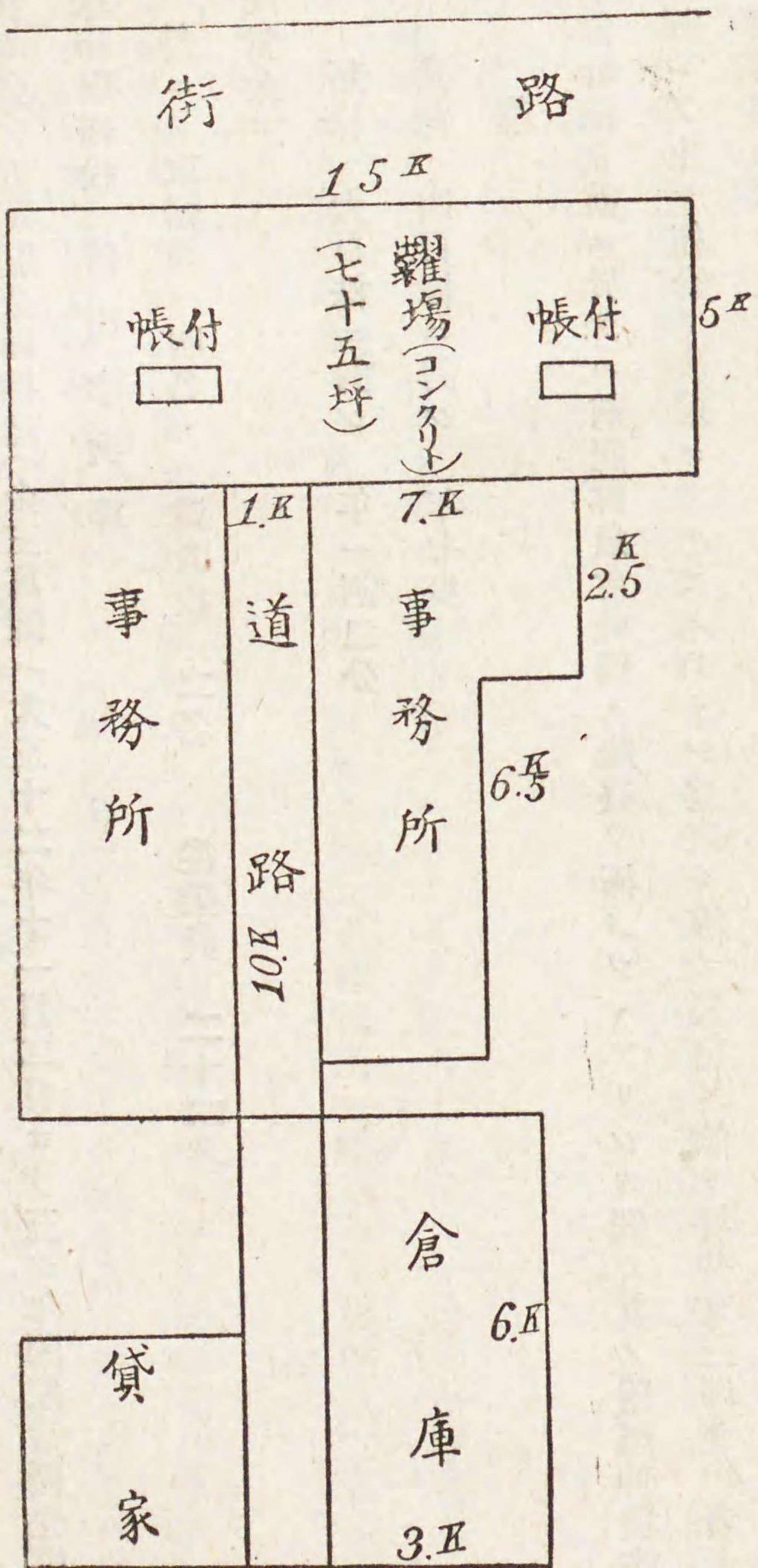
- 一、問屋ノ口錢
- 二、鮮魚商ノ歩合金
- 三、委託ノ荷物ニ係ル運搬費、電信料及荷物保管ニ要スル雪代其ノ他ノ費用、送金ニ要スル費用
- 四、附添人ノ賄費

其ノ他委託物品ヲ充分保管スルト雖モ防キ能ハサル損害ハ荷主ノ負擔トシツ、アリ
鮮魚商ニ賣渡シタル魚代金ハ毎七日勘定ニシテ金曜日ヨリ木曜日迄ノ分ヲ三日以内ニ支拂ハシム

右ノ代金ハ本人及辨償人ヨリ徴收シ支拂期日ヨリ四日以内ニ尙完納セサルトキハ前記ノ利

十、市場略圖

辰ハ之レヲ交附セサルコト、セリ



(口) 新潟委託問屋

一、名稱及位置

㊤株式會社新潟委託問屋

位置 新潟市本町通十一番町 新潟鮮魚問屋ト相隣接ス

二、取扱品目

鮮魚類

三、組織

株式會社

資本金 五萬圓全額拂込(金三萬圓ハ大正十二年十一月二日ヨリ三ケ年間配當優先權利付)
專務取締役 明田幸次郎

外ニ 取締役 四名 監査役 二名 従業員 二十二名
配當金

新株 六百株ニ對シ 年一割二分

舊株 四百株ニ對シ 年七歩

四、沿革

本會社創立前ニ於テハ前記鮮魚會社獨リ隆盛ヲ極メツ、アリシカ偶々其ノ附屬仲買商ニ仲
間割レヲ生シ組合ヲ脱退シタルモノアリシ爲之レ等ノ要望ニ依リ坪井文三郎ナル者大正二
年四月別ニ本會社ヲ創立シテ之等ノ仲買人ヲ收容スルコトトセリサレハ本會社ハ其ノ成
立ノ當初ニ於テハ前記ノ會社ト競争ノ立場ニアリタルモ現在ニ於テハ其ノ賣買方法手數料

等全ク同様ニシテ格別相反目シテ無理ナル競争ヲナスカ如キコトハ無キ模様ナリ

五、問屋及賣買方法

會社ハ鮮魚委託賣買業仲立及代理業ヲ行ヒ其ノ賣買方法及代金決済ノ方法ハ總テ前記鮮魚
問屋ト同方法ニ依ル

六、買出人及其ノ組合

本會社ヨリ鮮魚ヲ買付クル者ハ專屬仲買人ニシテ其ノ數八十五名アリ此レ等仲買人ハ小賣
商ノ求メニ應シ問屋ヨリ買付ケ分配スルモノニシテ仲買人ニ屬スル小賣商人二百五十名内
外ヲ有ス

本會社創立ノ當時前記鮮魚會社ノ專屬ヲ脱シテ本會社專屬ト爲リタル仲買人三十名アリ之
等ハ別ニ大正鮮魚商組合ナルモノヲ組織シ當時ハ右三十名ノ正組合員ノ外ニ若干名ノ準組
合員ナルモノアリシカ其ノ後正準ノ區別ヲ廢シテ積立金五十圓ノ納付スル者ハ凡テ正組合
員タルコトヲ得ルコトトシタル爲メ現在ニ於テハ組合員八十五名ニ達セリ

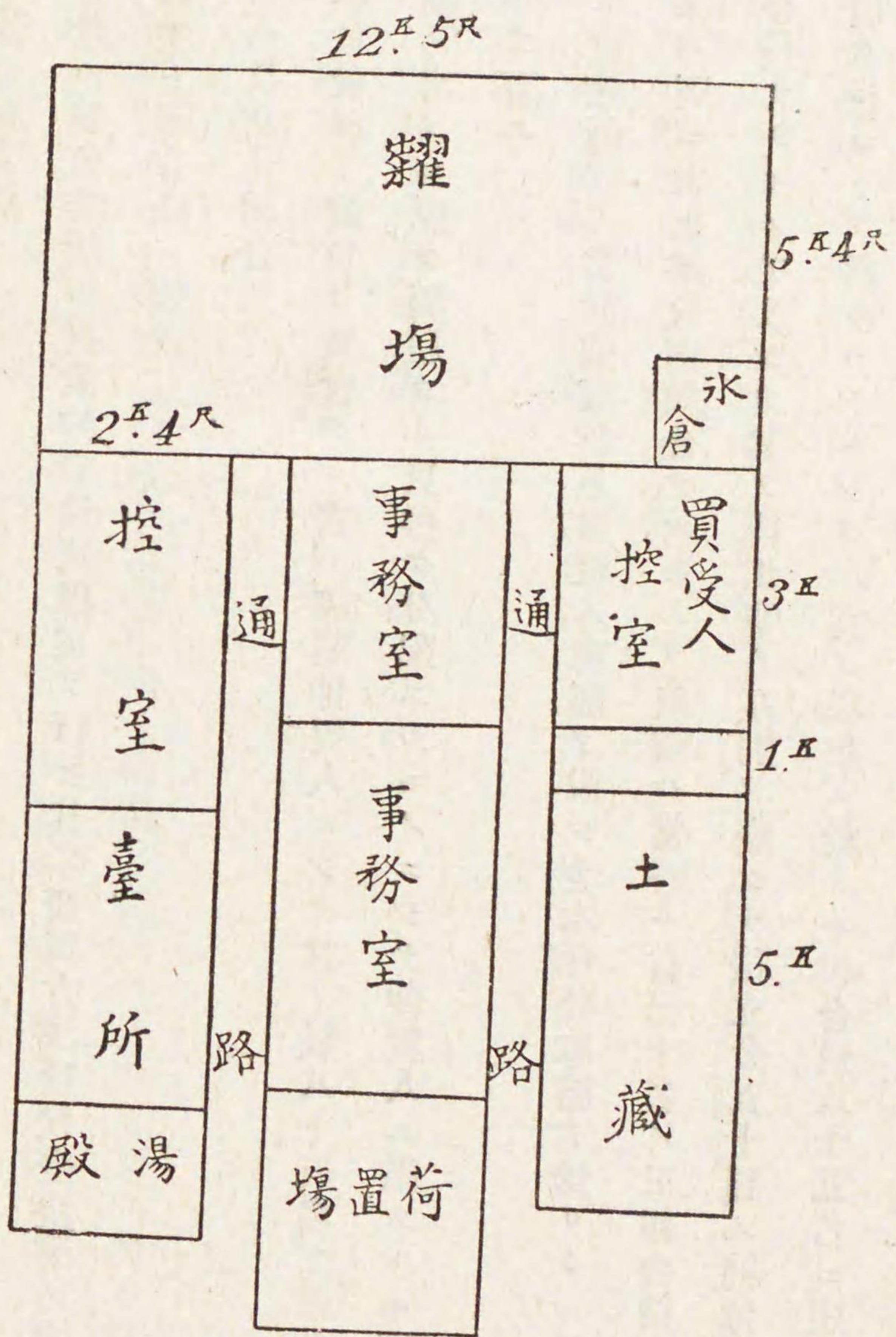
七、取扱高

大正十二年中約五拾萬圓

八、面積

敷地 百五十八坪 糶場 六十三坪五合 買受人控室 十七坪 倉庫 十五坪
 荷置場 七坪半 事務室 十五坪 通路其他約四十坪

九、市場略圖



(八) 青果市場
 一、市場ノ名稱及位置

問屋ノ集合市場ニシテ名稱ナシ
 位置 新潟市東堀前通五番町及ヒ沼垂西片原通

二、取扱品目

蔬菜及果實

三、組織

個人經營問屋ノ集合體

新潟市ノ問屋 十三戸

沼垂町ノ問屋 八戸

四、出荷者

問屋ニ出荷スル者ハ近郊、縣内及縣外ノ生産者並ニ仲買人ナリ果實ハ東北地方、神戸、明石、廣島、博多ヨリ入荷多ク蔬菜ハ大阪、埼玉、東京、名古屋及北海道ヨリ入荷多シ

五、問屋手數料

問屋ハ生産者及仲買人ヨリ委託ヲ受ケ相對取引ニ依リ之ヲ市内小賣商人仲買人ニ販賣ス十五乃至二十坪ノ荷捌所ニ於テ賣買ヲ爲スモ特別ナル設備ヲ爲セルモノ無シ荷主ヨリ收受スル問屋ノ手數料ハ左ノ通り

蔬菜 地廻出荷品 八分ノ手数料

遠地荷 六分

果實 地廻品 六分

遠地ノ荷 八分

蔬菜、果實共ニ歩戻ヲ行ハス

尙果實ハ委託品ノ多少ニ依リ手数料ヲ異ニシ委託物品拾圓以上ニ對シテハ八分ノ手数料、拾圓以下ノモノニ付七分ノ手数料ヲ徴收シツツアリ

六、賣 買 高

果 實 三十萬圓

蔬 菜

七十五萬圓

新潟市ノ問屋 六十萬圓
沼垂町ノ問屋 十五萬圓

取扱高 百〇五萬圓

七、賣 買 方 法

營業ノ開始時刻ハ各戸之ヲ異ニスレトモ早朝ヨリ午前中ニ終ルヲ普通トス
問屋ハ荷主ヨリ物品ノ委託ヲ受ケタルトキハ當日ノ相場ニ依リ仕切書ヲ作製シ手数料其他

ノ立換金ヲ差引キ即日又ハ一回送リニ送金ヲ爲ス問屋ト買受人間ノ賣買ハ相對ニ依リ取引
サレ略符ヲ用フ

買受人ノ代金支拂ハ六十日ヲ一期トシテ精算ヲ爲ス問屋ハ問屋組合ヲ組織スルモ別ニ規程
ナク内規ニ依ル

(三) 持 寄 朝 市 場

舊來ヨリ市ニ隣接セル西、中、北蒲原ノ農産物生産者ハ一定ノ區域ニ各自ノ生産物ヲ持チ
寄リ小賣ヲ爲シ直接消費者ニ供給シツツアリ稱シテ朝市トス

位置 新潟市東堀前通五番町

取扱品目 果實、蔬菜ヲ主トシ花卉、鮮魚、飲食品等ヲ持寄り小賣ヲ爲ス

出場者 朝市ニ來ル者ハ近郊生産者ヲ主トシ地方仲買人及市内小賣人等ニシテ其ノ數日々
三百人内外ニ達ス

開市 開市時刻早朝ヨリ午前十一時迄休業日無ナシ

新潟市ニテ消費セラル、蔬菜ハ主トシテ市ノ周圍三郡西、中、北蒲原郡ノ生産ニ係ルモノ
ニシテ生産者ハ自ラ搬出シテ市内問屋ニ委託スルカ或ハ生産者直接持寄朝市場ニ出場シテ
小賣ヲ爲スカ若シクハ生産者直接市内ニ行商ヲ爲シ以テ市民ニ供給シツ、アリ

新潟市ニ於テ消費セラル、蔬菜ヲ取引別ニ見ルトキハ

一、一六四、二四〇圓 市消費總額

内 譯

七六八、二四〇圓 問屋扱

三六〇、〇〇〇圓 青物商店販賣高(二十戸)

三六、〇〇〇圓 生産者直接販賣額

七、富山市

一、富山市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

富山市

(大正十一年末現在)

本籍人口 七八、一六六人

現住人口 七六、二七〇人

現在戸數 一七、〇四四戸

富山市隣接町村

上新川郡堀川村 七〇八戸 四、六〇四人

同 郡山室村 五〇四戸 二、八八二人

同 郡奥田村 三四八戸 二、〇六二人

婦負郡東吳羽郡 三六七戸 二、三三一人

計 一、九二七戸 一一、八七九人

(大正十一年調査)

二、富山市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況

一、魚類(鮮魚)

富山市生産高 一二九、一九九圓(二六、七七八貫)

入荷數量 一、三五一、四〇〇圓
鐵道 一、二三六、三八一圓(能登、越前、越後、北海道方面、東海道、京阪東北、東京地方、東岩瀬、東西水橋四方ヨリ)
其他 一一五、〇一九圓(神通川附近ヨリ)

出荷數量 四八二、四九九圓
鐵道 三五三、三〇〇圓(飛騨、京阪、高岡、上新川、中新川、婦負郡ヘ)
水運 一二九、一九九圓(縣内郡部ヘ)
其他

差引消費量 九九八、一〇〇圓

二、青果物

生産額 四八六、三二〇貫(九二、八九八圓)(蘿蔔、西瓜、葱、胡瓜ヲ主トス)
果實 一三、六三三貫(一一、〇五七圓)
鐵道 七二三、一三〇貫(名古屋、静岡、金澤、福井ヨリ)
其他 四八六、三二〇貫(郡部ヨリ)

入荷額 三六一、三九三貫
鐵道 三四七、七六〇貫(愛知、静岡、新潟、福井ヘ)
其他 一三、六三三貫(縣内ヨリ)

出荷額 一一七、六一〇貫
鐵道 四一、六四四貫(飛騨、京阪ヘ)
其他 七五、九六六貫(縣内ヘ)

消費額 一、〇九一、八四〇貫(二〇七、四四九圓)
蔬菜 二五〇、八〇〇貫(二九五、九四四圓)
果實 九一、六五五貫(縣内ヘ)
其他

三、卵

生産額 二〇、六七三貫(約八〇、〇〇〇圓)
肉 二六、八六一個

入荷額 二、七〇〇貫(鐵道) 二、七〇〇貫(神戸、大阪ヨリ)
卵 三三七、九一九個 鐵道 四一、七八〇個(名古屋ヨリ)
其他 二九六、一三九個(縣内)

出荷額(卵) 一三、九〇〇個 鐵道 一三、九〇〇個(縣内)
其他

消費額 肉 一三三、三七八貫(八六、二三三圓)
 卵 三四〇、八八〇個(一一、九三〇圓)

富山市ノ消費

富山市ニ於ケル魚類青果物肉卵ノ消費高ハ大正十二年中百五十九萬七千圓ニシテ國勢調査ニ依ル
 人口六萬一千人トスルトキ一人當年額消費高二十六圓十八錢ナリ

内 譯	消費額	一人當消費額
鮮魚	一、〇〇〇	一六、三六
蔬菜	二〇七	三、三九
果實	二九五	四、八三
獸肉	八六	一、四〇
卵	一一	一八

(以上ノ數字ハ市及縣ノ調査材料ヨリ算出ス)

三、富山市ニ於ケル市場

(イ) 富山魚市場

一、市場ノ名稱及位置

名稱 富山魚市株式會社
 位置 富山市八人町五十一番地

二、取扱品目

鮮魚介類

三、組 織

株式會社

資本金 拾五萬圓 舊株 三百株(壹萬五千圓)
 新株 二千七百株(十三萬五千圓)
 拂込金 四萬八千七百五十圓 舊株拂込金 一萬五千圓
 新株拂込金 三萬三千七百五十圓
 總株數 三千株 一株金額 五十圓
 大正十二年上半期 四割
 配當 同 下半年 二割 株主普通配當
 二割 株主特別配當

代表者 社長 瀧 本 虎 松 取締役 社長外六名 監査役 四名
敷地及建物

市場敷地 三百五十四坪壹合九勺

建物坪數 百七十八坪

木造瓦葺平屋建 一棟 競賣人溜所 一棟 小賣商人溜所 一棟

物置場 一棟 倉庫 一棟

五、出荷者

市場ニ出荷スル荷主ハ縣内ハ氷見、新湊、四方、岩瀬、水橋、滑川、魚津、生地、泊等ノ
地方ノ者ヲ主トシ縣外ハ能登、越後、北海道、東海道、京阪、東北、東京方面ノ者ヲ主ト
ス荷主ノ總數約六百五十名ナリ

荷主ニシテ毎日市場ニ來ル者約三十名内外ニシテ自轉車荷車ニテ來ル外汽車ニ依リ市場ニ
荷ヲ搬入ス荷主ニシテ來場スルモノハ縣内近海ノモノニシテ遠地ノ荷主ハ全ク汽車便ニテ
送荷ス

六、問 屋

會社ハ荷主ノ委託ヲ受ケ鮮魚介類ノ賣買取引ヲ爲ス外荷主ノ委託ニ依リ小鳥類、青物ノ賣

買取引ヲ爲スコトアレトモ極メテ稀ナリ販賣ノ方法ハ競賣ノ方法ニ依リ庭役賣役及帳方カ
此ノ事務ヲ分擔ス

七、仲 買 人

市場ニ出入スル仲買人百七十名アリ

仲買人ハ市場ノ競賣ニ參加シ市場ヨリ荷ヲ買受ケ之ヲ小賣人ニ分配スル外自己ノ名義ヲ貸
與シテ小賣人ヲシテ直接買取ラシム市場ハ仲買人ニ對シテノミ歩戻ヲ爲シ小賣人ニ歩戻セ
ス

仲買人トナラントスル者ハ保證金貳百圓(舊來ハ五百圓也)ヲ納付スルカ又ハ會社ノ株主及
會社ノ承認ヲ經タル魚商人ニシテ保證人二名ヲ立テタル者ナルコトヲ要ス

八、買 出 人

本市場ノ買出人ハ右ノ仲買人ノ外小賣人百二、三十名アリ小賣人ハ仲買人ノ名義ヲ借り市
場ヨリ買受ケ其ノ代金ヲ仲買人ニ支拂フ仲買人ト小賣商人トノ間ニハ何等ノ契約ナク單ニ
信用ヲ以テシ仲買人ハ市場ヨリ歩戻ヲ受クルノミナリ

日々來場スル買出人ハ二百名乃至二百五十名ニシテ車、自轉車、籠等ニテ搬出ス
仲買人ノ一人當リ取扱高ハ最高十一萬圓ヨリ最低一千二百圓(年額)ナリ

九、附屬商

市場内小賣人溜場内ニ於テ飲食店ヲ開業スル者二名アリ
 其他生産者ノ希望ニヨリ極少量ノ鮮魚介(主トシテ川魚)類ヲ直接小賣人ニ販賣セシム販賣
 ノ許可ヲ受ケタル者ハ車置場ノ一部ヲ使用シ使用料金、荷車積ノ者ハ一日二十錢擔キ荷ニ
 對シテハ一日十錢ヲ徵收ス

十、手數料其他

會社ノ荷主ヨリ收受スル手數料

鹽干魚類 五分

鮪、鯨、鰯、鱈、大刀魚 八分

其ノ他ノ鮮魚介類 九分

ニシテ中鹽干魚ハ二分、鮮魚類ハ四分ヲ仲買人ニ對シテ歩戻ヲ爲ス

其ノ他使用料、保管料等徵收スルコト無ク只生産者ノ希望ニ依リ市場内ニ於テ直接小賣人
 ニ販賣スルトキハ使用料トシテ車積ニ對シテハ一人一日二十錢擔キ荷ニ對シテハ一人一日
 十錢ヲ徵收ス

十一、賣上高

大正十年賣上價格

七六六、六七三圓

大正十一年同

八九四、二三三圓

大正十二年同

一、〇一一、三八一圓

月別賣上高

大正十一年

大正十二年

月	數量	金高	金高
一月	二八三 <small>百貫</small>	八二、〇六四 <small>円</small>	九七、三一九 <small>円</small>
二月	二一一	五八、四〇九	七一、四四〇
三月	三一四	六八、三七五	六七、〇〇三
四月	三二二	七七、九五五	九九、一三八
五月	三三八	八〇、二〇三	九六、二七九
六月	三四七	八五、八七二	九四、三九二
七月	一八二	五一、五六五	七一、五四一
八月	一九八	五四、二六九	五二、六二〇
九月	二三五	六三、五二四	七一、一〇九

十月	二九六	八二、八二九	八一、四七九
十一月	三四三	九〇、七四〇	九五、五七四
十二月	三六六	九八、四二四	一一三、一九五
計	三、四三五	八九四、二三四	一、〇一一、三八一

大正十二年中ニ於ケル入荷及出荷ノ地方別ヲ見ルニ次ノ如シ

富山市ヘノ仕出地

氷見	一五五、〇〇〇 ^円	新湊	四〇、〇〇〇 ^円
岩瀬	五、〇〇〇	四方	五、〇〇〇
魚津	八〇、〇〇〇	水橋	一〇、〇〇〇
滑川	一〇、〇〇〇	生地	三〇、〇〇〇
泊	一〇、〇〇〇	縣外	六四一、三八一
富山市ヨリ仕向先			
上新川	一一二、〇〇〇 ^円	中新川	二四、三〇〇 ^円
婦負	一一七、〇〇〇	高岡	二、〇〇〇
縣外	九八、〇〇〇	富山市	六四八、〇八一

十二、市場ノ開閉時刻及休業

自三月二十一日至十月十日 午前五時開市 午前七時三十分閉市
 自十月十一日至翌年三月廿日 午前六時開市 午前八時三十分閉市
 休業日 毎年一月二日

十三、賣買方法

市場ニ於ケル賣買ハ賣役庭役及帳方之ヲ擔當シテ競賣人即仲買人ニ對シテ糶賣ヲ爲ス賣買ノ稱呼ハ金額ヲ以テシ賣役ハ最高競賣人ノ氏名及最高價格ヲ呼上ケ其者ヲ競落人ト定ム同價格ヲ呼ヒタルモノ二名以上アルトキハ先呼者ヲ競落人トシ同時ニ同價格ヲ呼ヒタルモノ二名以上アルトキハ賣役ヲ意見ヲ以テ競落人ヲ定メ何人モ異議ヲ申立テラレス庭役ハ現品ヲ検査シテ荷主ヨリ受取り及ヒ現品ヲ競賣人ニ引渡ス者ニシテ腐敗其他衛生上有害品ト認ムルトキハ適當ノ處置ヲ爲ス權限ヲ有ス
 賣役ハ競賣ヲ擔任シ賣場ヲ整理スル上ニ必要ナル處置ヲ爲ス權限アリ
 帳方ハ競賣ノ現場ニ有リテ競落品及競落價格等ヲ水帳ニ記入スル外代金授受ヲ擔任シツ、アリ
 水帳ノ記帳ハ公開シ得ル便宜アレトモ閉場迄ニ異議ノ申出ナカリシトキハ水帳ヲ確定シ諸

帳簿ノ基礎トス荷主ヨリ當市場ニ宛テ、當市場ノ賣買取引ニ屬スル食品ヲ送付シ來ルトキハ賣買ヲ當市場ニ委託シタルモノトシテ庭役ノ檢査ヲ經テ競賣ニ付シツ、アリ

糶場

當市場ノ糶場ノ設備ハ一種特別ノモノナリ糶場ニ使用スル場所ハ約五十坪ニシテ場ノ正面ニ恰モ劇場ノ觀覽席ノ如ク後方ヲ高クシタル階段數段ヲ設ケテ競買人ノ位置ヲ定メ階段ノ前方ニ約一坪内外ノ糶臺(現在三臺)ヲ設置シ糶臺一個ニ付糶人一、帳付二名及庭役二三名ヲ屬セシメテ賣買ノ執行ヲ爲サシム故ニ競買人ハ三ヶノ糶臺ヲ中何レニテモ自己ノ欲スルモノヲ目指シテ呼掛クルコトヲ得ヘク而シテ競落シタルトキハ帳付ニヨリ直ニ記帳セラル、ト同時ニ荷ハ庭役ノ助手(子供)ニヨリ競落人ノ荷物置場ニ移サル、ヲ以テ他所ニ見ルカ如キ混雜ナクシテ迅速ニ荷ヲ捌キ得ルノ便アリ

帳簿ノ公開

帳役ノ記入スル水帳ハ五枚綴ノ用紙ヲ用ヒ其用紙記入済ノ上ハ一部ハ仲買人ニ對シ他ノ一部ハ荷主ニ對シ公開シ自己ノ荷ノ何程ニ賣買サレシカ又ハ何程ノ荷ヲ買入レタルカ其ノ他必要事項ヲ荷主及仲買人ニ知ラシメツ、アリ之レカ爲荷主ハ汽車ノ時間ニ依リ歸宅ヲ急キ仲買人ハ地方販賣ニ出發スル前ニ於テ各々得心スルヲ得テ頗ル便益ナリ

十四、代金決済法

荷主ニ對スル代金支拂ハ委託ヲ受ケタル物品ヲ競賣ニ付シタル即日ニ支拂ヲ爲ス單ニ物品ノミヲ送リテ荷主來場セサル場合ハ賣買仕切書ヲ作り直チニ代金ノ送付ヲ爲ス荷主トノ間ニ特約アル場合ハ其ノ約旨ニ從ヒ數日分ヲ計算シテ月六回ニ送金ヲ爲ス遠隔地方ノ荷主ニシテ一時ニ多量ノ品ヲ送付シ來リタルトキハ其ノ求メニ依リ荷爲替金ノ支拂ヲ爲スコトアリ右ノ代金支拂ハ市場手数料ヲ差引キ殘額ヲ拂渡ス
買受人ノ代金支拂ハ即日徴收スル規定ナレトモ事實月末ニ精算徴收ス尙五日毎ニ賣上高ノ集計ヲ行ヒ賣上高ニ應シ内入金ヲ納付セシメ又ハ保證人ヲ立テ若クハ擔保品ヲ差入レシム尙二、四、六、八、十、十二月ノ六回ニ渡リ全部ノ精算ヲ爲シツ、アリ

十五、沿革

富山藩二代前田正甫公時代ニ金澤ノ商人八田五右衛門富山ニ來リ同業者ト相謀リテ市内西四十物町ニ魚市場ヲ設置シタリ其後成績擧カラサルニ依リ藩ニ於テ直接市場ヲ經營シタルニ漸次其ノ發展ヲ見タルヲ以テ市場ヲ二番町ニ移轉擴張シタリ明治四年廢藩ノ際再ヒ市場ヲ民間ノ經營ニ移シ明治十四年十二月資本金二千圓ノ魚市會社トシ明治二十二年十月魚定市場ト改稱シ明治二十九年ニ至リ資本金壹萬圓ノ合資會社トセリ明治三十二年ノ富山ノ大

火ノ際市場モ亦烏有ニ歸シタルニ依リ市場ヲ總曲輪ニ移轉シ假建物内ニ於テ營業シタリシ
カ明治三十八年五月富山縣令ヲ以テ食品市場營業規則ヲ發布セラレタルニ依リ同年十月市
場ヲ建築シ其ノ設備ヲ整ヘ縣令ニ基キ認可ヲ受ケタリ明治三十九年十一月魚鳥市場合資會
社ト合併シ資本金壹萬五千圓ノ株式會社ヲ組織シ商號ヲ現在ノ富山魚市株式會社トセリ明
治四十年九月事業ヲ擴張シ大正十一年九月北陸鹽魚株式會社ト合併シ資本金十五萬圓ニ増
加シ現在ニ及フ

(口) 八百物市場

一、市場ノ位置及名稱

位置 富山市總曲輪百六十番地
名稱 株式會社富山八百物市場

二、取扱品目

野菜物、果物、乾物、乾魚類及清涼飲料水

三、組織

株式會社

資本金 三萬五千圓 拂込金 壹萬七千五百圓

總株數 七百株 一株ノ金額 五十圓 總株主 百二十五名

社長 久世伊平 常務取締役 尾上三郎

取締役 社長他六名 監査役 三名

利益配當 一株ニ付貳圓十錢(大正十二年下半年決算)

四、面積及建物

市場敷地 五百九十九坪

市場使用敷地 二百八十坪 貸地 三百十九坪

建物 一棟 瓦葺合掌建 六十七坪(糶場、荷捌、住宅及事務所ニ分割サル)

倉庫 一棟 二十八坪 車馬置場(石敷) 約百五十坪

五、出荷者

本市場ニ出荷スル荷主六百五十名アリ

縣内近郊ヲ主トシ愛知、静岡、金澤、福井、新潟、縣下ニ亘ル其ノ中日々來場スルモノハ

近郊ノ荷主ニシテ約五、六十名他ハ鐵道ニヨリ荷ヲ委託スルニ過キス

六、問屋

會社ハ荷主ヨリ物品賣買ノ委託ヲ受ケ現品競賣ノ方法ニ依リ之レヲ賣買ス競賣ノ價格ノ呼

上ハ貫文トシ一貫文ハ金五錢トス賣買業務ハ取締役又ハ取締役ノ選任セル事務員ニシテ庭役、賣役及書記之レニ當ル

七、仲買人

小賣商人ニシテ市場ノ仲買業務ヲ爲ス者約九十名アリ仲買人トナルモノハ會社ノ一株以上ノ株主タルカ又ハ取締役ノ承認ヲ受ケ且ツ保證人二名連帶ノ契約書ヲ差出シタルモノニ限ル本市場ノ仲買人トナリタル者ハ如何ナル名義ヲ以テスルモ本市場品切ノ物品ヲ除キ同種類ノ物品ヲ取扱フ他ノ市場ノ競買人トナリ其他當市場ヲ經スシテ直接ニ他ヨリ物品ノ買收ヲ爲スコトヲ得サル規則アリ尙

八、買出人

仲買人ハ會社ヨリ歩戻ヲ受ケ自己ノ名義ヲ小賣人ニ貸與シテ小賣人ヲ競賣ニ參加セシム
本市場ノ買出人ハ右ノ仲買人ノ外小賣人九十名餘アリ小賣商人ニシテ仲買人ノ名義ヲ借用シテ競賣ニ參加シ買人タル物品ノ代金ハ仲買人ニ支拂フ多少ハ現金支拂ヲ爲セトモ主トシテ信用貸借ニ依ル日々市場ニ參集スル買出人約百名内外ナリ
市場ニ附屬商及運送店ナルモノ無シ

九、運賃

本市場ニ入荷スル旅荷ハ静岡、愛知ヲ主トス其運賃

自名古屋枇杷島 至市場 石油箱大 小口扱 五十五錢
貸切扱 三十五錢

玉葱馬 小口扱 七十錢
鈴薯等 貸切扱 五十錢

自静岡 至市場

主トシテ貸切扱多ク柑橘類梨ヲ主トス
貸切扱 一個 三十五錢

市内配達賃

石油箱大 一個 八錢

俵入物玉葱馬鈴薯等 一個 十二錢

十、手数料

荷主ヨリ收受スヘキ本市場ノ賣買手数料左ノ如シ

一、野菜及果物 賣上代金ノ百分ノ十

二、乾物及乾魚類 賣上代金ノ百分ノ八

三、清涼飲料水 賣上代金ノ百分ノ十

右ノ手數料ハ荷主ノ賣上代金中ヨリ差引クヘキモノニシテ其ノ中仲買人ニ對シ三分ノ歩戻ヲ爲ス其ノ他仲買人ノ代金支拂半期毎ニ精算シタルモノニ對シテハ尙四厘ノ獎勵金ヲ與フ

十一、賣上高

大正十一年中賣上高 三五〇、二五四圓

大正十二年中賣上高 約四〇〇、〇〇〇圓

市場入荷ハ旅荷八割地廻品二割ノ割合ニシテ旅荷ハ殆ント果實ニシテ仕出地全國ニ亘リ旅荷ノ二割ハ蔬菜ニシテ名古屋、静岡ヲ仕出地トス地廻品ハ割合ニ少ク殊ニ夏期七月ヨリ十月頃迄ハ頗ル減少ス

大正十一年中ニ於ケル月別賣上高ヲ見ルトキハ次ノ如シ

月別	果實	野菜	乾物	計
一月	一八、七七二 _円	七、二三五 _円	二、九四八 _円	二八、九五六 _円
二月	一四、〇二〇	四、五一五	二、〇八二	二〇、六一八
三月	一八、五八〇	七、五五九	二、八八九	二九、〇二九
四月	二一、三三九	九、一二四	三、四〇八	三三、八七〇

五月	一九、八一七	一〇、四四七	三、二六八	三三、五三三
六月	一七、四二五	八、一二四	二、九四六	二八、四九九
七月	一九、三二七	六、七七〇	二、六三七	二八、七三五
八月	二〇、一五四	六、九〇九	三、〇〇二	三〇、〇六六
九月	一七、二七〇	六、九二八	二、五六六	二六、七六〇
十月	一五、〇八七	四、六九〇	二、〇八八	二一、八六六
十一月	一九、〇七七	八、六三七	三、〇六七	三、〇七八二
十二月	二六、四二六	七、二八六	三、八一六	三七、五二九
計	二二七、三〇一	八八、二二九	三四、七二三	三五〇、二五四

十二、市場ノ開市及閉市ノ時刻並休業日

開市 午後二時 (旅荷ノ多クハ午前着荷スルヲ以テ午後開市ス)

閉市 午後七時 但シ時期ニヨリ變更ス

休業日 毎年一月二日、三日 六月一日、二日、三十日及十二月三十一日

十三、賣買方法

本市場ニ於ケル賣買ハ競賣ノ方法ニヨリ之レヲ爲シ庭役賣役及書記ハ賣買ニ關スル業務ヲ

擔當ス荷主ヨリ委託ヲ受ケタル荷ハ庭役之ヲ檢閲シ賣役之レカ販賣ヲ爲シ書記買受人ノ氏名價格ヲ水帳ニ記入ス

庭役、賣役及書記ノ職務權限左ノ如シ

庭役 一、現品ヲ検査シテ之ヲ荷主ヨリ受取ル事

二、現品ヲ競落人ニ引渡ス事

三、腐敗又ハ其ノ虞アルト認メ又ハ衛生上有害品ト認メタル品ニ對シテハ相當ノ處置ヲ爲スコト

賣役

一、競賣ヲ擔任シ賣場ヲ整理スルコト

二、競買人騷擾ヲ極ムルトキハ一時競賣ヲ中止シ又ハ不穩當ナル言動ヲ制止スル事

三、賣場ノ整理上必要ナル處分ヲ爲スコト

書記 一、競賣ノ現場ニアリテ記帳ヲ爲スコト

二、金錢ノ授受ヲ爲スコト

三、帳簿一切ノ書類ヲ整理スルコト

競賣後物品ノ受渡ハ即時其ノ場ニ於テ庭役ト競落人トノ間ニ之ヲ爲ス荷主ヨリ當市場ニ宛テ、市場ノ取扱物品ヲ送り越シタルトキハ指値アルト否トヲ問ハス賣買ヲ當市場ニ委託シ

タルモノト見做シ之レヲ競賣ニ付ス

賣役ハ最高競買人ノ姓名商號價格ヲ呼上ケ競落人ヲ定メ同價格ヲ呼ヒタル者二名以上アルトキハ先呼者ヲ競落人ト定メ同時ニ同價格ヲ呼ヒタルモノ二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ

競落人ヲ定メ指値アル物品ニシテ其ノ額ニ達セサルトキハ荷主ニ通知ヲ發ス

競落人ニ於テ競落品ヲ故ナク引取ラサルトキハ市場ハ適宜ニ其ノ物品ヲ處分ス此ノ場合賣得代金カ競落金ニ充タサルトキハ其ノ不足額ハ競落人ノ負擔トシ前項ノ物品ヲ再ヒ糶賣ニ付シタルトキハ手数料ヲ徴收ス其ノ額荷主ヨリ收受スル歩合ト同様ナリ

糶場 當市場ニ於ケル糶場ノ設備亦當市魚市場ニ於ケルト略同様ニシテ他都市ニ見サル獨特ノモノナリ糶場及荷捌所ハ約四十五坪ニシテ場内ノ一側ニ階段ヲ設ケテ競買人ノ位置ヲ定メ其ノ階段ノ前方ノ土間ニ物品ヲ陳列シテ一方ヨリ之レカ競賣ヲ爲ス一方又場内一隅ニ糶臺(約二坪大ノモノ)一個ヲ設置シ賣役及書記登臺シ庭役ノ提出スル物品ニ付キ競賣ヲ爲ス

其他市場ノ帳簿ハ之ヲ閱覽セシメ競落品及其ノ價格ヲ記載セル水帳ハ閉場ト共ニ之レヲ確定ノモノトス

十四、代金決済方法

荷主ニ對スル代金支拂ハ競賣ニ付シタル即日支拂ヲ爲シ當日來場セサル荷主ニ對シテハ數日分ヲ計算シテ之レヲ送金ス右ノ支拂代金ハ何レモ市場ノ手数料ヲ差引キタルモノナリ買受人ノ買受代金支拂ハ即日支拂ヲ原則トスレトモ事實行ヒ難ク常ニ一ヶ月毎ニ買受代金ノ約七、八割ノ内入金ヲ爲サシメテ取引ヲ繼續セシメ二、四、六、八、十、十二月ノ六回ニ全部ノ精算ヲ爲シツ、アリ買受代金ノ支拂ヲ受クルトキハ之レニ歩戻ヲ與ヘ尙每期ノ精算ヲ爲スモノニ對シテハ特ニ買受代金ノ四厘ノ獎勵金ヲ與ヘツ、アリ

十五、市場ノ沿革

富山市ニハ八百物市場ノ設置無カリシ爲八百物ノ需要供給上不便尠カラサリシヲ以テ同業者相謀リ明治四十年三月現市場ヲ設立シ今日ニ及フ

四、公設小賣市場

一、位 置

富山市蛸町廿六番地(壹ヶ所)

二、賣 上 高

六萬五千三百八十九圓七十二錢(大正十二年中)

三、販賣品目

菓子、砂糖、煎茶、乾物、木炭、青物、護謨靴、干魚、無煙炭、雜貨、醬油、味噌、昆布
生麵、米、雜穀、獸肉、生魚、天婦羅、清酒

四、販 賣 人

本市ノ指定又ハ許可シタル生産者、製造業者若クハ販賣人

五、市場使用料

販賣人ヨリ使用料ヲ徵收セス

六、經 費

收入ハ凡テ市税ニ依ルモノニシテ支出ハ給料四百八十圓、雜給七十九圓、需用費六百五圓
修繕費百圓ナリ(十三年度豫算計上額)

七、成 績

概シテ良好ナリ

八、開市ノ時刻

毎日日出ヨリ日沒迄

九、市價ニ及ホセル影響

市場ハ市内小賣價格ニ比シ白米雜穀ノ如キ樹賣ノモノハ一升ニ對スル一錢乃至二錢其他ノ諸品ハ一割若クハ二、三割ノ低廉ニ販賣セシムルモノトス然レトモ開場以來日尙淺ク殊ニ本市ハ凡テノ物品販賣ノ決濟方法ハ大概貸付ニシテ現金取引ハ僅少ナリ該市場ハ凡テ現金賣ノ爲メ購客淺薄ニシテ成績充分ナラサルヲ遺憾トスルモ逐日發展シツ、アリ

十、販賣價格ノ決定法

販賣品ニ對シテハ常ニ品質ノ精選ト廉賣トニ留意シ事務員トシテ監督員一名ヲ置キ常ニ賣品ノ良否ヲ審査シ其買入月日價格ヲ報告セシメ監督員ハ之ニ依リ日々ノ市價ト對照シ適當ノ價格ヲ定メ市長ノ承認ヲ經テ價格ノ指定ヲ爲スモノトス

十一、公設市場規定

第一條 本市ハ日用食糧品等ノ市場ヲ設置ス

第二條 公設市場ノ位置 富山市蛸町廿六番地ニ設ク

第三條 公設市場ハ本市ノ指定又ハ許可シタル生産者、製造業者若クハ販賣人ヲシテ販賣セシム

第四條 公設市場ニ於ケル商品ノ販賣價格ハ市長ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第五條 公設市場ニ於テ販賣スヘキ品種ヲ當分別記ノ通り之ヲ定ム

(販賣品目前述セシニヨリ省略ス)

第六條 公設市場ニ於ケル商品ハ總テ正札付ニシテ現金取引トス

第七條 開場時間ハ毎日日ノ出後日沒迄ト定ム

第八條 市場内ニ留置シタル物品ノ保管ニ關シテハ市長其ノ責ニ任セス

第九條 許可又ハ指定サレタル販賣人ハ自己ノ使用人ノ行爲ニ對シ總テ其ノ責ニ任スルモノトス
以上

八、金澤市

一、金澤市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

金澤市及之ト消費經濟上一體ヲナス隣接町村ノ戸數及人口左ノ如シ

金澤市 (大正十三年一月一日現在)

現在戸數

三一、四〇六戸

現在人口

一三六、二八八人

金澤市隣接町村 (大正十一年十二月末日調査)

村名	戸數	人口
崎浦村	三五五戸	二、一〇五人
野村	四五九	二、六七七
淺川村	一、一二四	六、九二八
小坂村	一、一一四	六、三五四
戸板村	四六二	二、五四四
弓取村	二七五	一、四一三

米	九村	三八七	二、二六六
三馬	村	三四三	一、八八〇
計		四、五一九	二六、一六七

二、金澤市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況

(一) 魚類

生産額 一一、八七〇貫

入荷額 二、〇二三、〇〇〇貫
 鐵道便 一、六一八、四〇〇貫(高岡、越中富山、三陸其他)
 其他 四〇四、六〇〇貫(縣内郡部近海物)

出荷額 九一〇、八〇〇貫
 鐵道便 七二八、六四〇貫(京都、大阪、富山、縣内)
 其他 一八二、一六〇貫(近郊)

消費額 一、一二四、〇七〇貫(三、一三四、九八八圓)

(二) 青果物

生産額 蔬菜 三四七、五七〇貫(七九、九四一圓)
 果實 八〇、六三〇貫(二六、六〇七圓)(桃、杏、梨、莓ヲ主トス)

茄子、胡瓜、獨活、灰豌豆、蒟蒻草ヲ主トス

入荷額 蔬菜 三、一九九、二八二貫
 鐵道 六八三、七八二貫(愛知、静岡、廣島其他ヨリ)
 其他 二、五一五、五〇〇貫(縣内郡部ヨリ)

果實 二、一二一、三七四貫
 鐵道 一、五三四、九四四貫(和歌山、廣島、静岡、神戸(柑橘類多シ))
 其他 五八六、四三〇貫(郡部)

出荷額 蔬菜 八八〇、八〇七貫
 鐵道 七〇八、六二一貫(縣内)
 其他 一七二、一八六貫(郡部)

果實 九一〇、五八四貫
 鐵道 五九〇、五〇九貫(縣内)
 其他 三二〇、〇七五貫(郡部)

消費額 蔬菜 二、六六六、〇四五貫(六一三、一九〇圓)
 果實 一、二九一、四二〇貫(四二六、一六八圓)

三、卵肉

生産額 卵 六、八〇四貫(二〇、四一二圓)
 肉 四六一、六八二斤

入荷額 卵 九二、三四〇貫
 鐵道 八一、〇〇〇貫(愛知其他)
 其他 一一、三四〇貫(郡部)

肉	四六、六五〇斤	鐵道	四六、六五〇斤大阪、神戸
		其他	

出荷額	卵	一六六、八七〇斤	鐵道	一六六、八七〇斤縣内
	肉		其他	

消費額	卵	九九、一四四貫(二九七、四三二圓)
	肉類	三四一、四五二斤(二七三、一六一圓)

金澤市ノ消費

金澤市ニ於ケル魚類、青果物及卵肉ノ消費高ハ大正十二年申四百七十四萬二千圓ニシテ國勢調査ニ依ル人口十二萬九千人トスルトキハ一人當年額消費高三十六圓七十五錢ナリ

内	譯	消費額	一人當消費額
魚類	(鹽干魚ヲ含ム)	三、一三四 <small>千円</small>	二四、二九
蔬菜		六一三	四、七五
果實		四二六	三、三〇
卵		二九六	二、二九

肉	二七三	二、一一
計	四七、四二	三六、七五

備考 集散及消費ニ關スル右ノ數字ハ市及縣當局ノ調査材料ニ依リ推算ス

三、金澤市ニ於ケル市場

(イ) 金澤魚市場

- 一、市場ノ名稱及位置
 - 名稱 金澤魚市場
 - 位置 金澤市上近江町

二、取扱品目

魚類、四十物

三、組織

- 次ノ個人、株式又ハ合資會社及個人ノ集合セル問屋ヲ以テ魚市場ヲ組織ス
 - 一、川魚市株式會社
 - 二、丸市魚株式會社

三、マル魚 金澤魚合資會社

四、マルヨ 小林與三次郎

清右衛門 山岸 清右衛門

利平 村田 理市

網屋 洲崎源太郎

米屋 米村久太郎

今 元 豐次郎

與作 南 吉次郎

六右衛門 津田惣太郎

初三郎 直江初三郎

中 榮 中川與太郎

木ノ捨 北川助太郎

モ 荒木茂三郎

六、直江市場

七、区瀧次 能澤長太郎(四十物問屋)

八、余 金澤水産株式會社(同)

九、羽 東 惣兵衛

右ノ九問屋ナリ

四、面積及建物

販賣場總坪數 約三百八十坪 建物 二十一棟

各店舗ノ糶場、荷捌所ハ總テ敷石又ハ「コンクリート」トシテ尙市場區域内ノ道路ハ「コン

クリート」ト爲スヘク目下起工中ナリ

冷藏庫代用トシテ各店共一、二個所宛ノ地下穴倉ヲ設置ス

五、出 荷 者

市場ニ出荷スル荷主ハ高岡、越中富山、三陸及近海ノ漁業者ニシテ日々鐵道ニ依リテ出荷

シ金澤驛ヨリ荷車又ハ自動車ニテ市場ニ搬入ス近海産ノ一部ハ荷車其他ニ依リテ市場ニ搬

入スレトモ其ノ數極メテ少シ

六、問屋手數料

本市場ノ問屋ハ鮮魚問屋六戸、鹽干魚問屋三戸ニシテ各戸別々ノ經營ヲ爲ス

各問屋共主トシテ糶賣ノ方法ニヨリ賣買シ直接小賣商人即魚商組合ニノミ販賣ヲ爲ス問屋

ノ委託手數料ハ

鮮魚 販賣高ニ對スル一割一分

鹽干魚 販賣高ニ對スル一割

右ノ中魚商組合ニ對シ

鮮魚 買入代金ノ三步

鹽干魚 買入代金ノ二步

ノ歩戻ヲ爲シ現金支拂ヲナシタル魚商組合員ニ對シテハ右ノ分別ニ二步ノ歩引ヲ爲ス尙
魚商組合員中魚市場ニ對シ六月三十日及十二月三十日ノ兩期ニ於テ決算未濟金アルトキハ
其ノ未濟金額ニ對シテハ歩引ヲ爲サ、ルモノトス

七、仲買人

本市場ニハ舊來仲買人ナルモノアレトモ最近魚市場ノ改善ト共ニ之ヲ廢シ小賣商人ヲシテ
魚商組合ヲ組織セシメ間屋ハ此ノ組合員ニノミ販賣スルコト、ナレリ

八、買出人

本市場ノ買出人ハ小賣業者ノ組織スル魚商組合員ノミニシテ其ノ數三百十二名ナリ
魚市場組合員タル各魚市場ハ魚商組合員ニ限り商品ノ取引ヲ爲シ其ノ他ノ者ニハ一切商品
ヲ賣却スルコトナク尙魚商組合員ハ魚市場組合員タル魚市場以外ヨリ決シテ商品ヲ購入セ

サル契約アリ魚商組合加入金ハ五拾圓トシ組合基本財産ニ編入ス

九、附屬商

市場區域外ニ接シタル道路上ニ於テ市場開始ヨリ夕刻迄ノ間市内飲食店小賣商、魚小賣業
者及生産者等道路兩側ニ店ヲ併置シテ小賣ヲ爲ス其ノ員數約六、七十店舗ナリ

十、賣買高

大正十二年ニ於ケル魚類取扱高ハ略

鮮魚 二百五拾萬圓

鹽干魚 五拾萬圓ナリ

十一、市場開閉時及休業日

市場ノ開市 自四月至九月午前六時半 自十月至翌三月午前七時半

市場ノ閉市 正午

休業日

十二、賣買方法

市場ニ於ケル賣買ハ糶賣ヲ本位トシ注文ニ依リ取寄タルモノ之レニ依ラス引魚ヲ爲スモノ
アルトキハ糶賣價格ニ準シ双方合議ノ上定メツ、アリ

鰻、小鳥類、海老類、貝類、蒲鉾類、「コノワタ」其ノ他鹽干魚ハ糶賣ノ除外トスレトモ直段ハ必ス前ニ公定スルコト、シ糶賣ノ趣旨ヲ實行シツ、アリ

十三、代金決濟

荷主ニ對スル代金支拂ハ日々賣買後之ヲ行ヒ魚商組合員ノ買入代金ハ現金又ハ一ヶ月支拂トシ六月及十二月ノ二回ニ大決濟ヲ爲ス六月及十二月ノ決濟期ニ於テ未濟代金有ルトキハ其ノ金額ニ對シテハ歩引ヲ爲サス

十四、沿革

市場開設者ハ金澤市上近江町柿谷多吉郎外七名ニシテ明治三十七年七月二日設立ヲ許可セラレ爾來幾多ノ變遷ヲ經テ現今ニ及ヘリト

(口) 金澤市ニ於ケル青果市場

金澤市ニ於ケル青果市場ハ

青草辻市場、住吉八百物市場、犀川市場

ノ三市場ニシテ各市場共問屋及仲買兼問屋ノ集合シテ市場ヲ爲スモノニシテ中、青草辻市場及住吉八百物市場ハ取扱最モ多ク市ノ最モ繁華ナル中心ノ地位ニ相近接シテ存ス
一、市場ノ名稱及位置

市場名稱

位

置

青草辻市場

金澤市青草町、下近江町、上近江町、下堤町ノ内

住吉八百物市場

金澤市石屋小路
一番地 九番地ノ一合 九番地ノ二合
九番地ノ三合 八番地 十三番地 十一番地 十二番地
十二番地ノ三

犀川市場

金澤市大藪小路三番地ノ一

二、取扱品目

各市場共ニ蔬菜、果實類

三、組織

金澤市青果物問屋組合ハ十九名ヨリ組織サルレトモ問屋專業者七名ニシテ殘ル十二名ハ問屋兼仲買業務ヲ爲スモノナリ各市場ニ於ケル仲買兼問屋及問屋ノ數ハ左ノ通り

問屋專業者數

仲買兼問屋數

青草辻市場

四戸

四戸

住吉八百物市場

三戸

七戸

犀川市場

一戸

一戸

(他ニ鹽干魚仲買人二名ノ店舗アリ)

四、面積

一五〇

	總面積	建物坪數	通路馬車置場	備考
青草辻市場	三、五〇〇坪	一、五〇〇坪	二、〇〇〇坪	區域内同業者以外ノ店舗混在ス
住吉八百物市場	五、〇〇〇坪	三、〇〇〇坪	二、〇〇〇坪	區域内ニ問屋以外ノ私有建物アリ

五、出荷者

本市ニ於ケル右ノ青果市場ニ出荷スル荷主ハ近郊縣内及縣外ニ亘リ其數約一千名ナリ縣外ヨリ移入果實ハ静岡、和歌山ノ柑橘、和歌山、廣島ノ夏柑ニシテ蔬菜ハ名古屋ヲ中心トシ愛知、静岡ヨリ茄子、胡瓜、落、菠薐草、獨活、夾豌豆等ヲ主トス

近郊荷ノ多クハ車、籠等ニ依リ搬入シ縣内及他縣ヨリ移入スルモノハ鐵道ニ依リ金澤驛下シノ上自動車、荷馬車ニ依リ市場ニ搬入ス市内配達賃ハ小口物石油箱一個平均九錢ナリ

六、問屋

各市場ニ於ケル問屋ハ何レモ各自ノ計算ニ於テ問屋業ヲ營ム一店舗ノ廣サ三、四十坪ヨリ五、六十坪内外ヲ有ス

市場ニ於テ問屋トナラントスルモノハ三個年以上ノ仲買業務ノ經驗ヲ有シ加入金トシテ問屋組合積立金ノ約一人當割合(三百圓ヨリ壹千圓以内)ヲ納付セルモノタルヲ要ス

七、仲買人

問屋組規約及仲買人組規約ハ目下考案中ニシテ別ニ定メタルモノナシ

市場ニ於ケル仲買人ハ市場區域内ニ荷捌所ヲ設ケ又ハ區域内ニ於ケル他ノ店舗ノ店先與行二間、間口六間乃至八間位ノ地所ヲ借用シテ荷受販賣ノ行爲ヲ爲ス問屋兼仲買人ノ員數十名アリ

八、買出人

青果市場ニ出入スル買出人ハ八百物組合員二百七十名ノ他組合員以外ノ買出人アリ其ノ數日々五百名内外ニ達ス青草辻市場ト住吉八百物市場トハ道路一ツヲ距ツルヲ以テ辻市場ノ買出人ハ住吉市場ニモ買出ヲ爲シツ、アリ一人買受高一日平均十二、三圓内外ナリト

九、附屬商

市場區域ノ申請ハ問屋及仲買兼問屋業者ノ外地區ヲ同シウスル雜貨店モ加入シ居ルヲ以テ附屬商ノ出入スル必要ヲ認メス附屬商ノ出入スル者無シ
市場ノ閉市スルニ及ヒ青草辻市場區域ニ接近セル道路ノ兩側ニ朝市ト稱シ生産者及小賣業者ノ集合シ花卉類、青果物ノ小賣ヲ爲ス出場店舗數三、四十店アリ
右ノ小賣市場ニ對シテ問屋ハ單ニ店先ヲ借用セシムルノミニシテ場代ヲ徵收セス

十、賣買高

大正十二年中各市場ノ賣上高

青草辻市場(青果物) 百二十萬圓

住吉八百物市場(同) 五十萬圓

犀川市場(同) 八萬圓

十一、運賃

名古屋ヨリ金澤

貸切扱(配達込) 石油箱バナ、籠等 一個 三十錢
小口扱(同) 同 四十錢

和歌山ヨリ金澤

貸切扱(同) 同 二十六錢—七錢
小口扱(同) 同 三十四錢—五錢

廣島ヨリ金澤

貸切扱(同) 同 呷入約(七貫入) 同 二十七錢—八錢
小口扱(同) 同 無シ

十二、手数料

問屋ノ荷主ヨリ收受スル手数料ハ地廻品及移入品ニ付其ノ歩合ヲ異ニス
移入蔬菜、果實ニ對シテハ賣上代金ノ一割

右ノ中仲買人ニ對シ三分、小賣人ニ對シ一分五厘ノ歩戻ヲ爲シ八百物組合員以外ノ買出人ニ對シテハ歩戻ヲ行ハス地廻品ノ手数料ハ賣上代金ノ一割ヨリ七分ノ間ニ於テ徵收ス
七分ノ手数料ヲ徵收スルモノハ所謂月末勘定ヲ爲ス運根、筭等ニシテ一割ノ手数料ヲ徵收スルハ右以外ノ品ニシテ現金支拂ヲ爲スモノトス

十三、賣買方法

問屋ハ各戸荷受販賣ノ行爲ヲ爲ス
販賣ノ方法ハ糶賣及相對賣ノ方法ニ依ル糶賣ヲ爲スモノハ主トシテ近郊ノ荷ニシテ野菜ヲ主トス

他府縣ヨリ供給サル、果實及蔬菜ハ全ク相對賣ヲ以テス
荷主ニ對スル販賣代金ハ現金支拂及月末勘定トナシ前述ノ如ク其ノ手数料ヲ異ニス買出人ノ買受代金ハ現金及月末勘定トサレアルモ實行困難ナリ

十四、市場ノ開閉時及休業日

休業日 正月、二、三、四日及毎月二十三日

開市 午前五時

閉市 午前十一時

十五、沿 革

青草辻市場

本市場ハ市内樞要ノ地ニ位シ其ノ開設明治三十七年八月十六日ニシテ其ノ後星霜ヲ經テ益々殷賑ヲ加フ

住吉八百物市場

本市場ノ創立ハ明治十二年七月ニシテ最初石川郡三馬村字泉地方ヨリ夏期出テ、店舗ヲ張リ野菜類ヲ鬻ク者ト近江町ヨリ移リ來リテ住居シ生果野菜ノ仲繼ヲ爲スモノト相寄り市場ヲナシタルニ基因ス其後變遷アレトモ不明ナリ

犀川市場

大正十一年三月五日設立認可ヲ受ク
設立者 金澤市大落小路三番地ノ一 越田三次郎

四、金澤市公設小賣市場

金澤市ニ於ケル公設市場ハ左ノ五個所ナリ

名稱	位 置	創 立	敷地坪數	建物坪數	店舗數
六斗廣見市場	金澤市 三間道	大正十二年七月	一〇〇坪	四一坪	一一
香林坊下市場	長町河岸	同	一一八	九八	二四
白山町市場	白山町	同	一一一	四〇	一三
淺野川市場	並木町	同	九〇	五四	一五
巴町市場	巴町	同	一二〇	六八	一六

總建築費 三萬三千六百八十圓

自七月十日 三十六萬九千六百二十九圓
至十一月三十日

市場ノ販賣品目

白米、雜穀、薪炭、蔬菜、果實、乾物、罐詰、酒類、漬物、味噌、醬油、酢、卵、鶏肉、牛豚肉、四十物、鮮魚、菓子、砂糖、其ノ他食料品
荒物、履物、雨傘、莫大小類、太物綿類、雜貨其他生活必需品

市場ノ管理

金澤市長ハ市ノ吏員ヲシテ市場ノ監督ヲ爲サシム市場ノ監督者ハ毎朝市内ニ於ケル糶建相場ヲ調査シ市場販賣商品ノ價格ヲ標定シ市場販賣商ノ評價、品質、吟味、正札ノ有無陳列ノ良否、衛生狀態其他販賣人ノ營業上ノ監視ヲ爲ス外指定販賣人其他使用人ニ關スル諸願届書類ノ處理

市場ニ關スル各種ノ統計、調査、營造物ノ管理ニ當リ尙市内小賣相場ト公設市場相場トノ比較ヲ爲シ直接市場従業員ヲ監督勸勵シ市場ノ秩序ヲ保チツ、アリ尙市長ハ商事ニ識見アル者ニ就キ市場ノ施設經營等ニ關シ諮問スル爲市場ノ評議員ヲ置キ必要ニ應シ評議員會ヲ招集ス

市場ノ販賣人

市場ノ販賣人ハ本市ノ指定シタル生産者、製造業者、仲買業者又ハ販賣業者ヲシテ小賣ヲ爲サシムルモノニシテ左ノ資格ヲ有スル保證人ヲ設ケ又ハ保證金百圓ヲ市ニ供託セシム

一、本市ニ本籍ヲ有シ現住スル成年男子

二、直接國稅五圓以上ヲ納ムル者

保證金ハ國債證券又ハ金澤市發行公債ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

販賣人ハ一定ノ場所ニ種類別ニ商品ヲ陳列シ正札ヲ付ス其ノ價格ハ市ノ指示ヲ待ツモノナリ市場ノ使用期間ハ其ノ年度限トシ繼續使用セントスル者ハ滿期壹個月前ニ申請シテ許可ヲ受ケサルヘカラス尙市ノ許可ヲ受ケ自費ヲ以テ店舗内ニ造作ヲ爲スコトヲ得レトモ廢業ニ際シテハ之ヲ原狀ニ復スル義務アリ

市場開設ニ要シタル費用

名稱	建築諸費	財源及償却計畫
六斗廣見市場	四、五二四、九五〇	簡易保險局ヨリ低利金借入 十五個年賦償還
香林坊下市場	九、五六二、四四〇	同
白山町市場	四、二四二、七七〇	同
淺野川市場	五、八五八、六〇〇	同
巴町市場	六、七三一、〇八〇	同

公設市場使用料徵收方法

市ハ市制ノ定ムル處ニヨリ市場指定販賣人ヨリ左ノ範圍内ニ於テ使用料ヲ徵收シ納額告知書指定ノ期日迄ニ之ヲ前納セシメツ、アリ

一、屋内一坪一ヶ月金參圓以内又ハ一日金十錢以内

一、屋外一坪一ヶ月金壹圓五十錢又ハ一日金五錢以内トス

市場位置、周圍ノ狀況ニ依リ各市場ノ使用料ヲ異ニス即

香林坊下市場	店舖建物一坪	一ヶ月ニ付	壹圓六十錢
巴町及淺野川市場	同	同	壹圓四十錢
六斗廣見及白山町市場	同	同	壹圓二十錢

各市場賣上成績

香林坊下市場	一一三、九三九圓	自大正十二年七月十日	至大正十二年十二月末日	賣上高
淺野川市場	七四、四五四圓	自同	同	同
巴町市場	六〇、七五〇圓	自同	同	同
白山町市場	三二、五三〇圓	自大正十二年八月廿三日	至大正十二年十二月末日	同
六斗廣見市場	二五、二五二圓	自同	同	同

市場ノ閉閉時及休業日

閉閉時刻 自午前九時 至午後六時(季節ニ依リ伸縮アリ)

休業日 毎年一月一日、紀元節、天長節祝日、毎月十六日

必要ニ依リ市長ハ臨時一部又ハ全部ノ休業ヲ命スルコトアルヘシ

公設市場大正十二年度收支決算

收入

一金四萬三千四百一圓四十六錢

内 譯

金二千九百一圓四十六錢

市場使用料

金三萬八千圓

繰越金大正十一年度借入金

金二千五百圓

縣補助金

支出

一金參萬五千九百十七圓三十五錢

内 譯

金一萬六千九百九十五圓五十錢

市場監理費

金六百十三圓十五錢

需用費

金三百五十五圓三十五錢

通信運搬費

金五百六十一圓

敷地借上料

金百八十七圓七十三錢

雜費

金三萬九百九十九圓八十四錢

營繕費

金千五百八十一圓七十八錢

市債利子

市場ノ沿革及現況

金澤市ニ於ケル公設市場ハ大正十二年一月市會ノ決議ヲ經テ同年七月ヨリ開市セルモノニシテ
開市當初ニ於テハ比較的賣上ケ多ク從ツテ一般市場ニ多少ノ影響ヲ及ホセルカ如キモ最近ニ至

リテハ却テ賣上高ノ減少ヲ示シツ、アリ而シテ之ニ關シテ當局ハ公設市場ノ影響ニヨリ一般市中ニ於ケル價格下落セルカ爲メナリト辯明シ居レトモ縣社會課邊ノ見解ハ必スシモ然ラサルモノ、如シ

元來金澤市民一般ニ極メテ保守的ニシテ一家ノ主婦ハ自ラ日用品ノ買出ニ行クカ如キコトヲ以テ恥辱トシ却テ出入商人ノ多キヲ以テ誇リトスルカ如キ風習アリテ頗ル公設市場ノ發達ヲ困難ナラシムル事情アルニ加フルニ何レノ地方ニ於テモ同シコトナルカ市中小賣商人ハ其ノ發達ヲ喜ハス動モスレハ市會議員等ヲ動カシテ之カ發達ヲ阻害スルノ舉ニ出テントスルノ傾向アリ現在市場ニ於ケル指定商人ノ多クハ市會議員等ノ關係者ニシテ或ハ之ニ依ツテ不當ノ利益ヲ得ンコトヲ目的トシ甚シキニ至リテハ市場ノ發達ヲ妨害スルノ目的ヲ以テ指定商人トナリタルモノサヘアリト稱セラル、位ニシテ將來ニ於テモ市場ノ眞面目ナル發達ハ頗ル困難ナル事情ノ下ニアルモノノ如シ

九、福井市

一、福井市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

福井市ト消費經濟上一體ト見做シ得ヘキ隣接町村ハ足羽及吉田ノ兩郡ニ於ケル各村ニシテ其ノ人口七萬五千四百九十六人ナリ

福井市	現在戸數	一三、一四〇戸
	本籍人口	五七、六〇九人
	現住人口	五七、三〇五人
吉田郡人口		三九、九〇八人
足羽郡人口		三五、五八八人

(大正十一年調査)

二、福井市ニ於ケル新鮮食料品ノ集散及消費ノ狀況

一、魚類

生産額 鮮魚 五、三五〇貫 (一〇、〇九五圓)
 蒲鉾 二八、三七〇貫 (八五、一一〇圓)

入荷額 鮮魚 一、三五〇、〇〇〇圓 (高岡、七尾、富山、島根、山口、下ノ關)
 (一、五〇〇、〇〇〇貫) 其他 八三二、五〇〇圓 (九二五、〇〇〇貫) (南條、丹生、坂井各郡)

出荷額 鮮魚 九〇、〇〇〇圓 (高岡、京都、東京)
 (二〇〇、〇〇〇貫) 其他 四、五〇〇圓 (五、〇〇〇貫) (縣内)

消費額 鮮魚 一、二七〇、〇九五圓 (一、四〇五、三五〇貫)
 (鹽干魚) 二七〇、〇〇〇貫

生産額 鮮魚 一、二七〇、〇九五圓 (一、四〇五、三五〇貫)
 (鹽干魚) 二七〇、〇〇〇貫

二、青果物

生産額 蔬菜 九五、〇〇〇貫
 果實 一、五〇〇貫

一

生産額 鮮魚 五、三五〇貫 (一〇、〇九五圓)
 蒲鉾 二八、三七〇貫 (八五、一一〇圓)

入荷額 鮮魚 一、三五〇、〇〇〇圓 (高岡、七尾、富山、島根、山口、下ノ關)
 (一、五〇〇、〇〇〇貫) 其他 八三二、五〇〇圓 (九二五、〇〇〇貫) (南條、丹生、坂井各郡)

出荷額 鮮魚 九〇、〇〇〇圓 (高岡、京都、東京)
 (二〇〇、〇〇〇貫) 其他 四、五〇〇圓 (五、〇〇〇貫) (縣内)

消費額 鮮魚 一、二七〇、〇九五圓 (一、四〇五、三五〇貫)
 (鹽干魚) 二七〇、〇〇〇貫

生産額 鮮魚 一、二七〇、〇九五圓 (一、四〇五、三五〇貫)
 (鹽干魚) 二七〇、〇〇〇貫

二、青果物

生産額 蔬菜 九五、〇〇〇貫
 果實 一、五〇〇貫

入荷額 果實 二、〇〇〇、〇〇〇貫 (靜岡、金澤、新潟、神戶、甲州、岐阜、大坂、長野、青森、和歌山、廣島、都、金澤、越中、長野、千葉)

出荷額 果實 一四〇、〇〇〇貫 (神戶、京都、大阪、大野、勝山、鯖江、武生、三國地方)
 其他 二、六〇五、〇〇〇貫 (坂井、丹生、足羽、吉田、各郡)

消費額 果實 一、八六一、五〇〇貫 (四三八、一四五圓)
 蔬菜 三、三〇〇、〇〇〇貫 (一、〇八九、〇〇〇圓)

生産額 肉類 一、五〇〇貫 (大野、勝山、鯖江、武生、三國、荻原)

三、卵

生産額 肉類 五六、一九五貫 (二五〇、六八〇圓)

消費額 肉類 一四、〇〇〇貫 (鐵道 一二、〇〇〇貫 (大阪、神戸、名古屋))

モノハトロール漁船ニ依ル魚類ハ勿論近ク石川、富山、京都ノ各府縣ヲ始メ遠ク北海道、朝鮮其他各地ヨリ搬入セラル然レトモ其ノ數量ハ比較的少シ

二、取扱品目

鮮魚介、鹽干魚、鳥類等

三、組 織

株式會社 資本金二十萬圓 拂込金十一萬圓

株主ハ舊來ノ魚問屋ヲ骨子トシ仲買業者、魚商業者及之レニ關係アルモノナリ

四、面 積

建物敷地 三百三十八坪一合三勺

通 路 市場前面及側面ニ幅一間ノ私有道路ヲ有スル外街路(二間半道路)ヲ使用ス

排水路 内法巾二尺高サ二尺傾斜一間ニ付二寸堅牢ナル石及コンクリートヨリ成ル

車置場 木造瓦葺平屋建壹棟コンクリート敷 二十五坪

同 露天コンクリート敷 二十八坪

馬繫場 木造瓦葺平屋建コンクリート敷 三坪

五、建 物

店 舗 木造瓦葺平屋建壹棟コンクリート敷 九十四坪三二

住 宅 木造瓦葺本家壹棟 四十四坪八七

倉 庫 木造瓦葺二階建壹棟 十五坪三三

倉 庫 防火的ノ倉庫必要ナキヲ以テ一時的ノ物置トシテ板敷鼠入ラス設備アリ 二坪餘

冷 藏 庫 二個所、天井及側面木造二重張中間ニ鋸屑ヲ填充シ腰板ハ全部石、入口ハ觀音開戸内ニ引戸アリコンクリート敷六坪 收容力三臺ノ荷車ノ積載量ニ當ル

荷 捌 所 糶場ノ後方ヲ使用ス

塵埃物置場 煉瓦造トタン葺平屋建壹棟 一坪半

共同便所 木造瓦葺平屋建壹棟コンクリート 三坪

休憩所 木造瓦葺平屋壹棟コンクリート 八坪餘

事務所 木造瓦葺二階建壹棟 十二坪

階下 事務室、宿直室、應接室 階上 會議室

六、出 荷 者

本市場ハ四月ヨリ十月頃迄ハ近海ノ荷ヲ以テ大部分ヲ占メ十月以降翌年三月頃迄ハ遠地荷

多シ下ノ關地方荷ハ近海ノ荷豐富ナル故全ク引キ難シ荷主ノ數約四百名、日々自動車四臺、自轉車百臺内外、荷車七十乃至百輛内外ノ入荷アリ近海ノ荷主ハ縣下南條、丹生、坂井ノ各郡ヲ主トシ縣外高岡、七尾、富山、島根ニ亘ル
遠地ノ荷ハ主トシテ鐵道便ニヨリ驛ヨリ配達サルレトモ七尾、敦賀及近海ヨリハ毎日自動車ニテ來リ其他荷車、自轉車等ニテ搬入ス

七、問屋

會社ハ荷主ノ委託ニ依リ水産物ヲ競賣シ其ノ競賣代金ヨリ百分ノ十ヲ市場手数料トシテ控除シ百分ノ九十ヲ即日現金ニテ勘定書ト共ニ支拂フ委託品ハ市場手数料並ニ運賃電報料ヲ荷主ノ負擔トス

荷主及買受人ノ便宜ヲ計リ普通ノ競賣ニ依ラスシテ賣買ヲ成立スルコトアリ荷主ノ委託指値ニ達セサル場合ニ於テハ荷主ノ承諾ヲ經テ其ノ指圖ニ從フ

市場ノ價格ノ稱呼ハ何圓何十錢ヲ以テシ其他ノ稱呼並ニ帳簿ノ記載ニ符號暗號ヲ用ヒス

八、仲買人

市場ニ出入スル仲買人及魚商人ハ百九十名アリ

當會社ハ仲買人及魚商人ヨリ身元保證金ヲ徵收ス身元保證金ハ公債又ハ現金ヲ以テシ其ノ

額五百圓以上トシ現金ニハ相當ノ利子ヲ付スルコト、サレ居ルモ事實納付セシメタルモノ極メテ少シトイフ

買受人カ買受代金ヲ即日當會社ニ支拂ヒタル場合ニハ買受代金ノ千分ノ四十五ヲ戻リ歩合金トシテ低減スレトモ當會社ノ承諾ヲ得テ買受代金ヲ毎月末日通算ノ上支拂ヒタルトキハ戻リ歩合金ハ千分ノ三十五トス

九、買出人

市場ノ買出人ハ右ノ仲買魚商人ニシテ日々來場スル者百五、六十名アリ、荷車又ハ自轉車ヲ以テ搬出スル者多ク一日平均買受代金約三、四十圓ヨリ四、五十圓ナリ

十、附屬商

開市ニ當リ二、三名ノ商人ニ依リ山葵等ノツマ物ヲ籠ニ入レ市場附近ニ參集シ魚商人ニ販賣スル他特ニ附屬商ナル者無シ

十一、市場ノ開閉時刻及休業

休業日 毎年一月一、二、八日及二月一日、十二月三十一日

開市 毎日午前六時

閉市 毎日午前十一時

十二、賣 買 高

大正十二年 中取扱高 九十萬圓

十三、賣 買 方法

市場ノ賣買ハ糶賣ヲ主トシ一部相對取引モ行ハル市場糶場内ニ五個所ノ糶臺ヲ設ケ買受人ハ其ノ周圍ニ群集シ糶人ハ各臺共一段高キ臺ニ位ス
競賣人ハ其ノ競落價格ヲ各店員ノ場帳ニ記入シ後買受人買入帳ニ記載ス

十四、代金決済方法

當會社委託ニヨリ水産物ヲ競賣シタルトキハ荷主ニ對スル代金支拂ハ手數料一割ヲ差引キ勘定書ト共ニ即日現金支拂ヲナシ鐵道ニヨリ入荷セル荷ニ對シテハ賣買當日手數料、運賃電報料等ノ立換金ヲ差引キ之ヲ送付ス仲買人及魚商人ノ買受代金ハ即日支拂ハシムルコトトナリ居レトモ事實行ヒ難ク十日ヲ一期トシテ支拂ハシメ歩戻金千分ノ四十五ヲ差引キ月末勘定ヲ爲ス者ニ對シテハ歩戻金千分ノ三十五ヲ差引キ計算ス

十五、運 賃

買受人ニシテ買受代金ノ支拂ヲ怠リ義務ヲ果サ、ルモノハ以後荷引ヲ拒絕シ月末精算セサルモノハ殘金ニ付翌月ヨリ支拂期日迄ヲ通算シ金百圓ニ付四錢ノ日歩ヲ徵收シツ、アリ
近海物運賃諸掛リハ慣例ニヨリ運搬人ノ請求ニ依ルモノハ凡テ產地ニ於テ運賃諸掛リ等計算セルモノヲ到着地タル福井市運送店ニ支拂ス到着驛ト市場間ノ運賃即チ配達料ハ運送店ノ請求ニヨリ支拂フモ右ノ諸運賃ハ何レモ仕切金中ヨリ控除ス

十六、沿 革

當會社ハ伊藤八右衛門、今城武藏、佐藤祐松、松原彦太郎、福井水産株式會社ノ魚問屋カ縣ノ命令ニヨリ萬難ヲ排シテ合同シ大正七年十月二十七日創立シタルモノニシテ始メ福井魚問屋株式會社ト稱セシヲ大正十年十二月十五日現在ノ福井魚市場株式會社ト改稱シタルモノナリ

十七、市場開設ニ關スル費用

建築物及土地

三七、六三四、〇五〇

計器及備品

三、九八二、六六〇

營業者ヨリ營業權ノ讓受

三〇、〇〇〇、〇〇〇

右ノ財源ハ株金ヲ使用シ之カ償却ハ每期利益金ノ幾分ヲ積立テ之ニ當ツ

(口) 福井食糧品市場株式會社

一、市場名稱及位置

名稱 福井食糧品市場株式會社

位置 福井市佐久良中町二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇番地 市ノ中央ニ位ス

二、取扱品目

野菜、青果、乾物、鶏卵、鳥獸肉及水産製造物等一切

三、組織

株式會社 資本金 三十萬圓 拂込金七萬五千圓 社長 柳原九兵衛

四、面積

建物敷地 百二十七坪六合五勺

通路 街路ヲ使用ス

排水路 建物ノ周圍ニ排水暗渠ヲ設備ス

車馬置場 空地三十坪

五、建物

店 舖 二棟

第一賣場 木造土藏式二階建 三十五坪六合五勺

第二賣場 木造合掌平屋建 四十七坪五合

倉 庫 一棟 木造六坪二階建

冷藏 庫 十五坪 收容力 二十噸

廢棄物置場 一棟 木造平屋建 九坪

共同便所 一棟 木造(市營造物) 一坪

事務所 十坪(第一賣場ノ一部ニ置ク)

應接室、宿直室 各五坪宛

六、出荷者

本市場ニ出荷スル荷主ハ二百六十七名ニシテ地方別ニスルトキハ概要次ノ如シ

石川縣	敦賀郡	南條郡	今立郡	丹生郡	坂井郡	吉田郡	足羽郡	福井縣	新潟縣	小松町	美川町	金澤市	富山縣	新湊町	氷見町	富山市	高岡市	新潟縣	滋賀縣	米原町	高宮町	蒲生郡	坂田郡	岐阜縣	岐阜市	稻葉郡
	四	三	五	一五	二九	二〇	二五			一	二	九		六	三	一	四			一	一	一	三	二	一	一

愛知縣	一ノ宮市	一	千葉縣	千葉市	二	京都府	大淀町	一
海邊郡	知多郡	二	長野縣	穗高町	二	京都府	京都市	六
刈谷町	名古屋市	六	山梨縣	甲府市	一	大阪府	大阪市	三
枇杷島町	淺井町	四	福島縣	中巨摩郡	一	兵庫縣	泉南郡	二
豐橋市	豐川町	四	山形縣	福島市	四	神戶市	飾磨町	一七
靜岡縣	靜岡市	五	山形縣	山形市	三	和歌山縣	姫路市	一
濱松市	藤枝町	二	青森縣	青森市	二	和歌山縣	和歌山市	二
燒津町	引佐郡	五	北海道	函館市	三	廣島縣	廣島市	三
天龍川町	沼津市	一	岩内港	小樽市	二	山口縣	下關市	一
神奈川縣	橫濱市	一	三重縣	富田港	三	島根縣	西郷町	一
			志摩郡		五	臺	高雄	一

合計 二百六十七名

右ノ荷主ヲ職業別ニスルトキハ

- 蔬菜、果實、乾物商 八九名
- 蔬菜商 二二名
- 果實、乾物商 七一名
- 鶏卵、乾物商 一〇名
- 漬物、佃煮商 三名
- 海産物、蒲鉾商 七〇名
- 飲料水商 二名
- 計 二六七名

右ノ荷主ヨリ出荷サレタル大部分ノ荷ハ鐵道ニ依リ福井驛ヨリ配達サル、日々荷車三臺内
外ニシテ其他ノ近郊ノ荷ハ生産者カ荷車其他ニヨリ搬入ス

七、問 屋

會社ハ荷主ノ委託品ヲ受ケ仲買人又ハ小賣人ニ糶賣ヲ爲ス賣買ハ最高價格ヲ唱ヘタル者ヲ
以テ買受人ト定メ其ノ價格カ當市場ニ於テ時價不適當ト認ムルトキ又ハ荷主ヨリノ指値以

下ナルトキハ双方商議ノ上之ヲ決ス賣買ノ稱呼ハ何貫何百匁ヲ以テシ其他ハ正價ヲ以テ爲ス

會社ハ現金支拂帳ヲ備ヘ毎日物品ノ糶賣ノ順序ニ依リ品名、數量、賣上代金及荷主、買主ノ氏名ヲ記帳シ其ノ他ノ帳簿ニ賣上代金ノ出入荷主ニ對スル仕切勘定、其他市場取引ニ關スル出納ヲ明記シアリ

八、仲買人

本市場ト取引スル仲買人ハ大部分ハ市内及市外町村ノ青物乾物商人ニシテ純然タル仲買人ナルモノハ稀ナリ

仲買人ノ員數 二百三十名

仲買人ト爲ラントスル者ハ資格トシテ市場ノ認ムル保證人二名ヲ立ツルコトヲ要シ時宜ニ依リ保證人ニ代フルニ保證金ヲ納付スルコトヲ認ム此ノ場合ニ於ケル保證金ノ額ハ双方協議ノ上之ヲ定メ會社ハ市場ノ認ムル銀行ニ預入保管ス若シ買受人ニ於テ代金不拂アリタルトキハ便宜之ヲ以テ代金ニ充當スルコトアリ右ノ他仲買人ヨリ加入金信認金ヲ徵收セス會社專屬ノ仲買人ナキ爲メ會社ハ其ノ取引ヲ限定スルコト能ハス各個隨意ニ各店舗ヨリ購入ス市場ト取引高ハ一人一ヶ月十圓乃至三百圓ナリ

九、買出人

本市場ニ出入シテ買出ヲ爲スモノハ右ノ仲買人ニシテ日々來場スル者百二、三十名ナリ

十、運賃諸掛

本市場ヨリ出荷スルモノハ極メテ僅少ニシテ入荷ハ運送店ノ手ヲ經テ入荷スルモノ多ケレトモ元來委託品ナルヲ以テ荷主ニ於テ運送店ヲ指定シ來リ本市場ノ附屬運送業者ナシ市内ニ於ケル運送業者五名アリ

主要産地ト本市驛着ノ運賃(鐵道運賃)左ノ如シ

地名	小口扱(百斤ニ付)			貸切扱(一噸ニ付)			等級別
	三級品	四級品	五級品	三級品	四級品	五級品	
勝山	二二五 ^甲	一八五 ^甲	一六〇 ^甲	一七五 ^甲	一五五 ^甲	一三五 ^甲	三級品 鰯、乾餅、卵、鯉節 四級品 鰯、梅干、瓜類、干瓢、野菜 五級品 切干、麵類、凍豆腐、果實、鹽漬、甘藷、馬鈴薯、大根、鹽魚、干魚
敦賀	—	一九五	—	—	一六五〇	—	各種蔬菜、果實、鹽干魚
大野	二六五	二三五	一九〇	二二五〇	一九五〇	一七〇〇	四級品 果實、蔬菜 五級品 馬鈴薯、甜菜
金澤	二七五	二三〇	一九五	二、三〇〇	二、〇〇〇	一、七五〇	四級品 鰯 三級品 鰯
高岡	三五〇	二九〇	二四〇	二、九五〇	二、六〇〇	二、二五〇	三級品 鰯 四級品 鰯
新湊	—	—	—	—	—	—	—
伏木	三六五	三〇〇	二五〇	三、一五〇	二、七〇〇	二、四〇〇	三級品 鰯 四級品 鰯

富山	三、八五	三、三五	二、六五	三、三〇〇	二、八五〇	二、五〇〇	四級品 飲料水、沙魚
水見	四、三〇	三、五〇	二、九〇	三、七〇〇	三、二〇〇	二、八〇〇	四級品 瓜類、野菜、切干、果實
岐ノ宮	四、六五	三、七五	三、一〇	四、〇〇〇	三、四五〇	三、〇〇〇	五級品 大根
京ノ善	四、七五	三、八五	三、二五	四、一〇〇	三、五〇〇	三、一〇〇	四級品 出青綿、西瓜
入古	四、七五	三、八五	三、二五	四、一〇〇	三、五〇〇	三、一〇〇	四級品 野菜、切干、果實
名古	四、七五	三、八五	三、二五	四、一〇〇	三、五〇〇	三、一〇〇	五級品 甘藷、馬鈴薯、大根、甜菜
枇田	五、二〇	四、二〇	三、四〇	四、四五〇	三、八五〇	三、三五〇	三級品 鱈魚
大田	五、二〇	四、二〇	三、四〇	四、四五〇	三、八五〇	三、三五〇	四級品 漬物
豊橋	五、七五	四、六〇	三、七五	四、九五〇	四、二五〇	三、七〇〇	五級品 野菜、果實
濱松	六、三〇	五、五五	四、四五	五、四〇〇	四、六五〇	四、〇五〇	四級品 甘藷、馬鈴薯
姫路	六、四〇	五、一〇	四、一五	五、五〇〇	四、七〇〇	四、一五〇	四級品 野菜、果實
和歌山	六、七〇	五、三五	四、三〇	五、七五〇	四、九五〇	四、三〇〇	麵類
長野	七、一〇	五、六五	四、五五	六、一〇〇	五、二〇〇	四、五五〇	果實、野菜
藤枝	七、一〇	五、六五	四、五五	六、一〇〇	五、二〇〇	四、五五〇	果實、野菜、鱈節
燒津	七、三〇	五、八〇	四、七〇	六、三〇〇	五、三五〇	四、七〇〇	果實(柑橘)、野菜
岡山	七、三〇	五、八〇	四、七〇	六、三〇〇	五、三五〇	四、七〇〇	果實(柑橘)、野菜
静岡	七、五〇	五、九五	四、八〇	六、四五〇	五、五〇〇	四、八〇〇	野菜、柑橘
蒲原	八、四五	六、七〇	五、四〇	七、三〇〇	六、二〇〇	五、四〇〇	野菜、果實、苹果、アト
甲府	九、〇五	六、一五	五、七四	七、八〇〇	六、七〇〇	五、七五〇	果實
福島	九、二五	六、三五	五、九〇	八、〇〇〇	六、七五〇	五、九〇〇	柑橘、果實
廣島	一、〇九〇	八、六〇	六、九五	九、四五〇	八、〇〇〇	六、九五〇	
山形	一、五三〇	一、二〇〇	九、七〇	一三、三〇〇	一一、二〇〇	九、七〇〇	櫻桃、苹果
青森	一、一八〇	九、〇	七、四〇	一〇、二〇〇	八、六五〇	七、五〇〇	果實(苹果)
下ノ關	一、五三〇	一、二〇〇	九、七〇	一三、三〇〇	一一、二〇〇	九、七〇〇	果實
函館	一、七〇	一、三九〇	一、二二〇	一五、五〇〇	一三、〇〇〇	一一、二〇〇	鹽干魚
小樽	一、七〇	一、三九〇	一、二二〇	一五、五〇〇	一三、〇〇〇	一一、二〇〇	鹽干魚

福井驛ヨリ本市場迄ノ運賃

苴包物(拾六貫目)	一個	十錢
箱入物(石油箱大)	一個	七錢
籠入物(バナ、籠大)	一個	五錢

十一、手數料及歩戻

會社ノ收受スル手數料ハ

野菜、青果、鶏卵、鳥類、水産製造物、賣上高ノ一割

乾物及干魚ハ

同 七分

ニシテ賣上代金支拂ノ際之ヲ控除ス

仲買人ニ對シテハ野菜、青果、鶏鳥獸肉、水産製造物ハ三分五厘ヲ歩戻トシテ代金受取ノ

際之ヲ控除スルモ乾物及干魚ニ對シテハ歩戻セス

十二、賣 買 高

市場出荷數量中都市及附近ノ消費ニ供セラル、數量ハ

蔬菜果實漬物 一一二、九五〇貫

鹽干魚水產物其他 一二〇、八八〇貫

市場ヨリ遠地ニ移出スル數量ハ略次ノ如ク其ノ仕向先ハ縣下大野、勝山、三國、金津、丸岡、鯖江、武生ニシテ大部分ハ鐵道便ニヨリ其他荷車自動車ニ依ル

蔬菜、果實、漬物 一七、〇三〇貫

鹽干魚其他 四九、七五〇貫

市場ノ入荷數量

本市場ニ入荷スル北海道樺太物ハ伏木、高岡、敦賀ヨリ朝鮮、浦鹽物ハ敦賀ヨリ臺灣其他ハ横濱、神戸港ヨリ鐵道便ニヨリ福井驛ニ到着ス四季ニ於ケル其ノ取扱數量ハ次ノ如シ

春 八四、三五〇貫 夏 一一三、二一〇貫

秋 五〇、一〇五貫 冬 四九、八一五貫

市場賣上金高

總高 三二二、〇〇〇圓

果實、蔬菜、漬物等 八七、五〇〇圓

鹽干魚、水產製造物等 二三五、五〇〇圓

十三、市場ノ開閉及休業日

市場ノ開市 午前六時

市場ノ閉市 午後六時

休業日 毎年十二月三十一日及一月一日、二日

十三、代金決済方法

荷主ニ對スル代金ノ支拂ハ即時拂又ハ荷主ノ便宜上一ヶ月乃至二ヶ月又ハ二回分、三回分ト取纏メ手数料運賃其他立替金等ヲ引去リ支拂ヒ拂戻シヲナシタルトキハ必要事項ト共ニ仕切金預帳ニ記入ス

仲買人其他ニ對スル販賣代金ハ毎月末勘定若クハ即時買受人ヨリ支拂ヲ受クルモノトシ若シ支拂期ニ於テ賣掛金ノ十分ノ二以上ヲ不拂シタルモノハ歩戻ヲ爲サ、ルノミナラス其ノ不拂高嵩ミタルトキハ取引ヲ拒絶シツ、アリ

十四、沿革

當市場ハ大正十一年十一月資本金三十萬圓第一回拂込資本金七萬五千圓ヲ以テ創立シ同年十二月十五日業務ヲ開始セリ當時業務存續期間一ケ年ノ認許ヲ受ケタリシカ再ヒ大正十二年五月三十一日ニ於テ向フ二ケ年ノ期間ノ許可ヲ得タリ
市場開設ニ要シタル費用ハ金貳千圓ニシテ利益金ヲ以テ償却シツ、アリ

四、福井市ニ於ケル食料品小賣市場

(イ) 持寄小賣市場

福井市近郊生産者ハ舊藩時代ヨリ各自ノ生産セル果實、蔬菜ヲ持チ寄り市内樞要ノ街路ニ集團シテ市場ヲ形成セルモノ最近一定ノ街路ヲ定メ市内外ノ仲買人小賣人等生産者ト相伍シテ各自商品ヲ持寄り直接消費者ニ小賣ヲ成シツ、アリ通稱シテ持寄小賣市場ト言フ

一、市場ノ場所

福井市佐久良下町一帯ノ通路ノ兩側

二、開市及閉市

午前五時ヨリ開市シ同七時半閉市ス

三、持寄品目

青物及果實ヲ主トシ鹽干魚、乾物、小間物、化粧品、雜貨、菓子、日用品、植木、古物等

四、場代

一人一店舗 間口一間當

最高一ケ月八十錢、普通六十錢、四十錢ノ三種トシ野菜ハ六十錢、鹽干乾物店ハ八十錢、

其ノ他ハ荷ノ多少、場所ノ良否ニ依リ場代ヲ異ニス

右ノ徵收場代ハ市場ノ監督費及掃除代ニ充當セララル

五、取扱高

一ケ年約百萬圓

六、買出入

市内消費者ニシテ毎朝二百四、五十名出場ス

七、監督其他

本市場ノ監督ハ青果仲買人島田七三郎氏外二名ノ取締ニヨルモノニシテ特別ノ取締規程ナルモノナシ本市場ニ商品ヲ搬入シテ販賣セントスル者ハ前日迄ニ右監督者ニ通知シ其ノ許可ヲ得タルモノナルコトヲ要ス監督者ハ毎朝事務所ニ出張シ開市及閉市ノ監督ヲ爲ス

(ロ) 生産者ノ小賣市場

大正十一年中福井市外吉田、足羽兩郡下ニ於ケル生産者ハ各自ノ生産セル果實、蔬菜、花卉等ヲ各自一定ノ地ニ持チ寄り直接市民ニ供給セント計畫シ各町村農會ニ依頼シ縣農會ノ後援ヲ得左記ノ場所ニ集合シテ直接消費者ニ供給シツ、アリ

一、市場ノ場所

福井市佐佳枝上町通路片側(縣廳前通)

福井市寶榮上町通路(神明神社前)

二、開市日

佐佳枝上町市場 一、五ノ日 月六回

寶榮上町市場 八ノ日 月三回

三、持寄品

青物、果實及花卉類

四、店舖數

一市場 四、五十名

市場ニ持寄ル生産者ノ數ハ生産季節ニ依リ其ノ數ニ多少アリ

五、出荷量

一人平均五、六十貫ヨリ百貫以上

箱又ハ籠詰トシテ荷車ニ依リ運搬シ路上ニ開店ス

六、開市及閉市

午前三時半頃ヨリ同七時半頃迄

七、道路使用料

市ハ道路使用料ヲ徴收セス農會役員ハ常ニ巡視シテ閉市ニ當リ持寄者ハ各自清潔ニ掃除シテ歸ラシム

八、持寄者

本市場ニ持チ寄ル者ハ純生産者ニシテ農會ハ純生産者ニ對シ番號札(此ノ徽章ハ直徑一寸五分ノ圓形亞鉛板ニペンキヲ塗り番號ヲ記入シアリ)ヲ與ヘ一ヶ町村毎ニ何番ヨリ何番迄ト定メアルヲ以テ番號札ニヨリ何町村ノ生産者ナルカヲ知ルコトヲ得

九、賣上高

販賣高ハ生産品ノ種類、搬出量ニ依リ各人異ニスレトモ普通一人賣上一日五、六圓、最高十圓、七圓ニシテ生産品ノ種類ニ依リテハ一日二十圓ニ達スルモノ少カラス

生産者ハ販賣見込ニ依リ搬出數量ヲ決スレトモ其ノ日殘品ヲ生スルトキハ各自市内ヲ引賣リシ又

ハ小賣人仲買人ニ販賣シテ歸村ス來場スル生産者ハ市外三里以上ニ及フモノ少カラス彼等カ食料品市場ニ出荷セサルハ手數料ヲ徵收セラル、ト比較的安値ニ販賣セラル、ト稱サル、ニ在リ
 本市場ノ開市日ニ當リテハ市内消費者ハ籠又ハ乳母車等思ヒ付ノモノヲ持チ起床早々買出シニ出掛ケ中々ノ盛況ヲ呈シツ、アリ

五、福井市公設小賣市場

福井市ニ於ケル公設小賣市場ハ六ヶ所ニシテ中一ヶ所ハ目下計畫中ニ屬シ他ハ旺ニ市民ノ利用スル處ナリ

市場ノ名稱	開設年月日	敷地坪數	建物坪數	創設費及増修費	地	權	店舖數	備考
日ノ出	大正九年三月廿二日	二〇〇、二	一一八、七五	九、七六〇圓	民有地有償	八七、二坪	一八	大正三年十月増築及大修繕ヲ加フ
神明	大正十年十月一日	六四、〇	五四、〇〇	四、二〇三圓	公有地無償		一〇	大正十二年十月店舖前修繕ヲ爲ス
木田	大正十一年七月一日	一〇一、二	四八、〇〇	四、八三〇圓	私有地有償		一〇	大正十二年九月移轉改築ヲ爲ス
立矢	大正十一年九月一日	八〇、〇	六六、五〇	四、二六一圓	同		一〇	
寶永	大正十二年六月一日	一九〇、〇	八八、五〇	八、〇九五圓	同		一〇	
西側								目下計畫中

市場販賣品目

米穀、薪炭、鮮魚、鹽干魚、肉類、青物、果實、乾物、醬油及酢、味噌、漬物、佃煮、荒物、砂糖、菓子、豆腐、麵類、吳服、雜貨、履物、傘類、金物、燒物、文房具、其他

指定商人業態別

業態	市場	日ノ出	神明	木田	立矢	寶永	西側	計
生産者及製造販賣者		四	一	二	三	二		一二
問屋業者		一	一	一	一	一		五
卸賣業者	製造會社	一						一
卸賣兼小賣業者		六	三	一	一	三		一四
小賣業者		六	四	五	四	四		二三
計		一八	九	九	九	一〇		五五

市場ノ管理

市場事務ハ福井市敎社課ニ於テ主管シ社會係中市場事務取扱ノ爲メ書記一名ヲ專任シ各公設市場ニ關スル一切ノ事務ヲ取纏メ外ニ各市場ノ監督ノ爲メ三名ノ書記ヲ現場ニ配置シ各種ノ調査並ニ報告文書ノ調製整理及統計ヲ市役所ニ送付ヲ爲ス又各々市場ヲ巡視監督シテ品質ノ良否、價格ノ當否、量目ノ正否、販賣及配達方法ノ適否、從業員ノ督勵、市場ノ秩序等ヲ保ツコトニ

直接當リツ、アリ

販賣者ノ選定

公設市場ノ使命トシテ公定價格ハ勿論比較的低廉ニ物質ノ販賣ヲ望ムモノナルヲ以テ生産ト消費トノ經路ヲ短縮スルコトニ努メンカ爲メニ原產地ノ製造者、仲買人等ヲ觀迎セントシツ、アルモ目下ノ處市内ノ製造家、卸賣業者、小賣商人等ヨリ指定商人ヲ出願セシメ其ノ經驗、信用財産、性格等ヲ調査シ社會事業委員會ノ意見ヲ徵シ市長之ヲ指定ス

販賣品ノ供給機關

販賣品ハ大體ニ於テ指定商人ノ適當ナル仕入ニ任スト雖モ一方本市トシテモ原產地及製造家トノ照會、交渉ヲ重ネ共同購入特約販賣、委託販賣等ノ方法ヲトリツ、アリ

販賣價格決定方法

仕入値段又ハ卸賣相場ヲ常ニ調査シ又市内小賣相場ニ比較シテ仕入價ニ對シ一割乃至二割以内ノ口錢ヲ加算シ評議決定ス特種品ニ限り二割以上ヲ加算スルモアリ主トシテ米、麥、雜穀ハ殆ント指定値ニ依ラシムルモ他品ノ大部分ハ市ノ許可ヲ受ケシメツ、アリ

經費豫算額

大正九年度 創設費ヲ以テス(低利資金借入高 四萬圓)

大正十年度 金八千五百〇四圓

大正十一年度 金六千七百三十七圓

大正十二年度 金九千七百三十八圓

大正十三年度 金九千四百三十二圓

市場使用料徵收方法

市場ノ位置ヲ調査シ其ノ狀況ニヨリ左ノ通り區別シテ徵收ヲ爲ス

日ノ出公設市場 店舖一坪ニ付一ヶ月 金一圓五十錢

木田、寶永公設市場 同 金一圓

立矢、神明公設市場 同 金七十五錢

賣上成績(大正十二年中)

日ノ出市場 一二九、二四一、六八〇 (改造工事ノ爲メ一ヶ月間休業)

神明市場 三八、四五二、五〇〇

木田市場 二六、五四八、六三〇 (移轉工事ノ爲メ一ヶ月半休場)

立矢市場 二四、四六〇、七四〇

寶永市場 二七、五九九、六五〇 (十二年六月開市)

- 尙市ハ右ノ他左ノ特殊事項ノ獎勵指導ヲ爲シツ、アリ
- 一、市場販賣品ニ付特ニ鑑査員ヲ囑託ス
 - 二、指定商人ノ團體ノ縣外視察獎勵
 - 三、市場ノ商品陳列、店舗裝飾等ノ競技會督勵
 - 四、指定商人組合ニ於テ店員ノ表彰
 - 五、時々ノ宣傳

十、岐阜市

一、岐阜市ト消費經濟上一體ヲ爲スヘキ隣接町村

岐阜市ト消費經濟上一體ト見做シ得ヘキ隣接町村ハ左ノ各町村ニシテ其ノ大部分ハ都市計畫區域ニ屬ス

岐阜市ノ人口ハ大正十二年調ニ依ルニ本籍人口四三、一二六人現住人口七〇、五八六人其ノ面積六八二町步ニシテ之レニ隣接スル十ヶ町村ノ人口ハ五二、一九三人其ノ面積四、五四九町步ナリ

大正二年ヨリ同十一年ニ至ル十ヶ年間ノ岐阜市人口ノ增加率ハ平均、〇三九ヲ示シ隣接郡部人口增加率ハ平均、〇一二ナリ

	面積	人口	戸數
岐阜市	六八二町步	七〇、五八六	一四、六四三
加納町	二二三	一一、六〇六	二、三六九
笠松町	三五九	六、〇〇一	不明
本莊村	二二二	二、九六二	五八二
三里村	三二九	二、四四六	三三五